

第九十回帝國議會 戰時補償特別措置法案外五件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

戰時補償特別措置法案(政府提出)
金融機關再建整備法案(政府提出)
特別和議法案(政府提出)
大藏省預金部等損失特別處理法案
(政府提出)

厚生年金保險法及び船員保險法特例
案(政府提出)

企業再建整備法案(政府提出)

財産稅等收入金特別會計法案(政府
提出)

企業整備資金措置法を廢止する等の
法律案(政府提出)

帝國鐵道會計又は通信事業特別會計
における昭和二十一年度の經費支
辨のための借入金等に關する法律案
(政府提出)

復興金融金庫及び産業復興機關出資
拂込金支辨のための公債發行に關す
る法律案(政府提出)

自作農創設特別措置特別會計法案
(政府提出)

昭和二十一年十月三日(本曜日)午前十
時二十九分開議

出席委員

委員長 本多 市郎君

理事石原 圓吉君 理事菊池長右門君

理事森 鷗君 理事舟崎 由之君

理事武藤 嘉一君 理事稻村 順三君

理事西村 榮一君 理事久保 猛夫君

江藤 夏雄君 大内 一郎君

大塚甚之助君 近藤 鶴代君

坂本 實君 田中 重彌君

河原田 巖君 平岡 良藏君

大石ヨシエ君 松永 佛骨君

天野 久君 金光 義邦君

喜多橋治郎君 北村徳太郎君

中野 四郎君 小池新太郎君

小坂善太郎君 鈴木 明良君

武藤 常介君 上田清次郎君

奥村又十郎君 川島 金次君

澁谷 昇次君 中崎 敏君

水谷長三郎君 森 三樹二君

藤井 正男君 秋田 大助君

駒井 藤平君 大橋 喜美君

笹森 順造君

十月三日委員鈴木茂三郎君、前田榮
之助君及び伊東岩男君辭任ニ付其ノ補
闕トシテ稻村順三君、西村榮一君及び
大橋喜美君ヲ議長ニ於テ選定シタ
同日上田清次郎君及び奥村又十郎君理
事辭任ニ付其ノ補闕トシテ稻村順三君
及西村榮一君ガ理事ニ當選シタ
十月三日帝國鐵道會計又は通信事業特
別會計における昭和二十一年度の經費
支辨のための借入金等に關する法律案
(政府提出)、復興金融金庫及び産業復
興機關出資拂込金支辨のための公債
發行に關する法律案(政府提出)及び自
作農創設特別措置特別會計法案(政府
提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託サレタ
出席國務大臣

大藏大臣 石橋 湛山君

國務大臣 膳 桂之助君

出席政府委員

大藏事務次官 上塚 司君

大藏事務官 福田 起夫君

大藏事務官 池田 勇人君

大藏事務官 河野 通一君

大藏事務官 渡邊喜久造君

司法事務官 奥野 健一君

商事事務官 三木 秋義君

本日ノ會議ニ付シタ議案

戰時補償特別措置法案(政府提出)

金融機關再建整備法案(政府提出)

特別和議法案(政府提出)

大藏省預金部等損失特別處理法案
(政府提出)

厚生年金保險法及び船員保險法特例
案(政府提出)

企業再建整備法案(政府提出)

財産稅等收入金特別會計法案(政府
提出)

企業整備資金措置法を廢止する等の
法律案(政府提出)

帝國鐵道會計又は通信事業特別會計
における昭和二十一年度の經費支辨
のための借入金等に關する法律案
(政府提出)

復興金融金庫及び産業復興機關出資
拂込金支辨のための公債發行に關す
る法律案(政府提出)

自作農創設特別措置特別會計法案
(政府提出)

○本多委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、本日ハ是非大體ノ質疑ヲ終了致シ
タイト存ジマスノデ、何卒各委員共其
ノ點御諒承ノ上質疑ヲナサレヤウニ
御願ヒ致シタイト思ヒマス、尙ホ質疑
ノ時間ニ付テハ大體三十分程度位ニ要
點ヲ質問セラレルコトニ願ヒタイト存

ジマス、隨テ答辯モ成ベク質問ノ要旨
ニ對應スル簡潔ナル御答辯ヲ希望スル
次第デアリマシテ、答辯ガ質問ノ時間
以上ニ互ルヤウナコトノナイヤウニ、
政府側ノ方ニ於カレマシテモ御考慮願
ヒタイト存ジマス——河原田巖君

○河原田委員 只今時間ノ制限ヲ受ケ
マシタノデ要點ダケ御伺ヒ致スコトニ
致シマシテ、委員會ガ濟ミマシテカラ
モ關聯事項ハ引續キ何カノ機會ニ之ヲ
檢討スルコトヲ御許シ願ヒタイト思ッ
テ居リマス、今回ノ財産稅徵收ニ當リ
マシテ新聞ニ課稅シナイト云フコト
ハ、是ガ不公平ダト思ッテ居ルノデア
リマスガ、之ニ付テ大藏大臣ハドウ御
考ヘデアリマスカ

○石橋國務大臣 私人考ヘデアハアノ三
月ノ調査時期ノ財産ニ課稅スルノガ一
番公平デ、其ノ後ノ變化ハ見ナイト云
フノガ此ノ際ニ一番公平ダト考ヘテ居リ
マス

○河原田委員 新聞ニ付キマシテハ特
殊ノモノダケデモ二百億モ行ツテ居ル
ノデアリナイカト云フコトガ世間デ言ハ
ル位、非常ニ偏在シテ居リマス、是ガ三
月以降ノ問題デアルカラ課稅シナイト
云フコトデアレバ、是ハ又別ニ考ヘナ
ケレバナラヌト思フノデアリマスガ、
然ラバ戰時補償ノ打切ト云ヒマスガ、
戰災保險等ノ整理ハ、金ニ換ヘタ者ト
換ヘナイ者ヲ昨年八月十五日ニ遡ルト
云フコトハドウ云フ理由デアルカ、殊
ニ三月三日ニ皆財産ノ申告ヲ致シテ居
リマスカラ、ソレニ依ツテ財産稅ヲ課
ケルトスレバ、八月十五日ニ遡ルト云

フコトナク、總テテ三月三日ニサレ
ルノガ至當デアルト考ヘルノデアリマ
スガ、大藏大臣ノ御所見ハ如何デアリ
マスカ

○石橋國務大臣 補償ノ方ハ戰爭ガ終
ツタ終戰ト云フ時期ヲ限ツタノデアリ
マシテ、財産稅ト同ジヤウニ三月云々
トスルコトハ却テ時期ノ組ミ方ニ不
合リナ點ガ出來ル、斯ウ云フコトデ特
ニ八月十五日ト致シタ譯デアリマス、
是ガ戰時補償特別措置トシテハ一番妥
當ダト考ヘテ居リマス

○河原田委員 サワ致シマス、八月
十五日マデニ戰爭保險等ヲ取ツテ現金
ニ換ヘテシマツタト云フ者ガ其ノ儘認
メラレ、ソレ以前ニ借金ヲ持ツテ居
テ、其ノ引當ニナツテ居ル保險金ガ其
ノ後ニ於テ銀行ニ總テ取上ゲラレテシ
マツテ個人ハ渡サナイ、斯ウナリマシ
タ時ニ、此ノ決済ハ如何ナサレモ
デアリマスカ

○池田(男)政府委員 戰時補償特別稅
ガ課セラレマシタ場合ニハ、其ノ戰
時補償特別稅ハ財産稅カラ控除スルコ
トニ致シテ居リマス

○河原田委員 然ラバ次ニハ今度ノ財
産稅ノ徵收方法ニ於キマシテ、十萬圓
以上ノモノハ累進的ニ高率ニ課ケテ行
クト云フコトニナツテ居リマスガ、此
ノ率ガ非常ニ高率デアル、殊ニ一千五
百萬圓ト云フヤウナ程度ニナリマス
ト、九〇%モ取ルト云フヤウナコトデ
アルガ、是ハ今回限リデ、國家ハ再ビ
斯クノ如キコトハヤラナイデ済ムト云
フ場合デアレバ、ドノ程度マデ取ツテ
モ宜イト思ヒマス、併シ今後ニ於キマ

シテ、又何等カノ事情ニ依ツテ普通ノ税金デハ國家ノ財政ガ賄ヘナイト云フ見透シガアリマシタ時ニ、財産ヲ持ツテ居ル者カラ根コソ取ツテシマウ、殆ド九〇%マデモ取ツテシマウト云フコトニナリマス、日本ノ再建、個人ノ事業ノ再建ト云フコトハ望メナイコトニナルノデハナイカ、是ハ能ク當局トシテ御考ヘ願ハナレバナラヌ點デア

ルト思フノデアリマス、一例ヲ申上ゲマス、林ノ中ノ育チ盛リノ五尺、八尺ノ木ヲ、其ノ儘ヲ止メナイデ置キマシタナラバド、伸ビマス、併シ若シ大木デモ五間、七間ノ一本モ枝ノナイ所デ切ラレタナラバ残ツテ居ツテモ枯レルノデアリマス、斯ウシタ點ハ財産ト違フカモ知レマセヌガ、十分御考慮願ヒタイ、餘リ高率ノ税金ハ決シテ好イ結果ハ生マナイ、取リタカモ或ル程度ノ加減ヲシテ潰サズニ置イテコソ、再ビ取ルコトヲ出來、又其ノ後ノ努力ニ依ツテ其ノモノガ伸ビルコトニナリマス、餘リ苛酷ナ取リ方ハ考ヘナケレバナラヌ、殊ニ「アメリカ」ノ占領政策ニ於テモ、私ハ此處デ公言致シマスガ、日本ヲ極端ニ壓迫致シマシタナラバ、日本ハ何時カノ時ニ、何千年カノ後ニ又「アメリカ」ニ對シテ反撥スルと思ヒマス、「アメリカ」ガ現在ノ如ク非常ニ親切ニ、我々ガ有難クテ涙ノ出ルヤウナ温情ヲ以テヤツテ呉レル、是ガ此ノ儘行ケバ日本ハ「アメリカ」ニ對シテ將來トモ戰ハナイ、ドウシテモ「アメリカ」ニ追隨シナケレバナラヌト云フコトニナル、是ト

同ジヤウニ、餘リ極端ニ財産ヲ取ツテシマフコトハ考ヘテ戴カナケレバナラヌト思ヒマスガ、大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○石橋國務大臣 如何ニモ高率ノ資産ニ對シテハ相當強イ税率デアリマスガ、併シ日本ノ經濟ヲ再建スル爲ニハ、各個人ノ資産ハ成程相當大資産ハ減リマスクレドモ、他ノ又金融其ノ他ノ措置ヲ講ジマス、隨テ其ノ人自身ガ日本ノ再建ノ爲ニ働ケル方ナラ、無論再ビ再興シ得ル途ガ拓カレテ居ル譯デアリマス、何ト云ツテモ敗戦後ノ財政經濟ヲ處理スル譯デアリマスカラ、色々負擔ノ重イ點ノ起ルコトハ是ハ已ムヲ得ナイ、之ニ依ツテ御話ノヤウニ日本ノ經濟ノ再興ノ芽ガ摘マレルト云フコトハ斷ジテナイシ、又左様ニ相成ツテハナラヌノデアリマスカラ、今後トモ政府ニ於テモ、又民間ニ於テモ左様ニ努力致シタイト考ヘマス

○河原田委員 時間ガ長クナリマスカラ細カナ議論ハ後ニ致シマシテ、先ヅ現在ノ政府ノ財政政策ハ、私ハ此ノ儘、行キマシタナラバ、來年ノ再興ニナリマスト行詰リヲ生ズル、勿論當面ノ問題デハナイト思ヒマスガ、近ク新國ノ發行高モ六百億トカ千億トカ止ラズニ、二千億、或ハソレ以上ト云フヤウナ時代ガ來ルノデハナカト心配致シテ居リマス、一面ニ於テ貯蓄云々ト云フコトモ言ツテ居ルヤウデアリマスガ、是ガ成功スレバ六百億デモ止マルカモ知レマセヌガ、是モ餘程ノ方法ヲ講ジナケレバ不可能ダと思ツテ居リマス、本年サヘ切抜ケレバ宜イ、或ハ吉田内閣サヘ切抜ケレバ宜イト云フノデナク、日本ノ經濟再建ハ將來ニ殘ツテ居ル、内閣ガ變ラウガ、大臣ガ變ラウガ、如何ナルコトガアツテモ日本經濟ノ破綻ニ導カナイ、ドチラノ方面カラ見デモ來年モ再興年モ安全ダト云フ財政政策デナケレバナラヌト思フノデアリマス

ガ、私ハ遺憾ナガラ此ノ點不安ニ堪ヘナイノデアリマス、一口デ宜イカラ、ソレハ安全デアアルカ、或ハ困難デアアルカ、出來サウニナイカ、此ノ三ツノ中ノ何レカノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 御答ヘトシテハ安全ナリト申上ゲマス、ソレハ如何ニモ昨日申上ゲマシタヤウニ、困難ナ點ガアルコトハ仰セノ通りデアリマス、併シナガラ是ハ必ズ突破セザルヲ得ナイ、又日本國トシテハ突破セザルヲ得ナイ、若シ本當ニ突破出來ナイ點ガアルトスレバ、日本ガ占領下ニアルト云フ點デアリマスガ、此ノ點モ昨日申上ゲマシタヤウニ、私ハ聯合國ノ占領政策ハ日本ヲ潰ス爲メデナイト云フコトヲ信ジテ居リマスカラ、十分突破シテ行ケルト確信シテ居リマス

○河原田委員 答辯ハ非常ニ心強イ答辯デアリマスガ、實際ハ大臣ノ顔ヲ見テ居リマシテモ、私ハ安全ナリト答辯シテ居ルケレドモ、終ヒハ泣顔ニナツテ居ルヲ聽キマシタ、日本經濟ハ今大臣ノ顔ガ變ツテ來ル如キ狀態デアルト心配致シテ居リマス、茲ニ於キマシテドウシテモ我々議員トシテハ政黨政派ヲ超越シテ、財政ノ將來ニ對シテ動力ガザル所ノ方針ヲ立テナケレバナラナイ、一大藏大臣ノ考ヘバカリデナク、全政府モ全政黨モ舉ツテ將來ノ經濟ノ安定方策ヲ立テナケレバナラヌ、之ニハドウシテモ貯蓄ノ救國運動——是ハ極端カモ知レマセヌガ、凡ユル方法ヲ講ジテ、此ノ前ノ大臣ノ答辯ノ如キモノデナク、如何ナル政黨ガ政權ヲ握ツテモ、先程ノ新國ハ不公平デアツテモ税金ヲ課ケナイノダト云フ御答辯

ガアツタコトヲ何處マデモ實行スル、各黨派舉ツテ將來ニ向ツテ貯蓄運動ヲ展開スルナリ、何等カノ方法ヲシナケレバ是ハ切抜ケラレナイ、私ハ大藏大臣バカリデナク總理大臣ニモ出席ヲ願ツテ置キマスガ、今御願ヒ出來レバ結構デアアルシ、ソレガ出來ナカッタナラバ今ノ速記ヲ見テ戴イテ總理大臣ノ御所見ヲ承リタイ、ソレカラ重ネテ大藏大臣並ニ安定本部ノ長官ニ此處デ言明願ヒタイノデアリマスガ、此處デ色々現内閣ガ良イトカ、現内閣ガ斯ウデアルトカ、又石橋財政ガドウデアルトカ、云フコトデナク、日本ノ將來ノ經濟何トカ建直ス爲メ政黨政派ヲ超越シタ所ノ貯蓄運動ヲ、是ハ國策トシテ絕對ニ動かセナイモノデアアル、一旦一定ノ決マツタ銀行ニ貯蓄シタ者、或ハ郵便貯金シタ者ハ再ビ政府ノ責任ニ於テ何處マデモ守ツテヤルノダト云フ所ヲハツキリ御示シ下サツテ、是ハ如何ニ政府ガ送りマシテモ其ノ方針ハ變ラズ進ムト云フ所マデ行カナケレバ、日本ノ財界ノ建直シハ出來ナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒ、又安定本部長官、總理大臣ニモ來テ戴イテ御答辯ヲ願ヒタイ、此ノ點ハ殊ニ重大デアリマスガ、若シヤルトスレバ自由黨、進歩黨、與黨、野黨ナドト云フコトデハ日本ノ經濟ハ乘切レマセヌカラ、社會黨トカ小會派ニモ呼掛ケテ、政黨政派ヲ超越シタ所ノ大運動ヲ展開シテ、之ヲ實行シナケレバ日本ハ立タナイ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ大藏大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○石橋國務大臣 全ク同感デアリマス、其ノ運動ハ政府トシテモ起ス所存デ只今準備シテ居リマス、是非各政黨

政派ノ諸君ニ御賛同ヲ切ニ御願ヒ致ス次第デアリマス

○河原田委員 安定本部長官ト總理大臣ハオイデニナツテ居リマセヌカラ後デ答辯シテ戴クコトニ致シマス、其ノ場合ニハ運動ノ實行方法ナドモ具體的ニ示シテ戴カナケレバ出來ナイノデアリマスカラ、是ハ後ノ時間ニ譲リマス

次ハ大藏當局ト安定本部トノ問題デアリマスガ、日本ノ經濟ヲ切盛りスルノハ安定本部ニアルカ、或ハ大藏省ニアルカ、斯ウ云フ問題デアリマスガ、兩方ニアルト云フコトハ、兩方ニナイト云フコトニナル、御互ヒ責任ノナスリ合ヒニナル、又安定本部ナルモノガ非常ナ力ヲ持ツテ居リマシテ、大藏大臣以下大藏省ヲギユット睨ムダケノ力ガアリマシタナラバ是ハ簡單デアルト思ヒマス、然ルニ現在ノ安定本部ハ私ノ見ル所デハ到底大藏省ヲ抑ヘルダケノ能力ガナイト思ヒマス、是ハ五十燭光ノ安定本部ガ百燭光ノ石橋大藏大臣ヲ抑ヘルコトガ出來ナイノハ仕樣ガナイ、是ハ本部長官ノ問題デナクシテ總體ノ編成ガコ、ニアルト思ツテ居リマス、現在ノ安定本部ガ大藏省バカリデナク各省即チ財政ナラ財政關係ノ各省、商工省モ農林省モギユット抑ヘルダケノ力ガナイ、此ノ力ノナイモノノ計畫ニ依リマシテ、指揮命令ニ依ツテ各省ガ動クノハ是ハ私實ニ不安ニ堪ヘナイノデアリマス、此ノ點大藏大臣ハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ

○石橋國務大臣 經濟安定本部ハ非常ニ大切ナ役目ヲ持ツテ居ルノデアリマス、無論經濟安定本部ダケノ力デ十分ノコトハ出來ナイト思ヒマスガ、私共殊ニ是ハハツキリ申上ゲマスガ、大藏省トシテハ全力ヲ擧ゲテ經濟安定本部

政派ノ諸君ニ御賛同ヲ切ニ御願ヒ致ス

ニ協力ヲ致ス、ソシテ經濟安定本部ヲ中心ニシテ政府全體ノ政策ハアソコ決定メテ行ク、斯様ナ方針ヲ堅ク執ツテ居リマス

○河原田委員 只今ノ御答辭ノ如ク正シク其ノ通りダト思ツテ居リマス、如何ニモ大藏省ノ持ツテ居ル所ノモノハ非常ニ大キイ、人的資源ニ於テモ大キイカラソレデ以テ安定本部ヲ援ケ、何トカシテ安定本部ヲ落ツナイヤウニ拾上ゲテヤツテ同ジヤウニ持ツテ行カナケレバナラヌト云フノガ大藏省ノ現在デハナイカト思フ、各省ニ於テモサウデアル、サウシマス安定本部ト云フモノハ其ノ程度ガ各省ヲ握ル程度ノモノ、今ナツテ居ナイ、是ハ實ニ遺憾デアリマス、併シ日本デ現在ヤラザルヲ得ナイトスレバ、是ハ已ムヲ得ナイカラ存續スルヨリ外ニ方法ハナイノデアリマセウガ、今後ノ日本ノ經濟ニ於キマシテ安定本部ト云フモノハ昔ノ企業院、審議會其ノ他ノ程度ノモノナリト考ヘラレテ、名目上ハ各省ノ上ニアルカモ知レマセウガ、各省ニ於テハソレニ頼ラズ飽クマデ自主的ニ各省ハ各省トシテ案ヲ作ツテ進メラレテ、餘リ安定本部ニ依存サレルコトノナイヤウニシナケレバナラヌ、若シ萬一安定本部ガ立派ニ出來、人的資源ニ於テモ凡ルモノニ於テモ各省ヲ凌グコトガ出來タナラバ別デアリマスガ、是ハ到底見込ガアリマセウカラ、此ノ點ハ將來ノ經濟ニ付テ大藏大臣バカリデナク外ノ省ニ於テモ其ノ考ヘガ、ソレハ安定本部デヤツタシカカラ私ノ省デハ分リマセヌト云フヤウナコトノナイヤウニ責任ヲ持ツテヤツテ戴カナケレバナラヌノデアリマスガ、其ノ點能ク大藏大臣バカリデナク、他ノ大臣ニモ其

ノ結果ヲ御傳ヘテ願ツテヤツテ戴キタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ
○石橋國務大臣 政府全體ノ政策ハ飽クマデモ安定本部デヤラナケレバイケナイト私ハ存ジテ居リマス、ソレデ安定本部ニハ勿論各省大臣殊ニ經濟關係ノ大臣ハ總テ參畫スル譯デアリマスカラ、ソコデ政策ヲ決メルト云フ譯デアリマシテ、御言葉ノヤウニ安定本部ガ非常ニ弱イト云フヤウナコトハ、現在ハ謂ハ開店勿々デアリマスカラ、色々メザルヲ得マセウガ、私ハ御言葉ノヤウニ安定本部ガ、ヒ弱イモノニ將來ナルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

或ハ反對ノ方向ニ導カレル方針デアルカ、之ヲ御伺ヒ致シマス、是ハ速記録ヲ見テ答辭ヲシテ戴キタイ、此ノ點ノ大藏大臣ノ答辭ハモウ分リマシタカラ宜シウゴザイマス
○賠償工場ノ問題デアリマスガ、賠償工場ガ昨日モ問題ニナリマシタガ、五百モアル、此ノ五百モアル所ノ賠償工場ハ、ドウ云フ結果ニナルカ知レマセウガ、此ノ賠償工場ハ一方ニ於キマシテハ軍需關係ノモノガ多イ、又一方ニ於テ被災ニ遭ツタモノハ戰災保險ヲ持ツテ居ツテモ五萬圓デ打切りニナツテ居ル、所ガ今度ノ賠償ト云フコトニナリマス、是ハソレト違フ國家ガ之ニ對シテ今ノ時價ニ依ツテ補償スルト云フコトニナリマシタナラバ日本ノ經濟政策ガ立チ難クナリ、一般國民ノ負擔ガ餘リ多クナル、茲ニ於テ全國是等ノモノニ出サナイト云フコトモ出來ナイコトニナリマシタナラバ、昨日ノ商工大臣ノ御話デハ之ニ幾ラカ出シタイヤウナ風デアリ、ソコガ危シヤニナツテ居リマスガ、是ハ一方五萬圓ナラ五萬圓デ打切りト云フコトヲハツキリシテ置キマシテ、ソレヲ持ツテ行キマシテモ尙モ建物ガ殘ルトカ色々ナモノガ殘ル、ソコデドウシテモソレガ立チ行カナイモノニ對シテ、今度ハ其ノ荷造リデアルトカ運搬デアルトカト云フ問題ガ茲ニ起ルノデアリマスカラ、斯ウシタ仕事ヲ其ノ會社ニ行ハシメテ、其ノ間ニ何トカ立チ行ク方法ヲ立テルト云フ位ノコトニ整理方法ヲハツキリシテ戴キタイト思ツテ居リマス、是ハ將來ニナリマシテ何十億何百億、或ハ何百億ヲ超エルカモ知レマセウガ、之ヲ補償シナケレバナラヌト云

フトコトニナルト國家ノ經濟ハ立タナイト云フコトニナリマスノデ、此ノ點ハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、大藏大臣ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス
○石橋國務大臣 屢ニ申上ゲマスヤウニ賠償關係ノ補償ニ付テハ未ダ何等確定シテ居リマセヌ、併シ御意見ハ非常ニ我々トシテ參考ニナル點ガアリマスノデ、承ツテ置キマシテ十分善處致シタイト考ヘテ居リマス
○河原田委員 次ハ細カナ問題ニナリマスガ、今度預金ノ第一封鎖、第二封鎖ト云フ問題ガアリマシタガ、其ノ他斯ウシタ僅カノ問題ハドウ云フ風ニ取扱ハレル御考ヘデアリマスカ、預金トシテ取扱フコトノ出來ナイ法人ガ假受金トシテ色々將來ノ、マダ支拂ノ計算ガ濟マナイト云フ點デ是ノ整理ガ付イテ居ナイ、假受金ニナツテ居ルト云フ程度ハ、今ノ新圓云々ノヤウナ大キナ問題デナク僅カノ問題デアリマスガ、新圓アタリノ取扱ト同ジヤウニ御考ヘニナルカドウカ、此ノ點御伺ヒ致シマス
○福田政府委員 只今御尋ネノ點ガハツキリ吞込メナイノデアリマスガ、假受金トシテシマシテソレヲ銀行ノ預金ニシテ居ル場合ニ於キマシテ、ソレハ其ノ假受金ヲ受取ツタ所ノ會社ノ預金トシテ扱フカ、假受金ヲ渡シタ所ノ人ノ預金トシテ扱フカト云フ御質問デアリマスレバ、ソレハ假受金ヲ受ケテ居ル所ノ者ノ預金トシテ扱フ、斯様ニ考ヘテ居リマス、若シ銀行ガ假受金トシテ受取ツテ居リ、ソレヲ預金トシテ扱フノカドウカト云フ點デアリマスレバ、ソレハ銀行ノ預金トシテ扱ヒマス

シテ會社ヘ入ツテ居ル、會社デハ皆ソレヲ使ツテアトデ品物カ製品ガ出來タ時ニ其ノ品物デ支拂ヲシヨウト云フノデ、假受金トシテ會社ニハアリマスケレドモ實際ノ金ハナイカラ、預金モ何モシテ居ナイト云フ場合ヲ御伺ヒスルノデアツテ、其ノ會社ハ更ニ預金ヲ引受ケル所ノ性質ノ會社デナイ、全然サウシタ會社デナイ事業會社ニ幾ラカノモノ、何萬圓カノモノガ茲ニ假受金トシテ入ツテ居ルト云フ場合ヲ御伺ヒシタ譯デアリマス
○福田政府委員 左様ナ場合ニハ第一封鎖預金、第二封鎖預金ト云フヤウナ關係ハ起リマセヌ
○河原田委員 次ニハ財産稅法ノ第二條ノ極ク細カナ事務關係ノコトデアリマスガ、字ノ間違ヒガアルノデアリマス、斯ウシタ點ハ委員ガ修正スルト云フコトニナリマス、ドウモ一箇所修正スルト他ノ所マデ修正シタクナルヤウナ氣ニナル、此ノ點ハドウ云フ風ニ取扱ハレルカ、是ハ活字ノ間違ヒデハナク、修正云々デナク、ドウサレル方針デアアルカヲ御伺ヒシタイ
○池田(勇)政府委員 財産稅法第二條ノ末ノ「これを課さない。」ハ「これを課さない。」デ、是ハ既ニ正誤表デ直スト云フコトニナツテ居リマス
○河原田委員 正誤表ハ出デ居ナイノデアリマス
○池田(勇)政府委員 内閣ノ方ニ手續中デゴザイマス
○本多委員長 河原田君ニ申上ゲマスガ、申合せノ時間ガモウ切迫シテ居リマス、此ノ際國務大臣ガオイデニナリマシタノデ、先程ノ國務大臣ニ對スル御質問ヲ御伺ヒニナツタドウカ

ト思ヒマス

○河原田委員 只今ノ誤リハ今ノヤウニナツテ出テ居ルモノトシテ認メルコトニ致シマス、サウデナイトアトデ修正問題ガ起リマスカラ……

次ニハ國務大臣ガオイデニナリマシタノデ、現在ノ國家ノ經濟ニ於テ、來年、來々今後ノ日本經濟ヲ安全ナラシメル爲ニドウシテモ、デ各政黨政派ヲ超越シタ所ノ大貯蓄運動ヲ展開シナカッタナラバ日本ノ經濟ハ救ハレナイ、斯ウ本員ハ考ヘルモノデアリマス、理由ハ色々アリマセウガ、是ハ略シマス、大藏大臣ノ御答辯ハ伺ヒマシタガ、國務大臣ハ如何様ニ考ヘラレテ居ルカ、若シ之ヲ實行サレルトスルナラバ其ノ實行方法ヲ御伺ヒタイソレカラ安定本部ガコ、ニ出來テ居リマスガ、此ノ安定本部ハ、是ハ「アメリカ」ノ現在ヲ見マスト來年六月カラ自由經濟ニナルト言ハレテ居ル、日本ノ安定本部モ一箇年ト制限サレテ居リマス、此ノ一箇年ノ間ニ日本經濟ヲ自由經濟、自由販賣ニ必ズ導カレル確信ヲ持ツテヤラレルカ、動トモスルト一度官職ニ就クトドウカシテ一日デモ大臣ヲ長ク勤メタカツタリ、理窟ヲコデ付ケテ之ヲ引伸バシタイト云フ日本ノ國民性ノ惡イ所ガアルノデアリマスガ、此ノ點ヲ國務大臣ハ如何ニ導カレルカ、サウシテドウシテモ一箇年ト云フ後ニハ必ズ其ノ點ニ乘ツタ、ソレガ出來ナカツタナラバソコデ責任ヲ執ルト云フコトデナケレバナラヌト考ヘルトデアリマス、之ヲ國務大臣ハドウ云フ御考ヘデヤツテ居ラレルカ、或ハ又飽クマデ統制經濟、今マデ自由經濟ニナラウトシタ所ト逆ニ導キタイノ

カ、ソコヲハツキリ向ヒタイ、一年以後デモ其ノ椅子ニ又何トカ名ヲ付ケテ繼リ付キタイ考ヘナノカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイ

○勝國務大臣 先ツ第一ノ點デアリマスガ、是カラノ經濟ノ建直シ國民的ノ貯蓄運動ノ展開サレルコトハ非常ニ好マシイコトデアリマス、斯様ナコトニ依ツテ初メテ此ノ非常措置ノ完成ガ出來ルノドト考ヘテ居リマス、出來ルダケサウ云フ運動ノ展開サレルコトハ希望致ス次第デアリマス、又次ニ安定本部ガ一年經ツテマダ續カドウカト云フヤウナコト、安定本部ノ仕事モ一年ノ中ニ完成致シタイト努力致シテ居リマス、勿論統制ノ爲ノ統制ヲ致ス意味デハアリマセス、勿論自由ノ經濟社會ノ出來マスコトハ好マシク、統制モ必要ガナクナリマスレバ、一ツ外シテ行クノガ私共ノ務メト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○河原田委員 極ク簡單ニ申上ゲマスカラ、モウ一寸時間ヲ御許シ願ヒタイ、モウ既に經過シテ居ルカト思ツテ居リマス、今ノ國務大臣ノ御答辯ニハ了承シ兼ネル點ガアルノデアリマス、貯蓄運動ニ致シマシテモ、具體的ニドウ云フ風ニヤラウト云フヤウナ所マデ、マダ行ツテ居ナイト云フ程、此ノ經濟ヲ自由經濟ニ導クコトニ付キマシテモ、成行ニ任シテ行クヤウナ御答辯デアリ、ソレヲ能ク噛ミシメテ聽キマスト、ドウモ何トカ意ニトナツテ見タラ一年間デヤルト云フコトダツタガ、モウ少シクツ付イテ居タイト云フヤウナコトガ、東亞ニアルノデナイカト云フ御答辯ニ聽キマス、サウ云フコトデナク、一年間ニ自由經濟ニ導クコトガ

出來ナカツタナラバ、一年間ノ使命ヲ持ツテ發足シタ安定本部ダカラ、清ク自分ノ一年間ノ使命ニ職ヲ賭シ積リデヤルト云フ考ヘデ、日本再建ニ御努力願ヒタイノデアリマス、重ネテ御願ヒ致シマスガ、サウ云フ考ヘニナラレマセウカ

○勝國務大臣 御意見トシテ拜承致シマス

○河原田委員 斯ウナリマシタカラ重ネテ一言ダケ……一體現在統制經濟ヲヤツテ居リマシテ、如何デアリマセウ、東京都内ニハ食糧ガナイト言ツテ、配給ヲシナクテ居ル、色々「ルート」ヲ通ツテ居ル爲ニ、アノ茨城縣ダケニ見マシテモ、何萬貫ト云フ甘藷ガ、此ノ雨ノ爲ニ毎日腐ツテ居ルノデアリマス、之ヲ供出シヨウトシマシテモ、受取レナイ、先ノ配給ガ詰ツテ居ル、是ガ現在ノ統制經濟デアリマス、是ガ何トカシタ方法ニ依リマシテ、東京居民ニ一人一俵デモ持ツテ宜シイト云フコトニナリマシタナラバ、自由ニヤラセマシタナラバ、是ハ幾日モ經タナイ間ニアノ諸ガ腐ラズ食糧トナルノデアリマス、昨年アノ食糧不足ニ、茨城縣ニ於キマシテハ、申上ゲタクナイノデアリマスガ、五百萬貫ノ甘藷ガ途中デ腐ツテ居リマス、尙ホ農家デ腐ツテ居ルモノガマダアルノデアリマス、斯クノ如キ統制經濟ヤリマシテ、國民ヲ食糧マデ塗炭ノ苦シミニ陥レルト云フコトハ、見ルニ忍ビナイノデアリマス、若シモ萬一之ニ方法アリト致シマシタナラバ、御聽カセ願ヒタイシ、アノ腐ツテ居ル甘藷ヲ腐ラナイト云フナラバ、オイデヲ願ツテ見テ戴キマス、ソコデ獲得ヲシタイト云フノガ、私ノ

要求スル所デアリマスガ、如何デアリマスカ

○勝國務大臣 甘藷ノ搬出及ビ配給ニ付キマシテハ、サウ云フ遺憾ノナイヤウニ運輸、農林當局ト安定本部ガ中心ニナリマシテ、折角今マデモ方法ヲ講ジ、尙ホ是カラモ講ジツ、アル譯デアリマス、サウ云フコトノ出來ナイヤウニ萬全ノ策ヲ講ジタイト存ジマス、又今ノ御話ノヤウナコトガ起キテ居ルトシマスレバ、ソレハ誤ツタ統制ノ仕方ヲシテ居ルノデアリマシテ、物ノ配給「ルート」、又配給ノ方法等モ、是正シテ參ルベキモノガ多アルト存ジマス、サウ云フ點ハ是カラ十分ニ注意シテ參リタイト存ジマス

○河原田委員 餘リ頼リナイ所ノ答辯デアリマシテ、是レ以上時間ヲ此處デ費シマスコトハ、他ノ議員ノ關係ト、時間ヲ委員長カラ強ク今朝注意致サレマシタカラ、此處デ打切りタイト思ヒマスガ、各委員ノ方々ニ於ケレマシテモ、只今申上ゲタ如キ統制經濟ノ狀態ニナツテ居リマスノデ、皆サンノ協力ヲ得マシテ、斯クノ如キ弱イ所ノ政府ヲ、何トカ此ノ委員會ノ外ニ於キマシテモ難捷シテ、サウシテ弱イ大臣ヲ援ケテ、自由經濟ニ是非共導カナケレバナラナイ、大臣ノ所信ハ餘リニモ薄弱デアリマス、頼リナイト思ヒマス、腐ツテ居ルモノヲ、食ハセナイ、其ノ方法ガ惡イ、折角ヤル、現在腐ツテ居ルデヤアリマセウカ、斯ウ云フノデハ我々議員トシテハ國民ニ對シテ申譯ガナイ、ソコデ各議員ニ於ケレマシテハ、何トカ御贊同願ヒタイ、サウシテ日本經濟ヲ自由經濟ノ方向ニ導ク、尙ホ一面ニ於キマシテア、シタ腐ツタモノヲ利用サセ

ル、東京都民ノ如キ即刻一人一俵ツ、ヲ保管シテ戴ク、幾ラデモ戴ク、アルノデス、斯ウ云フ方向ニシタイト思ヒマス、委員諸君ノ御贊成ヲ願ヒタイ、當局ハ餘リ頼リナイ點モアリマスノデ、此處デ強ク責メマシテモ仕様ガアリマセウカラ、打切ルコトニ致シマス、後デ總理大臣ノ答辯ガ御願ヒ致シマス

○本多委員長 川島金次君

○川島委員 洵ニ卑近ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、凡ソ政治ト云フモノハ、殊ニ敗戦ノ現在ノ日本ノ政治ト云フモノハ、國民ノ凡ソ舉ゲテ全體ノ人々ガ、非常ナル虛脱ノ狀態ニアルノミナラズ、大部分ハ極メテ其ノ希望ヲ失ツテ居ル人モアル、又一面ニハ經濟ノ諸條件等ニ包圍サレマシテ、所謂意氣ガ沮喪シテ居ル面モ少シシナイデアラウ、更ニ又國民ノ行クベキ道ニ付テ、將來我々國民ハ政治的ニモ、經濟的ニモ、何處ヘ行クベキデアラウカト云フ事柄ナドニ付テ、迷ツテ居ル國民モ、是亦極メテ少クナイノデハナイカト思フノデアリマス、政治ノ本道ト申シマスガ、政治家ノ使命ト申シマスガ、サウ云フ事柄ハ、凡ソ迷ツタ國民ニ對シテ、其ノ國民ニハツキリトシタ道知ルベク與ヘルコト、希望ヲ失ツタ國民ニ希望ヲ與ヘ、明日ヘノ光ヲ與ヘルコトデナケレバナラナイト思フ、意氣ヲ沮喪シテ居リマスル國民ノ大家ニハ、勇氣ヲ與ヘルニ足ルダケノ確平タル政治政策ヲ闡明スルト云フコトデナケレバ、本當ノ政治デハナイノダ斯様ニ考ヘテ居リマス、然ルニ現内閣並ニ前内閣以來ノ政治ノ方法ヲ私共ガ靜觀シテ居リマスルト、我々ノ政治ニ對スル觀點ニ立脚シテ見マスルト、寧ロ迷ツ

タ國民ニ對シテ一層ニ迷ハシメ、沮喪シタ意氣ヲ國民ニ對シテ、一層ニ其ノ意氣ヲ沮喪セシメルヤナ事柄、希望ヲ失ツタ國民ニ對シテ一層希望ヲ失ハシメルヤナ事柄ガ、問々起ツテ居ルト云フコトヲ、私ハ痛感ヲ致シテ居リマス、其ノ一ツノ卑近ナ例ヲ申上ゲマスルト、今日問題ニナツテ居リマスル戰時補償ノ打切ノ問題、之ニ伴フ企業ノ再建ツ云フ問題ハ、昨年末以來國民ノ間ニ、心アル人々カラ強ク論究サレ、論議サレ、或ハ要望サレテ參ツタ事柄デアルコトハ、御當局モ御承知ノコトト思ヒマス、然ルニ其ノ事柄ガ決定ヲ見タノハ漸ク今日デアツテ、其ノ間ニ既ニ凡ソ十箇月ニモナツテ、初メテ、案ガ具體化シテ來タツ云フ有様デアリマス、財産稅ノ如キニ於キマシテモ、是レ亦本年ノ初頭ニ於テ、非公式デアリマスケレドモ、政府ガ聲明シタニモ拘ラズ、其ノ財産稅ガ具體化ニナツタノハ是レ亦十箇月モ後ニ於ケル今日ニナツタト云フ始末デアアル、政治ト云フモノハ、一日モ早ク國民ノ行クベキ道ヲ明確ニ具體化シテ示シテ、其ノ政策ニ對シテ國民全體ノ精力ヲ物質ノ力ヲ結集スルコトニアルノデハナカト私ハ思フ、然ルニ只今申上ゲマシタヤウニ、國民ノ輿論ガ其處ニ向イテ居リナガラ、政府ノ決定スル施策ト云フモノハ何時モ半年後デアリ十箇月後デアルト云フ其ノ事柄ハ、其ノ間如何ニ心アル國民モ心ナキ國民モ併セテ惑ハシメ、併セテ失望セシメ、併セテ折角ノ意氣盛ンナラントスル國民ヲシテ寧ロ意氣ヲ沮喪セシメルト云フ結果ニナツテ來タカ知レナイト思フ、更ニ又モウ一ツノ卑近ナ例ヲ申上ゲマスナラバ、今既ニ全國農村カラ供出ヲ實現シツ、

アルニ拘ラズ、農村ノ方面カラ供出サレテ居ル所ノ新米穀年度ノ飯米ノ供出ニ當ツテモ、未ダニ政府ハ此ノ米穀ノ價格ト云フモノヲ決定サレテ居ラナイ、既ニ農村カラ陸續ト愛國ノ精神ノ發露ト致シマシテ新米ガ政府ノ手許ニ買上ゲラレテ居ル、而モ農村ハ都會地ノ人達ノ窮乏ト缺乏ニ對シテ深甚ナル理解ト同情ニ基イテ率先供出ニ協力シテ居ルト云フ方面ガ少クハナイノニ拘ラズ、先頃來政府ニ於テハ、米價ハ本年度ニ於テハ六百圓ニスルデアラウツ云フコトガ新聞紙上ニ傳ヘラレテ居ル、之ニ對シテ經濟安定本部カラ所謂橫槍ガ入ツテ、ソレハ罷リナラス、併シ三百圓ハ拂フガ、アトノコトハ決定シテ居ラナイノデカラ、一應供出ダケハシテ貰ヒタイト政府ハ農村ニ向ツテ供出ヲ懇請シテ居ル、一體物ノ取引ニ於テ、如何ニ政府ガ物ヲ買上ゲル側ニ立ツト雖モ、物ノ値段ヲ決メナイデ其ノ供出ヲ懇請シ、或ハ強制ニ近イ供出ノ態度ヲ執ルト云フコトハ、正常ナル取引ノ觀念カラ言ツテモ私ハ妥當デハナイ事柄デアルト思フ、其ノ事柄ニ依ツテ農村ノ大衆ニ米穀ノ供出ニ對スル相當ナ影響ガ及ンデ居ルノデハナカト私ハ思フ、面ガ數々少クナイノデアリマス、更ニ、政府ガ企業再建ノ事柄ニ付テ極メテ熱心デアアルコトハ私共ハ諒トスルノデアリマスガ、此ノ企業ノ再建ニ當ツテモ、其ノ一環ヲ成ス基礎的な問題デアアル所謂運賃ノ問題ノ如キモ、既ニ一、二箇月前運賃省ニ於テ、荷物運賃ハ三十割、旅客運賃ハ二割五分ノ値上ヲ內定シテ居ルト傳ヘラレテ居ル、而モ其ノ實施ノ時期ハ今月ノ一日デアルト新聞紙上傳ヘラレ、又政府筋モ非公

式ニ聲明サレテ居ル、ソレガ一日ニナリマシテモ運賃ノ値上ハ如何ニナルノカ、未ダニ決定ノ時期ニ達シテ居ラナイト云フコトヲ私共ハ承ツテ居ル、一體此ノヤウナ政治デアツテハ、國民ヲ納得サセ、國民ヲ安心サセ、所謂敗戰日本ノ再建ニ總力ヲ結集スルヤウナコトニ持ツテ行クコトガ簡單デアルト私共ハ考ヘラレナイ、之ニ對シテ先ヅ騰國務相カラ只今私が申上ゲマシタ事柄ニ付テ御所見ヲ一應承ツテ見タイト思フノデアリマス

○騰國務大臣 政治ノ要諦ガ、國民ノ氣持ヲ機微ヲ擷メ、之ヲ意氣ノ沮喪スルコトナク善導シテ參ル、是ハ戰後ノ國策ヲ指導スル上ニ必要デアアルコト御説ノ通りデアルト思ヒマス、唯、悲シイカナ日本ハマダ敗戰ノ結果聯合軍ノ占領下ニアリマシテ、色々政治行動カス上ニ付キマシテ日本政府ノミデ決定シ得ナイ問題モ多クアルノデアリマス、政府ハ萬全ノ努力ヲ拂ヒマシテ政治ノ運行ノ早カラシムコトニ努メテ居ルノデアリマスケレドモ、ヤハリ已ムヲ得ナイ部分モアルノデアリマス、尙ホ我々ハ其ノ點ノ難局ノ打開ニ付キマシテハ全力ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、其ノコトニ付テ御諒解ガ得タイト存ジマス

○川島委員 只今ノ後段ノ方ノ質問ニ對シテ御答ヘガナイノデモウ一遍繰返シマスガ、總體のニハ御答ヘガアツタヤウデアリマスガ、具體的な問題ノ米價ノ事柄、是ハ本日ノ毎日新聞紙上ニ依リマス、昨日ノ午後零時半カラ閣議ヲ開イタ結果、米價ハ五百五十圓ニ內定致シタト云フコトガ報道サレテ居リマス、私ハ、此ノ米價ノ決定ノ如何ト、更ニ延イテハ主食糧ノ配給ノ

増配サレルカドウカト云フ事柄ハ、延イテ日本再建ノ企業ノ上ニモ重大な關係ガアルト考ヘテ居リマス、其ノ立場カラ御尋ネヲ致スノデアリマスガ、昨日ノ閣議ヲ協議ノ結果米價ハ新聞紙上報道サレタ通り五百五十圓ニ內定致シタモノデアリマセウカドウカ、ソレヲ改メテ御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス、而モ其ノ五百五十圓ノ米價ニ對シテ消費者價格ハ大體右當リ四百五十圓ト內定シタ、斯ウナ事柄モ報道サレテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シテ御意見ヲ承リ、併セテ、只今申上ゲマシタ產業再建ノ上ニモ、是亦重大な關係ヲ持ツテ居リマス運賃ノ値上問題、當初十月一日ニ實施スルコト云フコトハ殆ンド確定的デアツタ譯デアリマスガ、ソレガ一體何時實施サレルノデアルカ、ソレトモアノ値上實施案ト云フノハ一應中止ヲスルコトニナツタノカ、是ハ非常ニ關係ガ大キクハツ廣イ問題デアリマス、改メテ御伺ヒヲ致シマス

○騰國務大臣 米價ノ問題ニ付キマシテモ、鐵道運賃ノ問題ニ付キマシテモ、政府部内デ色々研究ハシテ居ルノデアリマス、既ニヨリ早ク決定サルベキデアアルコトハ當然デアツタノデアリマスガ、是モ色々問題ニ關聯ヲ持チマス、各面トノ協議ヲ要シマスノデ、マダ確定發表スル時期ニ達シテ居ラヌノハ甚ダ私モ遺憾千萬ニ存ジテ居リマス

○本多委員長 川島君ニ申上ゲマスガ、時間モアリマセシ、委員會ノコトデアリマスカラ、成ベク付託セラレテ居ル法案ニ直接關係ノアル質問ニ入ツテ戴クヤウニ希望致シマス

○川島委員 折角委員長ノ御注意デアリマスガ、是ハ此ノ問題ト關聯シテ極メテ重大デアルト私ハ確信ヲシテ居リマス、ソコデ御尋ネヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス、只今國務相ハ發表ノ域ニ達シテ居ラナイト云フ御話ノヤウデアリマス、傳ヘル所ニ依リマス、運賃省ノ値上實施案ト云フモノニ對シテモ、同時ニ米價ノ問題ニ對シテモ、其ノ筋ト云フヨリハ寧ロ經濟安定本部ノ考ヘ方ニ當該當局トノ相違點ガアル、ソコニ此ノ決定ノ正式ヲ發表ヲ見ルコトニナラナイト云フ重大な原因ガアル、斯ウ云フコトヲ我々ハ一應耳ニシテ居ルノデアリマス、ソコデ併セテ其ノ事柄ト同時ニ、經濟安定本部ニ於キマシテハ、農ニ農林當局ガ原案トシテ持出シマシタ米價ノ六百圓說、ソレカラ運賃省ニ於ケル貨物運賃ノ三十割、旅客運賃ノ二割五分ノ値上、安定本部ハ此ノ値上ヲ適當ト認メタルノカ、ソレトモ此ノ米價案ニ對シテ、或ハ運賃値上案ニ對シテハ不當デアルノデ、ソレヲモツト引下ゲルコトガ必要ダト云フ見解ニ基イテ居ラル、ノデアアルカ、其ノ點ヲ一ツ此ノ際答ヘルコトガ出來マシタナラバハツキリシテ戴キタイ、斯様ニ思ヒマス

○騰國務大臣 只今ノ御質問ノ中ニ、米價ヲ農林省デ決メタ、或ハ鐵道運賃ヲ運輸省デ決メタト云フ風ニ仰セラレテ、何カ安定本部ノ橫槍デアアルカノヤウナ御氣持ヲ御尋ネデアリマスガ、元來米價モ鐵道運賃モ、是ハ物價應定メル權限ヲ持ツテ居リマス、物價應定ハ色々物價ノ點ト睨ミ合セテ考ヘ、尙ホ先程申シマス通り、手續又研究ノ

進マスコトモアリマス、遠カラズ發表スルコト出來ヨウカト思ヒマス、農林省或ハ運輸省デドウ云フ研究ガアツタト云フヤウナコトニ付テ申上ゲルコト出來マセヌガ、是ハ參考ニハ致シマスケレドモ、必ズシモ物價廳ガ同一ノ考ヘヲ持ツカドウカト云フコトハ別問題デアリマス

○川島委員 折角ノ御尋ネデアリマスガ、御答ヘガ出來ナイト致シマスレバ已ムヲ得マセヌノデ、此ノ點ハ打切ツテ置キマス、ソコデ私ハ大藏大臣ニ御伺ヒテ申上ゲタイコトガアリマス、大藏大臣ハ先般來軍需補償ノ打切、企業ノ再建ヲ圖ツテ、總テ新圖一本ノ經濟ヲ確立致シタイ、而モソレハ極メテ急速ノ期間ニ於テ實施ヲ致シタイト云フ洵ニ確信ノアル心強イ御話ガ屬マシテ居リマス、大藏大臣ノ考ヘテ居リマスル如ク戰時補償ノ打切、企業ノ急速ノ再建ヲ圖ツテ、將來新圖一本ノ經濟ニ落付カセルト致シマシテモ、一體其ノ時期ト云フモノハ何ノ程度ノ所デ我ハ考ヘテ置イテ宜イノカ、是ハ財界又一般民間ノ企業界ニ於ケル人々ノ非常ニ懸念ヲシテ居ル所デアリマス、同時ニ一般國民大衆ノ中心トナツテ居リマス、恐ラキ具體的ニ大藏大臣ガ其ノ時期ヲ明確ニ御示シナラレト云フコトハ、注文ヲスル私共ノ方ガ無理ト思ヒマスガ、大體當局トシテサウ云フ意思ガアル以上ハ、其ノ意思ヲ實行ニ移ス大體ノ見透シト大體ノ落付先ト云フモノヲ持タレテ居ルノデハナイカト私共ハ御期待ヲ申上ゲルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 私ガ今御話ノヤウナ考ヘヲ抱キ、其ノ方針ヲ施策ヲ進メテ居ルコトハ事實デアリマス、但シ時期ノコトハ、御質問ノ中ニモアリマシタヤウニ、中々是ハハッキリ今ノ段階デハ申上ゲ難ネマス、唯其ノ區別ノ撤廢ハ一時ニドカット必ズシモヤル必要ハナイ、遂次ヤルト云フ方法モアリマス、ソレ等ノコトハ今實際ノ經濟界ノ動キト見合セテ始終數字のニモ研究ヲ致シテ居リマシテ、成ベク早イ時期ニ逐次其ノ區別ノ撤廢シテ、色々ノ弊害或ハ不便ヲ除キタイト考ヘテ居リマス、之ヲ全部撤廢ガ出來ル時期ハイッカタ言ハレマス、一寸申上ゲ難ネ、兎ニ角只今補償ノ打切或ハ企業ノ整備或ハ金融界ノ整備ノ狀況ヲ見ツ、其ノ時期ヲ定メタイト考ヘテ居リマス

○川島委員 大臣ノ御答辯ニ依リマスト洵ニ抽象的デ、隨ヒマシテ國民ノ側ニ立チマシテハ、聊カ納得ノシ難ネル點ガ多イノデアリマス、其ノ時期ニ付テハツキリ申上ゲラレヌト云フコトデアリマスレバ、是レ亦已ムヲ得ナイノデアリマス、ソコデ私ハモウ一言大臣ニ之ニ關聯シテ御伺ヒ致シタイ、ソレハ新圖一本ノ經濟ニスルコト云フ御方針ノ下ニ戰時補償ノ打切、ソレニ關聯スル企業ノ再開、其ノ再開後ニ於ケル財界ノ事情等ヲ含メテ其ノ御方針ヲ研究シナガラ適當ナ時期ニ實施シタイ、斯ウ云フ事柄ヲ私ハ承知ヲ致シタイノデアリマスガ、サウナツテ來ルト、私共ノ見解ヲ以テ致シマスレバ、新圖一本ノ經濟ヲ確立スルコト云フコトハ、國民ガ希望シテ居ルヤウナ急速ナ時期ニ於テハ到底實現ガ不可能デハナイカト私ハ想像スル點ガアルノデアリマス、サウスルト其ノ一面ニ於テハ、我々國民ハ今以テ所謂五百圓生活ノ管理生活ヲ餘儀ナクサレテ居ル譯デアリマス、然ルニ一方ニ於テハ、大藏大臣ノ屢々言明セラレマシタ如クニ、通貨ノ膨脹ト云フコトハ餘リ心配ニナルモノデハナイ、生産再開ノ目的ヲ達成サレレバサウ云フ問題ハ心配ニナラナイ、成程大藏大臣ノ言ハレヤウナ見解ニ立ツテデハサウデアリマセウガ、一方ニ於テ國民ノ側カラ申上ゲマスナラバ、只今私ガ御尋ネラシタノデアリマスガ、一番重要ナ米價モ三百圓デナイコトダケハ確實デアラウト私ハ思フ、六百圓ニナルノカ五百圓ニナルノカハ別デアリマスガ、米價ヲ適當ニ吊上ゲル政策ヲ行ハナケレバナラヌト云フ主觀的ナ、客觀的ナ情勢ガモウ既ニ熱シテ居ルト私ハ見テ居リマス、米價ノ或ル程度ノ大幅ノ値上ハ晩カレ早カレ實現ヲ致スモノデアラウト考ヘマス、一方更ニ鐵道運賃ノ如キモ、是レ亦晩カレ早カレノ問題デアル、政府ガ屢々言明サレタ通り、日本經濟再建ノ基礎ト云フモノハ米價ヲ中心トシテ、又石炭ノ價格ヲ中心トシテ物價ノ安定ヲ求メタイ、斯ウ云フ風ニ我々ハ承知致シテ居ルノデアリマスガ、サウナツテ參リマスト米價、運賃等ノ値上ニ伴ツテ、他ノ物價ノ値上リモ亦一方通貨ノ増發ニ伴ツテ必然ノ勢ヒトシテ現ハレリノデハナイカト私ハ思フ、其ノ場合ニ、從來政府ノ行ツテ參リマシタ通り、將來モ現在同様ニ國民大衆ノ生活ヲ五百圓ノ枠デ嵌メテ置イテ、ソレガ適當ナ政治デアラウト私ハ思ヘナイノデアリマス、一方只今申上ゲマシタ如ク、新圖一本ノ經濟ノ實現ヲ圖ル爲ニハ將來相當ノ時期ヲ要スル、其ノ時期ノ間ニ五百圓ノ生活ノ枠ヲ嵌メラレテ、其ノ中デ更ニ一般ノ物價ノ値上リニ遭遇シナガラ生活ヲシテ行カナケレバナラヌト云フ國民大衆ガアル、其ノ場合私ハ新圖一本ノ經濟ノ確立ガ相當ノ時期ヲ要スルト云フ建前ノ下ニ於テ、大藏大臣ハ其ノ期間ノ暫定措置トシテ只今實施シテ居リマス所ノ五百圓ノ枠ヲ——曾テモ私ハ御尋ネラ申上ゲタノデアリマスガ、ソレヲ或ル程度緩和ヲシテヤルト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレナイノカ、ソレヲ先ヅ御伺ヒ致シマス

○石橋國務大臣 時間ヲ節約スル爲メ、結論ダケ申上ゲマスガ、其ノ御質問ノ最後ノ點モ考究致シテ居リマス

○川島委員 考究ト言ハレリノデアリマスガ、一體ソコガ國民ノ要求デアリ、知リタイ所ナノデアリマス、折角政府ハ其ノヤウナ研究ヲサレ、考ヘラ持タレテ居ルノデアリマスナラバ、出來レバ具體的ニ大體ノ時期ノ見透シト云フモノヲ發表サレルコトガ、私ハ政治ヲ行フ上カラ言ツテモ非常ニ必要ナコトデアリ、大切ナコトデアルト思フノデアリマスガ、何ダカソレニ對シテ具體的ニ大藏大臣ハ御話ヲ致シテ戴ケルヤウナ考ヘハナイノデセウカ

○石橋國務大臣 只今ノ所ハ一寸未ダ其ノ時期等ニ付テ、又ドウカスルカト云フコトモ具體的ニ申上ゲ難ネマス

○川島委員 私ノ質問ニ對シテ、初メカラ抽象的デ、此ノ程度デハ國民ノ恐ラク納得シ出來兼ネル事柄ニナツテシマフノデアリマス、御答辯ガ出來ナイト仰シヤイマスナラバ是レ亦已ムヲ得マセヌノデ、後日ニ機會ヲ得タイト思フノデアリマス

ソコデ更ニ財産稅ノ問題ニ移リマシテ、一言御伺ヒテ申上ゲタイト思フノデアリマス、今度ノ財産稅ハ大體十萬圓ヲ免稅點トシテ、總額ニ於テ四百三十五億圓ノ稅ヲ徵收スルコトニナツタ譯デアリマス、此ノ財産稅ノ抑メノ初メノ計畫デハ、政府トシテハ凡ソ一十億圓ノ稅ヲ徵收シテ國債ノ償還ニ當テルト云フコトガ前內閣以來、恐ラク只今ノ大藏大臣ニ於ケルマシテモ、就任ノ當初ニ於ケルマシテハ左様ナコトヲ考ヘニ置カレテ居ツタノデハナイカト想像ヲ申上ゲルノデアリマス、然ルニ財産稅ノ問題ガ表面化シテ、茲ニ十箇月後ニ於キマシテ、遂ニ財産稅ハ國債ノ償還ニ當テルコトヲ變更サレマシテ、所謂政府ノ赤字補填財源ト云フコトニ決定シナツタヤウデアリマス、ソコデ政府ハ最初ニ一千億ヲ豫想シ、一千億ノ稅額ヲ徵集スル際ニハ免稅點ヲ二萬圓ニシテ、ソレ以上ノ財産ヲ對象トシテ財産稅ヲ徵ル、其ノ徵收方法ト致シマシテハ、言フマデモナク財産稅竝ニ法人ヲ引括メタ財産增加稅ヲモ加ヘタ方法ニ依ツテ稅ヲ徵收スルコトニ當初ハナツテ居ツタヤウニ私ハ承知シテ居ツタノデアリマス、然ルニソレガ幾度カ變轉ヲ致シマシテ、遂ニ法人ニ關スル限りハ見合セ、個人ノ財産稅ノミヲ以テ稅ノ對象トスルコトニ何時ノ間ニカ變更サレテ參ツタ、其ノ場合ニ免稅點ヲ十萬圓ニ致シタト云フ事柄ノ論議ハ別ト致シマシテ、先日大藏大臣ガ議會デ、何處ノ委員會カ覺エテ居リマセヌガ、言明サレタ所ニ依リマスト、此ノ四百三十五億圓ノ財産稅ヲ徵收スルニハ、十萬圓以上ノ財産ヲ對象トシテ大體ニ於テ入ルト思ツテ居ルガ、萬一豫定ノ收入ガナイ場合ニハ、十萬圓以下五萬圓以上ノ財産所有者ヲ對象トスルヤモ知レナイ、斯ウ云フコトヲ言明サレタヤウデアリマス、一體此ノ

ヤウナ重大ナ稅ヲ徵收スル場合ニ於テ、政府ガ基準トシテ決定シタコトガ完全ニ遂行サレルト云フ確乎タル基礎見透シノ下ニ於テ斯ウ云フ事柄ハ行ハナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、然ルニ大臣ノ言葉ニ依リマス、只今申上デマシタ如ク四百三十五億圓ガ入ラナケレバ、十萬圓以下五萬圓以上ノ財產ヲ對象ニスルカモ知レナイト云ハレタ、私ハ斯ウ云フ事柄ヲ國民ノ一般ガ聞イタ場合ニ、一體國民ハドノヤウナ感じヲ以テ此ノ言葉ヲ聽クデアラウカト云フコトヲ私ハ想像シテ餘リアルノデアリマス、果シテ大臣ノ御言葉ノ通り、一體十萬圓以上ノ財產ヲ對象トシタコトハ現在四百三十五億ノ稅ヲ徵收スルコトガ困難デアルト云フ見透シヲ既ニ確實ニ持ツテ居ラレドノデアリルカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイ

○石橋國務大臣 何故ニ私ガアノヤウナ聲明ヲ致シタカト云フコトノ理由ニ付キマシテハ、曾テ相當詳細ニ申上ゲタコトガアリマスカラ之ヲ繰返シマセヌ、見透シト致シマシテハ萬一四百三十億圓程度ノ財產稅ノ收入ガナイ場合ニハ、十萬圓以下ノモノニモ財產稅ヲ課セナケレバナラナイコトガ起ルカモ知レステ云フデケレバコトデアリマシテ、見透シト致シマシテハ左様ナコトハ絕對ニ起ラナイ考ヘデアリマス

○川島委員 大變確實ナ御話デアリマスガ、私ノ見解ハ洵ニ心配ナ點ガナイ譯デアリマセヌ、一例ヲ舉ゲテ見マシテモ農地ノ財產ノ問題ニ付テハ、大體農地調整法ニ基テ價格ガ決メラレテ居リマス、之ニ對スル徵稅ハ極メテ簡單デハナイカト思ヒマス、農地以外ノ山林、原野、宅地、建物、斯ウ云ツタ問題ニ關シマシテハ、未ダニ倍率ガ決ツテ居ナイ、賃賃價格ノ何倍ト云フコトデケレバ言ハレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ倍率ヲ何處ニ求メルカ、都會ニ於テハ此ノ倍率、小都市ニハ此ノ倍率、或ハ建物ノ形式樣式ニ依ツテ色々區別ヲ設ケラレルト云フコトニナルノデアリマセウガ、サウ云フ事柄ニ付テ此ノ財產稅法案ガ上程セラレタニ拘ラズ、一番大切デアル所ノ賃賃價格ニ對スル倍率ガ未ダ決ツテ居ナイ、サウ云フコトデ總額四百二十五億圓ガ果シテ何處カラ出タモノデアラウト云フコトスラモ私共ハ疑ヒタクナルノデアリマス、サウ云フ事柄ニ付テマダ決ツテ居ラナイノデアリマス、大體概要デモ宜シイカラ其ノ案ガアリマシタナラバ此ノ際示シテ戴キタイと思ヒマス

○石橋國務大臣 無論政府ハ隨分長イコト色々研究シテ居リマスカラ、此ノ四百三十億圓ハ——十萬圓以上ノ財產ニ對シテ今回ノ法律ニ依ル稅率デ課スル場合ニハ是ダケノ歲入ガアルト云フコトハ十分研究致シテ間違ヒナイ計算盤ヲ取ツテ居リマス、隨テ今ノ評價ノ問題ナドモ見當ハ付ケテ居リマス、併シナガラ是ハ法律ニアリマスヤウニ、委員會ニ掛ケテ間違ヒガナイヤウニ、民主的デアアル爲ニ委員會ニ掛ケテ此ノ倍率ナドハ決メルコトニナツテ居リマスカラ、ソコニ政府トシテ見ル所ノ案ヲ出シテ御審議ヲ願フ、斯様ニ致シテ居ル譯デアリマス

○川島委員 只今ノ御話デハ、委員會ニ其ノ評價ノ問題ガ當然提示サレルノダト云フ御話デアリマスガ、然ラバモウ委員會ニ提示ナサル所ノ大體ノ基礎案ト言ヒマス、概括的ナ案ト云フモノハ御持チデハナイカト私ハ想像サレノデアリマスガ、御持チデアリマシタナラバ一ツ參考ノ爲ニ御示シ願ヒタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○石橋國務大臣 ソレハドウモ遺憾ナガラ、ヤハリ正式ニ委員會ガ成立シタ時デナイト、此處デ發表スルコトハ出來ナイト思ヒマス

○川島委員 ドウモ大臣ノ御言葉トモ思ヘナイノデアリマスガ、委員會ナラバ其ノ基礎案ガ發表出來ルガ、國民全體ノ府デアアルベキ議會ニ於テソレハ發表ヲ見合セナケレバナラヌト云フ事柄ハ、私共ニハ納得出來ナイ、寧ロ私ハ此ノ議會、國民ノ注視トナツテ居リマス所ノ、關心ヲ持ツテ居リマス所ノ議會ニ、サウ云フ案ガアレバ潔ク提示スベキガ私ハ政治デハナイカト思フ、議會ニハ提示サレナイ、委員會ニハ提示サレ、斯ウ云フコトガアレバ、私ハ前後矛盾ノ感ガアルノデアリカト思ヒマスガ、御考ヘ方ヨ一ツ直シテ戴イテ、此ノ議會デ御發表ガ出來レバ願ヒタイ、斯様ニ思フノデアリマスガ如何デスカ

○池田(勇)政府委員 財產稅收入ノ四百三十五億圓ヲ見込ミマス場合ニハ、主稅當局トシテハ大體ノ見當ハ付ケテ居リマス、併シ是ハ非常ニ國民ノ關心ノ的デアリマスカラ、議會デ發表スル程度ニマダ至ツテ居リマセヌ、單ニ主稅局ノ收入見積リノ大體ノ標準程度デゴザイマスカラ、只今發表シナイ方ガ却テ宜イノデアリカト思ヒマス、今少シ時間ヲ借りマシテ其ノ基準ヲ固メタイト云フ氣持ガゴザイマス

○川島委員 ドウモ折角ノ國民ノ代表ノ府デアアル議會ニ於テ、斯ウ云フ重大

ナ問題ガ發表出來ナイト云フコトハ、洵ニ斯ウ云フ重大ナ法案ノ審議ニ當ツテ、我々ハ非常ニ別ナ考ヘ方ヲ持タナケレバナラヌト云フ感じヲ深ク致スノデアリマス、當局ノ考ヘ方ガ我々ノ考ヘ方ト違ツテ居ルヤウデアリマスカラ、私ハ敢テ此處デ追究ヲ致シマセヌ、但シ又他ノ機會ガアリマスレバ重ネテ御尋ネ申上ゲタイと思フノデアリマスガ、ソレハ是レ位ニ止メテ置キタイト思ヒマス

次ニ大藏大臣ニ御伺ヒ申上ゲマスガ……

○本多委員長 川島君ニ申上マスガ、政府側デ答辯ヲ追加シタイト云フ申込ガアリマスカラ、此ノ際大藏大臣ニ發言ヲ許シマス

○石橋國務大臣 川島君ノ言ハレルノハ御尤デアリマスガ、今主稅局長カラ申シマシタヤウニ、事務的ニ今色々數字ヲ集メテヤツテ居ルノデアリマス、是ハ委員會ニ掛ケテ討議シナイト確定シナイモノデアリマスカラ不確定ノモノヲ此處デ申上ゲルコトハ却テ色ノ惑ヒヲ起シ弊害ガアル、斯ウ思ヒマスカラ、其ノ點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒマス、ナニモ此處デ發表スルノ政府ガ容シテ居ル譯デアリマセヌガ、非常ニ「デリケート」ノ問題デケレ、確定シタモノニシナイトイカス、斯ウ云フ考ヘデアリマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川島委員 折角ノ御答辯デアリマスガ、ドウモサウ御答辯ガアリマスモウ一言申上ゲタクナルノデアリマスガ、一體議會ガ要求シナイ問題デモ米價等ノ如キ問題、或ハ運賃ノ値上ゲン問題等ハ頻リト議會ガ要求サレル前ニ

既ニ新聞ニ傳ヘラレ關係ノ談話ナドモ發表サレテ居ル、然ルニ此ノ問題ハ少クトモ私ハ本日我々が審議シテ居ル法案ノ骨子デアアル、魂デアルトサヘ言ヘル基礎デアアル、其ノ基礎ノ事柄ニ付テ議會ガ要求シテモ教ヘルコトガ出來ナイト云フ考ヘ方ハ、ドウモ我々ノ考ヘ方トハ一致出來ナイ感じデアリマス、唯大藏大臣ノ御苦心ノ程ハ人間の御想像ハ申上ゲマスガ、政治的ニ考ヘテサウ云フコトハ私共ハ一致シタ見解ニナリ得ナイノデアリマス、マダ今日午後モアルデアリマセウカラ、御考ヘノ上發表ガ出來ルコトデアリマシタナラバ重ネテ發表シテ戴キタイコトヲ私ハ希望致シマシテ其ノ問題ハ打ちリマス

次ニ軍需補償ノ打ち二件ヒ企業ノ再建ヲ圖ルコトハ、即チ政府ノ言フ經營ノ合理化ト云フモノヲ必然的ニ實施シナケレバ眞ノ健全ナル、而モ活潑ナル生産ノ再開ハ望メナイト云フコトハ言フマデモナイ事柄デアアルノデアリマス、ソコデ政府、殊ニ經濟安定本部若クハ厚生省等カラ傳ヘラレル所ニ依リマス、此ノ經營ノ合理化ガ即チ勞働者ノ誠意ヲ云フコトニ繫ツテ居ルヤウナ印象ヲ感、濃クシテ居ルコトデケハ事實デアリマス、併シナガラ勞働者ノ「犧牲」ニ於テ企業ノ活潑健全ナル再開ヲ圖ルコト云フコトデハ、折角ノ此ノ國ヲ擧ゲテト申シテモ過言デナイ此ノ戰時補償ノ打ち切ヤリ、企業ノ整備ヤリ、金融機關ノ整備等ヲモヤラネバナラヌ程ノ重大ノ所謂犧牲ヲ斷行シテ遂行シナケレバナラヌ此ノ生産、企業ノ再開問題、ソレヲ單ニ經營ノ合理化ト云フ美名ノ下ニ隠レテ動モスレバソレハ一ニ懸ツテ勞働者ノ誠意、即チ勞働

者ノ犧牲ニ於テ行ハレルト云フヤウナ結果ヲ見ルコトヲ我々ハ非常ニ心外ニ堪ヘナイノデアリマス、傳ヘ聞ク所ニ依リマス、事實ノ有無ハ分リマセヌガ、大體ノ有力工場ニ於キマシテノ今度ノ戰時補償ノ打切、企業ノ再建ノ計畫ニ於テモ、出來ルダケ甘イ考ヘ方ノ下ニ於テ、損害ヲ輕減スル、サウ云フコトニ相當努力シ相當惡智ヲ絞ツテ居ル方面モナイデハナイヤウニ私ハ聞キ及ンデ居ル、若シモ其ノヤウニコトニナツタノデハ、私ハ此ノ戰時補償打切モ企業ノ再建問題モ佛ヲ作ツテ魂ヲ入レナイ結果ニナルノデハナイカト心配スル一人デアアルノデアリマス、隨テ其ノ企業ノ整備ニ關スル所ノ監督ト云フコトハ國民ト共ニ、政府ト共ニ嚴重ニ是ハシナケレバナラナイト云フ感ジガ強イノデアリマス、其ノ際ニ於テ政府ハ單ニ認可制ト云フヤウナコトデ之ヲ遂行スルヤウナ考ヘ方ノヤウデアリマスルガ、私ハ國民ノ力ノ協力ヲ得テサウ云ツタ企業ノ整備再建ニ關スル所ノ監督ト云ヒマス、其ノ實施ニ對スル所ノ嚴重ナル、嚴正ナル實施ノ出來ルヤウナ有力ナル體のナリヲ機關ヲ設ケル必要ガアルノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、サウデナイト、折角企業再建ヲ圖ツタ形ニハナツタガ依然トシテ水膨レ資本ガ殘ツテ來タ、水膨レ資本ヲ抱ヘテ居ツタノデハ其ノ工場ノ生産價格ト云フモノハ依然トシテ安カラウ管ハナイノデアリマス、一面ニ於テハ勞働者ノ優遇等ト相俟チマシテ、應、政府ノ考ヘテ居ルヤウナ生産物價ト云フ點ニハ嵌マリ込ンデ來ナイノデハナイカト云フ處ハ多分ニ私ハ有シテ居ルノ

デアリマス、ソコデ此ノヤウナコトヲ心配スルノデアリマスガ、當局ハ之ニ對シテドノヤウナ對策ヲ御持チデアアルカ、之ヲ御尋ネシタイノデアリマス

○石橋國務大臣 企業整備ノ現在終戰後ノ實際ノ實態を察シタハ企業ノ實際ノ活動ト云ツテモ宜イカモ知レマセヌガ、ソレニ合セテ整理面ヲ整理スル、詰リ理論のニ申セバ今度ノハ整理ノ整理デアリマスガ、此ノ整理ニ依ツテ失業率ガ餘計ニ現ハレ、勤勞者ノ負擔ニ依ツテ整理ヲスルト云フコトハナイ答ニノデス、實際ハ若シ勤勞者ノ失業率ガ現ハレトスレバ、ソレハモウ整理ガアルナシニ拘ラズヤラナケレバナラナカッタコトナノデス、ソレハ唯偶々今マデソレヲズルノニ合理化シテ居ナイモノガ、今度ノ整理ノ整理ノ機會トシテヤルト云フコトニ過ナイモノト私ハ信ジテ居リマス、併シナガラ御話ノヤウニ無論此ノ整理ノ整理ト云フコトハ甚ダ重大ナコトデアリマスカラ、ソコデ評價基準ト云フヤウナモノヲ決メマスカ合ハ、政府ガ勝手ニ決メルト云フコトヲセズニ、然ルベキ機關ヲ作ツテ公正ニ定メル、サウ云フ手段ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、唯非常ニ澤山企業ガ一々其ノ認可ヲ受ケテ來ル場合ニ、之ヲ審査スルト云フコトハ是ハ一ツノ基準ニ基キ事務的ノ仕事ニナリマス、ヤハリ是ハ政府ガヤルヨリ外ニヤリヤウガナイ、斯様ニ譯デ認可制度ニ致シテ居ル譯デアリマス、御言葉ノ通り整理形態ノ整理ガ如何ナル方法で行ハレカト云フコトハ、非常ニ重大デアリマスカラ、政府モ決シテ無暗ニ水膨レニスルト云フコトハサセマセス、同時ニ又ソレカト云ツテ無暗ニ資産ノ評價ヲ辛クスレバ或ル面ニ

不當ニ損害ヲ與ヘルト云フコトニナリマスカラ、兩者ヲ十分ニ考慮致シタ上デ基準ヲ作ツテヤル、ソレカラ其ノ基準ニ依ツテ認可ノ場合ニ於テモ左様ナ觀察カラ嚴重ニヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○川島委員 只今大臣ノ御言葉デハ企業整備ガ必然のニ失業者ト云フ問題ニ來テ居ルノデナク、斯ウ云フ事態ニナラヌデモ當然失業者ガ出ルノダ、斯ウ云フ御考ヘ方ノヤウデアリマシタ、其ノ事務ニ付テモ私ハ多少論議ノ餘地モ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ別ノ機會ニ讓ツテ、問題ハ企業ノ再建ガ假ニ帳面ノ上下形ノ上デ出來タト致シマシテ、私ハ其ノ整理關係ト形ノ上ダケノ整備タケデハ、是ハ當然活潑ナル産業再建ト云フモノハ不可能デアルコトハ言フマデモナイコトデアラウ、ソコデ一體サウ云ツタ帳簿上或ハ形式上ノ整備ノ經濟界ニナシテ、一體政府ハ其ノ後ニ必要ナル整備サレタ企業體ノ必要ナル所ノ有力ナ資材等、或ハ勞働者ノ配置轉換等ノ問題、或ハ又資材ノ設備ノ回收等ノ問題ニ付テ相當ナ御見込ヲ立テテ居ラレルノデハナイカト思フノデアリマス、固ヨリ經濟ノ民主化ニ於テハ經濟界自體ガ創意工夫ト努力ニ依ツテ、經濟企業ノ再建ニ當ラナケレバナラヌト云フコトハ言フマデモアリマセヌガ、政府ニ於テモ聊カ其ノ點ニ付テ確信ト指導力ガアリマセヌト、形式上ノ整備ガ済ンデモ直チニ經濟ノ活潑ナ動キト云フモノハ私ハ望メナイノデハナイカト思フ、ソコデ主トシテ專ラ資材のニ例ヘバ石炭或ハ又電力、鐵鋼、其ノ他ソレニ伴フ所ノ所謂工場生産ニ必要ナル資材等ノ問題ニ付テ確實ナ配分計畫ヲ今ヨリ立テテ置ク

ベキデハナイカト思フ、又恐ラク是ハ政府ニ於テモ立テアルノデハナイカト御想像ヲ申上ゲルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ御考ヘガアリマシタナラバ此ノ際具體的ニ御知ラセテ願ヒタイ

○陸國務大臣 御尋ネノ點ハ政府ノ最モ苦心致シテ居リマス點デアリマス、各々ノ企業ヲドウ云フ風ニ再建スルカ、是ハ政府デア、シロ、斯ウシロト云ツテ一々手引ヲスルヨリモ、寧ろ企業自體ノ一ツノ盛上ガル計畫、是カラ參ルモノダラウト思ヒマスガ、此ノ點ハ中々一ツノ企業デモ困難ナ點モアリマス、ヤハリ其ノ當業者ガ集マツテ全體トシテ日本ノ將來ノ産業ニ、例ヘバ製鐵ナ製鐵ト云フモノガ、ドレダケ「ウエー」ト持ツテドウ云フ現狀ノ關係ニナツテ居ルカト云フコトノ研究、又棉業ナラ棉業ニ付テモ、サウ云フ色々ノ計畫ガ現ニモ工商省指導ノ下ニ行ハレテ居リマス、政府全體トシマシテハサウ云フヤウナ計畫ガ段々自主的ニ出テ來ル、其ノ總テノ計畫ヲ見合ヒマシタ上デ、ドウセ足リナイ資材デアリマスカラ、各々ノ産業ノ部門ニ悉ク満足ノ行キヤウナ原料材料ヲ供給スルコトハ實際上出來マセヌガ、併シナガラ國內ニアル物、是カラ製造サレル物、更ニ不足分ニ付キマシテハ聯合國等ニ懇請シテ、今色々輸入ノ計畫ハ致シテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ諸資材ヲバ、各々ノ産業ノ間ニドウ云フ風ニ配分スルカ、是ハ現ニ今計畫ヲ立テツ、アリマス、併シナガラ是モヤハリ足リナイモノデアリマスカラ、資金等、經濟ノ再建ノ基礎的ナモノカラ、又一方ニハ國民生活ノ必需ト云フヤウナ點カラ、又輸出貨資ノ調達ト云フヤウ

ウナ點カラ見マシテ、重點的ニ是ハ配分スル必要ガアルノデアリマス、幸ヒ總動員法ハナクナリマシタケレドモ、臨時物資需給調整法ノ制定ガアリマスノデ、此ノ法ノ運用ノ下ニ、今御尋ネノヤウナ點ハ、折角立案シ既ニ第三四半期ノ分ニ付キマシテハ、サウ云フヤウナモノモ私共安定本部ノ手許デアツテ居リマス、其ノ點ニ付テハ最モ力ヲ入レテ研究シツ、アル點デ、既ニ實行シツ、アルト云フコトハ今申上ゲタ通りデアリマス

○川島委員 ソコデソレニ關聯シマシテ大藏大臣ノ御伺ヒマスノハ企業ニ對スル資金ノ問題デアリマス、成程政府ニ於テハ復興金融庫ヲ設ケマシテ、事業ノ再開ニ相當ナ熱意ヲ示シテ居ルヤウハ感ジデハアリマスガ、一體政府デ只今考ヘテ居ラレルヤウナ程度ノ資金ノ用意ハ整備サレマシタ全日本ニ於ケル中小工場ノ全キ再開ハ、此ノ資金ノ額デハ不可能デアリナイカト思フノデアリマス、更ニ又銀行ノ實際ノ窓口ニ於キマシテモ、色々具體的ナ事情ヲ聽イテ見マス、中々現在ノ中小工業ニ對シテサヘモ貸流ル難ヒガ相當事實ニ於テアルノデアリマス、大臣ハ何時モ其ノ方面ノ資金ノ放出ニ付テハ、大膽率直ニ勇氣ヲ出シテヤラセルト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、銀行ニ於ケル實際ノ窓口ノ狀態デハ、其ノ言明ノ聲口反對ノ形ヲ取ルモノサヘモ往々ニシテアルノデアリマス、而モ今日ノ中小工業ノ現狀ト云フモノハ、有力ナ擔保等ハ寧ろ皆無ニ近イモノガ多イノデハナイカトサヘ想像サレルガ、銀行ガ安シジテ金ヲ出スノニハ有力ナ擔保ガ欲シト云フコトハ當然ノ

事柄アリマス。ケレドモ、何ト言フモ日本ノ企業ノ再建ヲ速カニ活潑ニ圖ラウト云フノハ、何ハトモアレ思ヒ切ツタ資金ノ融通ト云フコトハ當然ヤラナケレバナラナイ、然ルニ只今申上ガマシタヤウニ、大藏大臣ノ屢ニ言明サレタコトト實體ト相違シテ居ル點ガ、各銀行ノ窓口ニ多イ現象デアルノデアリマス、之ニ對シテ大臣ハ其ノ關係銀行ニ對シテ十分注意ヲ喚起シテ、速カニ簡易ナ方法ニ依ツテ或ル程度ノ資金ガ圓滑ニ融通サレル所ノ對策ヲ立テテ置クベキデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマスガ、御所見ヲ伺ヒタイ

○石橋國務大臣 其ノ點ハ屢ニ申上デマシタヤウニ、無論生産再興ノ爲ニハ十分ノ資金ヲ供給致シマス、復興金融金庫ハ現在ノ百億圓デ、足りナケレバ更ニ豫算ニ於テ御追加ヲ願フコトニナル、又サウナルコトヲ希望シマス、唯問題ハ實際ニ金ヲ借りル者ト貸ス方トハ何時モサウ云フ苦情ガアル譯デアリマスガ、事實ヲ調ベテ見マスト復興金融金庫ノ今マデノ暫定措置ノ場合ナドニ於キマシテモ、借りル方ハ實際ニ復興ノ力ガナイトカ或ハ計算ガ粗雑デアアル、斯ウ云フ場合ガ中々多イノデアリマス、無論普通ノ金融機關デハ現在ノ資金狀態デアリマスカラ貸シ難ルト云フ傾向ガアルコトハ認メマスガ、資金ヲ借りニ行ク人ノ苦情ヲ其ノ儘ニ受取ルデケデモナラナイ場合ガ中々アル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ今後モヤハリ苦情ハ或ハアルカモ知レマセムガ、併シ復興金融金庫ニ關スル限リハ現在ニ於テモ相當ヨクヤツテ居リマスシ、ソレカラ今後本式ニ是ガ發達致シマスレバ私ハ眞實ノ意味ニ於テノ産業

資金ノ供給ニ本當ノ意味ノ苦情ガアルヤウナコトハ絕對ニ起ラナイ、斯様ニ信ジテ居リマス

○川島委員 更ニ御伺ヒ致シマスガ、其ノ場合ニ當局ハ復興金融金庫ニ對シテ、融資スベキ對象トナル工場ノ業種別等ヲ豫メ内示シテ居リマスカ、或ハ業種ノ序列等ニ付テ内示デモシテ居ルノデアリマスカ、具體的ニ申セバドノ産業ニ對シテハ特ニ取計ヲヘト云フヤウナ序列ヲ設ケテ、ソレヲ復興金融金庫ニ對シテ内示デモアルノデアアルカ、ソレヲ御伺ヒシタイ

○石橋國務大臣 只今ノ所マデ左様ナコトハ致シテ居リマセム、唯大體ノ方針トシテ中小企業ノ方面ニ付テハ特ニ力ヲ注グヤウニ機構ヲ作ルト云フコトデ、近ク復興金融金庫ノ色々ノ人的機構ヲ作ラウト思フテ居リマス、尙ホ御承知ノヤウニアレニハ有力ナ委員會ガ附キマシテ、議會カラモ「エキスパート」トシテ若干ノ方ニ御參加ヲ願フコトニナツテ居リマスガ、左様ナ方針或ハ今御話ノヤウナ若シモ産業ニ付テ序列ヲ設ケルト云フヤウナ必要ガアルトスルナラバ、其ノ委員會等ニ於テ研究シテ、サウシテ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居リマス

○本多委員長 川島君ニ申上ゲマス、大分豫定ノ時間ヲ超過シテ居リマスガ、成ベク殘餘ノ質問ハ簡單ニ御願ヒ致シマス

○川島委員 議事進行ニ付テ一寸申上ゲマス、此ノ委員會ニ上程サレテ居リマス法案ハ國家再建ノ基礎トモナルベキ重大ナ案件デアリ、ソコデ委員長ハ頻リト今日中ニ此ノ論議ヲ終リタイト云フ御希望ノヤウデアリ、委員會ノ一部ノ人モソレヲ諒解サレテ居ルヤウデアリマス、私共ノ方デハマデ委員長カラサウシタ具體的ナ御話ガアリマセムノデ、更ニ私以外ニ社會黨カラハ二、三ノ質問ヲ通告サレテ居ル方モアラウト思ヒマス、其ノサウナ立場デ此ノ重大ナ法案ニ對シテハ委員長ノ御趣旨ニハ背クヤウデ宜シクナイノデアリマスガ、論議ヲ出來ルデ盡シタイト云フノガ私共ノ考ヘ方ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ出來レバ私共ニ私以外ノ我我仲間ノ質問者ニ對シテ或ル程度ノ時間ヲ與ヘラレンコトヲ希望スルノデアリマス、委員長ノ御話ヲ承ツテカラ更ニ私ノ質問ヲ進メタイト思ヒマス

○本多委員長 今ノアナタノ御話ノヤウナ心組デ進行シテ居リマス、唯併シ委員會トシテ議會ノ會期ガアリマシテ、ソレヲ目標トシテ進んで居リマスカラ、只今ノ所デハ貴族院ノ審議期間等モ總體上考慮シナケレバナリマセムシ、努メテサウ云フ方面ニ支障ノナイヤウニ進行シタイト思フテ居リマスカラ、盡スベキハ盡スト云フ點ニ於テハ全然同感デアリマス、デアリマスカラ成ベク多クノ人ニ、時日ハ短クテモ質問ヲシテ戴クト云フ見地カラ、一人々々質問サレル時間ヲ成ベク短ク御願ヒシタイト云フコトヲ御相談シテ居ルノデアリマシテ、此ノ質問ハ其ノ仕方ニ依ツテ相當簡略ニ要點ヲ突イテ出來ヨウト思ヒマスノデ、サウ云フ點ニ付テ一ツ十分御研究願ヒタイト云フ意味デアリマス

○川島委員 更ニ話ヲ轉ジマシテ諸國務大臣ニ御伺ヒシタイ、既ニ日本ノ國內ニハ相當莫大ナル數ニ達シタ失業者ガ存在シテ居リマス、更ニ又御話ノ如キ今回ノ軍需補償打切、企業再建等ニ伴ツテ是カラモ相當數ノ失業者ガ出ルコトハ確實ノヤウデアリマス、其ノ一面ニ於テハ今秋若クハ來春ニ卒業致シマス所ノ學生生徒ノ就職問題カ漸ク世ヲ觀聽ヲ集メテ、是レ亦重要ナ問題トシテ探上ゲナケレバナラナイ情勢ニナツテ參リマシタコトト、一面ニ於テハ残りマシタ失業者ノ問題ニ對シテハ近ク政府ガ決定シテ居ルト聞イテ居リマス所ノ勞働基準法等ノ實施ガ豫定サレテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、是等ノ事柄ヲ考ヘマシタ時ニ私ハ現前ノ失業問題並ニ將來ノ一般青少年ノ就業ノ問題並ニ又更ニ現前ノ失業者ノ賃金其ノ他文化的ノ諸問題ニ至ルマデヲ含メマシタ勞働階級ノ事柄ニ付テハ、重要ナル問題ガ次カラ次ヘト派生シテ參ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレ等ノ勞働行政ニ對シテ政府ハ茲ニ思切ツテ有力ナル對策ヲ立ツベキ機關ヲ作ル必要ガ私ハ大ニアルノデハナイカト考ヘマス、政府ハ茲ニ勞働省ノ設置ノ如キモ其ノ意思ガアルヤウニ新聞紙上ハ傳ヘテ居ツタノデアリマスガ、ソレモ何時ノ間ニカ立消ヘノ有様ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ現在及ビ將來ノ日本ノ企業再建ト相俟ツテ勞働問題ノ重要性ニ鑑ミ、政府ハ此ノ際勞働省ヲ設置シテ、勞働行政ノ完璧ヲ期スルト云フコトハ最も必要ナ事柄デアリ、其ノ時期ガ既ニ到來シタノデハナイカト云フ考ヘ方ヲ我々ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、諸國務相ハ之ニ對シテ閣僚ノ一人トシテ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居リマスカ、此ノ際御尋ネナシテ置キタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 此ノ企業再建ニ伴ヒマス職業者ノ茲ニ出來ルコト、ソレニ對スル應急措置ノ問題ニ付キマシテハ、モウ數次私カラモ厚生大臣カラモ色々ナ機會ニ申上ゲマシタカラ、茲ニ繰返シマセムガ、全般ノ將來ノ日本ノ人口ヲ如何ナル職業ニ撮ル込ムカト云フヤウナ問題ハ、是ハ兎ニ角此ノ狹イ所ニ八千萬ノ人間ガ如何カノ仕事ニアリ付カナクチャナラヌ譯デアリマス、是非常ニ重大ナ問題デ、斯ウ云フヤウナ職業ト人口ノ問題ニ付キマシテハ、唯思ヒ著キデハ到底成ルコトデアリマセム、是ハ經濟安定會議デモ其ノ研究ノ大キナ題目ノ一ツニ豫定シテ居リマス、尙ホ又勞働省ノ問題ニ付テドウカト云フ御尋ネガアリマシタガ、是ハ内閣全般トシテノ問題デアリ、私ガ個人ノ意見ヲ申上ゲテモ仕方ガナイト存ジマスガ、私自身ノ考ヘヲ率直ニ申上ゲマシマス、其ノ必要ナルコトニ付キマシテハ、別ニ他モ疑念ヲ懷イテ居ラヌ一人デアリマス

○本多委員長 晝食ノ爲メ休憩ヲシテ、後繼續願ヒタイト思ヒマス、午後一時マデ休憩致シマス

午後零時十二分休憩

午後二時十七分開議

○本多委員長 會議ヲ開キマス、此ノ際御話リ致シタイコトガゴザイマス、理事上田清次郎君及ビ理事與村又十郎君ヨリ理事辭件ノ申出ガアリマスノデ之ヲ許可シ、理事ヲ委員長ニ於テ指名スルニ御異議アリマセムカ

○本多委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ稻村順藏君及ビ西村榮一君ヲ指名致シマス、引續キ質疑ヲ進メマス——川島金次君

○中崎委員 議事進行ニ付テ發言致シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス

○本多委員長 宜シウゴザイマス

○中崎委員 先程川島委員カラノ質問

ニ對シマシテ、大藏當局ニ説明ヲ願ヒ

タイト云フ風ナ言葉ガアリマシタガ、

此ノ財産稅法案ノ中デ、不動産ニ對ス

ル價格ノ標準ニ付テ、倍數ニ付テノ數

字ヲ御示シ願ヒタイト云フコトデゴザ

イマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ、

先程大藏大臣モ言ハレマシタヤウニ、

大體財産稅收入四百三十五億圓ヲ見込

ンデ居ル、其ノ中デソレハ略、確實ナ

見込デアルト云フ風ナコトヲ言ハレマ

シタ、是ガ爲ニハ此ノ財産稅收入ノ中

デ不動産ノ收入ト有價證券ノ收入トガ

一番大キナ部分ヲ占メルノデアリマシ

テ、之ニ對スル倍數ハ大體ニ於テ大藏

省ニ於テモハツキリト見込シガ付イテ

居ルモノト思ヒマス、此ノ重要ナル問

題ヲ倍數サヘモ示サナイデ審議ヲ進メ

ルト云フコトハ、我々トシテ最モ責任

ヲ感ズル立場カラ、是非共ハハ明ニシ

テ貰ヒタイト思フ譯デアリマス、例ヘ

バ各地區別ニ於テ多少ノ倍率ノ變更ヲ

スルト云フコトハ、是ハ當然デゴザイ

マスルガ、此ノ點ニ付テ細カク説明ハ

求メマセヌガ、少クトモ此ノ財産稅法

案ト云フモノノ第二十五條ニ於ケル所

ノ不動産ニ對スル倍數ダケハ茲ニ明ニ

シテ置イテ載キタイ、ソレニ對スル所

ノ見積ガ凡ソ幾ラデアルカト云フコト

ニ付テハ、政府ニ於テ忌憚ナク茲ニ明

ニシテ貰ヒタイト思フ譯デアリマス

○本多委員長 委員長カラ政府委員ニ

申上ゲマス、少クトモ不動産ノ倍數ニ

付テ位ハ御發表ガ願ヘナケレバ議事ノ

進行ガ出來ナイト云フ意見ガ出テ居ル

ノデアリマスガ、政府側ノ之ニ對スル

御考ヘハ如何デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 御答ヘ申上ゲマ

ス、不動産ノ評價ニ付キマシテハ貸賃

價格ニ倍數ヲ乗ジテ計算スルコトニ相

成ツテ居リマス、而シテ其ノ倍數ハ不

動產ノ取引價格ニ對スル貸賃價格ノ割

合、言換ヘマスト貸賃價格ニ對シマシ

テ、不動産ノ取引價格ガ何倍ニナルカ

ト云フ其ノ倍數ヲ乘ジテ計算スルコト

ニ相成ツテ居ル次第デアリマス、而シ

テ其ノ倍數ハ財産稅法案ニ依リマス

ト、不動産評價委員會ニ附議シテ決メ

ルコトニ相成ツテ居リマスカラ、私カ

ラ其ノ倍數ヲドウスウト云フコトハ法

律的ニ申上ゲ兼ネルト思フノデアリマ

ス、唯四百三十五億ノ財産稅收入ハド

ウ云フ方法見積ツタカト云フ御質問

ナラ御答ヘ申上ゲマスガ、倍數ヲ如何

ニ見ルカト云フコトニ付キマシテハ一

寸申上ゲ兼ネルノデアリマス、隨テ御

要求ノ四百三十五億圓ノ數字ハドウ云

フ所カラ出タカト申シマス、色々ナ

法律ニ基キマス評價方法ヲ私ノ所デ大

體目安付ケテ申上ゲマス、國民全

體ノ財産ハ法人個人ヲ合セマシテ四千

九百五十四億圓ト見積ツテ居リマス、

而シテ此ノ中非課稅ニナルモノハ除カ

レルノデアリマシテ、通常ノ生活ニ必要

ナ家具、什器ハ純然タル非課稅デアリ

マスカラ計算ニ入レマセヌ、又所謂少

額預貯金、墳墓其ノ他ノ非課稅財産モ

除キマシテ、實際ニ課稅ニナリマスノ

ハ個人ニ於キマシテ四千三十二億圓ト

見積ツテ居リマス、法人ヲ御參考ニ申

上ゲマスト約八百億圓、個人ノ課稅財

産ハ四千三十二億圓ト計算致シテ居リ

マス、而シテ此ノ四千三十二億圓ノ中

ニ、土地ハ個人ノ財産價格ニ於テ六百

三億圓ト見積リ、建物ニ付テハ七百六

十二億圓ト計算致シテ居リマス、而シ

テ此ノ倍數ハ田畑ニ於キマシテハ、自

作農創設維持特別措置法ニ規定致シテ

居ル田ニ付キマシテハ四十倍、畑ニ付

キマシテハ四十八倍ニ準ジテ決メタイ

ト思ヒマスガ、報奨金ヲ貰ツタ方ノ

土地ニ付テハ其ノ報奨金ヲ加ヘルコト

ニ致シテ居リマス、又貸賃價格ノナイ

モノ、又耕地整理其ノ他ニ依ツテ貸賃

價格ガ非常ニ減セラレテ居リマス場合

ニハ、特別ノ倍數ヲ見ルコトニ致シテ

居リマス、而シテ土地ニ對スル倍數ハ

土地ノ種類ニ依ツテ餘程違ツテ居リマ

シテ、例ヘバ鑛泉地ノ湯元ヲドウスル

カ、或ハ山林ノ措置ヲドウ見ルカ、所

ニ依リマシテハ百倍ノ所モアリマセウ

シ、又二千倍、三千倍ト云フ倍數ヲ使

フ所モアリマス、隨テ田畑以外ノ宅地

其ノ他ノ土地ニ付キマシテハ倍數ヲ申

上ゲルコトハ差控ヘタイト思フノデア

リマス、唯茲ニ例ヘバ東京都内ノ何區

ノ土地ハドノ位ニ見積ルカ、或ハ新市

域ノ何區ニ付テハ最高、中庸、最低ヲ

ドノ位ニ見積ルカト云フコトニナリマ

ス、其ノ調査ハ財務局デ持ツテ居リ

マス、是ハ不動産評價委員會ニ附議致

シマス場合ノ原案デゴザイマシテ、如

何ニ變ルカト云フコトハ問題ダト思ヒ

マス、家屋ニ付キマシテモ貸賃價格ガ

定メラレテ居リマシテ、各都市ニ依リ

倍數ハ最高、中庸、最低ヲ決メテ行キ

タイト思ヒマス、貸賃價格ハ平時ノ時

ニ決メタ貸賃價格デアリマス、隨テ家

屋ノ需要ハ戰災地其ノ他ニ依ツテ可ナ

リ違ツテ居ルト見ナケレバナリマセ

ヌ、ダカラ同ジ市制地デアリマシテ

モ、戰災地ト戰災地デナイ所デハ餘程

倍數ガ變ツテ來ルト思フノデアリマ

ス、今家屋ニ付キマシテノ倍數ハ此所

デ申上ゲマス、可ナリ變ナモノニナ

ツテ來ルト思フノデアリマス、例ヘバ

東京ノ一坪ノ住宅ハ、只今ノ取引價格

ハ開ク所ニ依リマス、四千圓或ハ五千

圓ト唱ヘラレテ居リマス、而シテ東京

都内ノ家屋ノ平均貸賃價格ハ十六圓三

十六錢デアリマス、隨テ私が若シ二百

倍ト申シマス、四千圓、五千圓ノ家

屋ノ原案ヲ政府ガ持ツテ居ルト云フコ

トニナリマス、四千圓、五千圓ノ家屋

ヲ如何ニ評價スルカト云フコトニ付テ

ハ、財産稅徵收ニ非常ニ重要ナル影響

ヲ齎シマス、私ハ此處ニ主稅局長

ヲ以テ申上ゲナカッタノデアリマス、

隨テ今後モ東京都内ノ倍數ヲ如何ニス

ルカト云フコトニ付テハ申上ゲナイ方

ガ宜イト思ヒマス、而シテ六大都市ニ

付テハ平均十二圓數十錢デアリマス

ガ、是ハ何倍ニナルカト云フコト、六

都平均シテ五十倍、或ハ百倍ニモナリ

マセウ、此ノ程度シカ申上ゲラレマセ

ヌ、村ニ於キマシテ、或ハ町ニ於キマ

シテ、市ニ於キマシテドノ位ニ見ルカ

ト申シマス、私ノ腹案デハ、村

デハ大體全國平均シテ坪當リ百

六十圓程度、町制地デハ二百三

十圓程度、市制施行地ニ於テハ

三百四五十圓程度ニ相成ルノデハナイ

カト思ツテ居リマス、市制施行地ト言

ヒマシテモピンカラキリマデアリマシ

テ、是モ全國平均シテデアリマスガ、

市制施行地ニ於テモ非常ニ立派ナ家ノ

アル所モアリマセウシ、又「バラック」

ノ所モゴザイマセウ、コホ自ラ倍數

ヲ違ヘテ行カナケレバナラスト思ツテ

居リマス、隨テ今此處デ家屋ノ時價ヲ

ドウ云フ風ニ見積ルカト云フコトヲ申

上ゲマス、少シ行過ギノ點ガ起リマ

スノデ、全體ノ財産稅見積リニ付テド

ウ云フ評價ヲシタカト云フコト、先程申

上ゲマシタ點ヲ綜合致シマシテ、全體

ノ家屋ノ評價ヲ七百六十二億圓ト見積

ツテ居ル譯デアリマス、立木ニ付キマ

シテモ又鑛業權、船舶或ハ機械設備、

家道具、家畜類、是等ニ付キマシテモ

一々關係各省ト相談致シマシテ或ル程

度ノ目安ハ置イテアリマスガ、何ト申

シマシテモ斯ウ云フ評價ノ根本的考ヘ

方ハ、昨日申上ゲマシタヤウニ貴衆兩

院ノ方、或ハ民間ノ學識經驗者ニ御諮

リ致シマシテ、適正ナ所ヲ決メテ行カ

ナケレバナラスト思フノデアリマス、

我々ハ財産稅收入見積リニ付テハ肚デ

ハ或ル程度ノ計算ハ致シテ居リマス

ガ、實際徵收ニ於キマシテハ、我々ノ

考ヘヨリモ餘程變ツテ來ルコトヲ想像

シナケレバナラスト思フノデアリマ

ス、併シ全體ト致シマシテハ四百三十

五億圓ノ收入ハ確實ニ取レルト考ヘテ

居リマス

○本多委員長 川島金次君

○川島委員 少シク内容ニ觸レテ來タ

ヤウデアリマスガ、今ノ主稅局長ノ御

話ニ依リマス、課稅對象ノ總額ハ分

ツテ居ル、稅率、倍率ノ問題ハ各財務

局ニ於テ押ヘテ居ルノダカラ、本省デ

ハ分ラスト云フヤウニ私共ハ承ツタノ

デアリマスガ、財務局デ既ニ大體ノ腹

案ガアツテ、財産稅ノ課稅對象ノ總額

ガハツキリシテ居ル、斯ウ云フコトニ

ナレバ倍率ヲ此處デ發表シテモ私ハ大

シタ影響ガナイノデハナイカト思ヘ

ル、既ニ先程某委員カラ私見セテ戴イ

タノデアリマスガ、大阪方面ノ新聞紙

上デハハツキリト大阪ノ不動産貸ニ對スル倍率ヲ公表シテ居ルノモアル位デアリマス、サウ云フ事情デアリマス、而モ此ノ倍率ハ非常ニ此ノ財産稅法案ノ核心ヲ成スモノデアル、其ノ核心ノ問題ニ付テ我々ガ納得出來ナイト云フコトニナリマス、議案ノ審議ノ上ニモ色々支障ガ起ルノデハナリカト考ヘル一人デアル、一體四百三十五億圓ノ課税ハ間違ヒナイト云フカラニハ、一切ノ具體的ナ案ト云フモノガナケレバナラナイ、其ノナケレバナラナイ案ガ議會ニ於テ發表出來ナイト云フコトハ、少クモ議會ニ對スル尊重ノ意思ト云フヤウナ氣持マデモ私ハ當局ヲ疑ヒタカナルコトニナル、出來レバ此ノ際概括的ニ便宜シノデスカラ、其ノ倍率ノ標準ト云フモノヲ一ツ思ヒ切ツテ發表シテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ重ネテ希望スルモノデアリマス

○池田(男)政府委員 財産稅法案第二十五條ニ於キマシテハ「土地又家屋ノ價格ハ、その貸賃價格に一定の倍數を乘じて算出した金額による」斯ウ規定致シテ居リマス、サウシテ其ノ一定ノ倍數ハ二十六條ニ「前條第一項ノ一定の倍數ハ、命令で定める區域ごとに、その區域内において標準となるべき土地又は家屋について、取引價額を參照して、政府において算定する價額の、その調査時期における貸賃價格に對する倍率に比準して、これを定める」斯ウ相成ツテ居リマス關係上、是ハ取引價額ヲ如何ニ見ルカト云フ問題ガ決マルレバ倍數ハ此ノ法律カラ當然出テ來ルモノデアリマス、而シテ此ノ取引價額ヲ如何ニスルカト云フコトハ、法律的ニハ不動産評價委員會ニ諮リマシテ決

メルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ大藏當局デ考ヘテ居ル倍數ハドウ云フ風ニ決マルカト申シマス、ト、是ハ取引價額ヲドウ見ルカト云フ問題デアリマス、全國一億二千萬筆或ハ八百萬棟ノ家ニ付キマシテ一申上ゲルコトハ是ハ中々出來マセテ、而シテ又今後ノ調査ニモ係ルコトデアリマス、隨テ四百三十五億圓ノ財産稅收入ニ付キマシテハ只今申上ゲマシタヤウニ家屋ハ大體總額此ノ位或ハ土地ニ付キマシテハ總額此ノ位ト踏シテ次第デアリマス、而シテ家屋ヲ七百六十二億圓ニ見積リマシタ場合ノ腹氣持ハ市、町、村ヲ只今申上ゲマシタヤウナ價格ニ一應見マシテ計算シタ譯デアリマス、土地トカ家屋ノ總額ガ出マストソレヲ十萬圓以上ノ人ハ幾ラ、十萬圓未満ノ人ガ幾ラ、斯ウ分ケマシテ、サウシテ階級毎ニ、稅區分毎ニ其ノ納稅未財産價格ヲ區分致シマシテ、法案ニアリマス稅率ヲ適用致シマシテ四百三十五億圓ヲ計算シタノデゴザイマス

○川島委員 ソレデハ續イテ御尋ネシマスガ、一體只今ノ主稅局長カラノ御話ニ依リマス、課稅對象ノ總額ガ個人ガ四千三百二十億圓、法人ガ八百億圓、斯ウ云フ大體ノ數字ガ出タト云フコトハ、既ニ倍率ニ關スル基準ガアレバコソ此ノ總額ノ額ガ出タノデハナリカト私ハ考ヘラレルノデアリマスガ、サウ云フ倍率ヲ基準トシテ此ノ總額ヲ出シタノデハナリカ、ソレトモ他ノ方法デ是ガ出タノデアリマスガ、ソレヲ御伺ヒシタイ

○池田(男)政府委員 是ハ今ノ取引價額ノ見方デゴザイマスガ、全國平均的ニ家屋ハ市町村別ニ大體是レ位ダラ

ウ、斯ウ云フ所カラ計算シタノモアリマスシ、又實際ニ調査致シマシテ、此ノ分ハ何倍位ダト云フ調査ヲヤツタ財務局モアリマス、併シサウ云フ色々ニ報告ヲ蒐集致シマシテ我々ノ所デ總體七百六十二億圓程度ニ見ヤウ、斯ウ云フコトニ相成ツタルノデアリマス

○川島委員 サウシテ其ノ倍率ノ問題ハ舉ゲテ地區々々ノ委員會決定スルモノトシテ、政府ニ大體ノ基準ガアルコトトスレバソコヘ持つテ行ク努力ヲスルノデアリマスセウシ、サウ云フ形ニナリ得ル場合モアル、併シナガラサウデナク地區々々ノ評價委員會デ倍率ヲ決定スルコト云フコトニナレバ四百三十五億ノ稅總額ノ基準ガ私ハ出テ來ナイノデハナリカ、四百三十五億ノ基準總額ト云フモノハ架空ナ想像ニ依ツテ此ノ總額ヲ出シタノデハナリカト云フヤウナ感ジガ非常ニスルノデアリマスガ、其點ヲ一ツ御説明願ヒタイ

○池田(男)政府委員 架空ノ數字デハゴザイマセス、各稅務署各財務局ニ指令致シマシテ其ノ土地々々デ中庸トナルベキ場所ヲ選ビ、其ノ地區ニ付テハ入念ニ調査致シマシタ、基準トナルベキ所ヲ調査致シマシタ、其ノ狀況ノ類似シテ居ル所ハ類推ヲ加ヘマシテ、大體此ノ數字ハ誤リナイモノト考ヘテ居リマス

○川島委員 サウ云フコトニナルト評價委員會ノ倍率ノ決定ノ右左カニ依ツテ必然的ニ總體四百三十五億ト云フモノニ影響ガ起ルノデハナリカ、サウ云フコトヲ承知シテ居ルノデアリマスカ

○池田(男)政府委員 或ル程度ノ影響ハ參リマスガ、私ノ見ル所デハ殖エル

トモ減ルコトハナイト考ヘテ居リマス

○川島委員 當局ハ絕對ニ此ノ四百三十五億ニ喰違ヒナイト云フ結果ニナルノダト云フ確信ガアレバ差支ヘナイト思ヒマスガ、恐ラクサウ云フ今ノヤウナ御話デ推察致シマス、各地區ノ倍率ヲ決定シタ其ノ事態ニ依ツテハ非常ナ影響ガ來ル處ガ相當アルモノト私ハ考ヘテ居ル、其ノ場合ノ駄目ヲ押シテ、十萬圓以下五萬圓以上ノ財産ニモ課稅スルコトガアルヤモ知レズト云フコトヲ當局ハ言ツテ居ルガ、其ノ言ツテ居ルコト自體ハ今ノ事柄ヲ基礎トシテ或ハサウ云フコトヲ言明シテ居ルノデハナリカト私ハ想像スルノデアリマス、サウ云フ心配ハ絕對ニナイト云フ確信ヲ御持チデアリマス

○池田(男)政府委員 四百三十五億圓ハ確實ニ取レルト考ヘテ居リマス

○川島委員 此問題ハ此ノ程度デ打切ニ付テ御伺ヒ致シマス、一體政府ハ此ノ財産稅徵稅ト云フモノノ目標ト云フモノハ「インフレ」防止ト云フコトニ重點ヲ置イテソレヲ目的トシタモノカ、ソレトモ富ノ再分配、敗戦後ニ於ケル所ノ國民ノ富ノ再分配ト云フモノヲ目途トシテ此ノ財産稅ト云フモノヲ徵稅スルコトニナツタノカ、又單ニ財政上ノ補強ノ爲ノ所謂赤字補填ノミヲ目的トシテ此ノ財産稅課稅スルコト云フコトニナツタノカ、其ノ根本的ノ方針ヲ伺ヒタイ

○池田(男)政府委員 本法案提案ノ理由書ニモ載ツテ居リマスヤウニ、終戰處理、戰後復興等ヲ圖ル爲メ緊要ナ國庫收入ヲ確保スルト共ニ、即チ國家收入ノ確保、サウシテ富ノ均衡化ニ依リ

經濟ノ民主化ニ資スル、此ノ二ツノ目的デ此ノ法案ヲ提出シタ次第デアリマス、唯斯ク致シマシテ財産稅徵收致シマスコトハ第二段トシテ「インフレ」ノ防止ニモ相當役立ツコトヲ期待シテ居リマス

○川島委員 只今ノ御話ハ所謂富ノ再分配ノ上ニ於キマシテモ相當ナ考ヘテ持つテ御話デアリマシタガ、然ラバ一體最初ノ大藏省ノ案ト致シマシテハ財産稅ト云フモノト財産增加稅ト云フモノヲ課ケルコト云フコトノ方針デアツタ、隨テ其ノ增加稅ト云フモノヲ中止致シマシテ、財産稅一本槍ニ致シマス場合ニハ、恐ラク戰爭中ニ所謂戰時利得ヲ致シタ方面ノ財産ノ課稅ト云フモノヲ見逃ガス處レガ多イノデハナリカト思フ、同時ニソレハ難デ財産稅ノ課稅ノ均衡ヲ失スルコトニナルノデハナリカト思フノデアリマスガ、一體增加稅ト云フモノヲ廢止シタ理由、サウシテ其ノ財産稅ニ依ル所ノ國民負擔ノ均衡ヲ失スルコトノ虞レガアルト云フコトニ付テ、當局ハ考ヘテ居ラレマスカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○池田(男)政府委員 當初前內閣デ財産稅等ヲ考慮致シマシタ時ニハ、戰爭利得ノ徹底ノ排除、財政ノ再建、斯ウ云フ二大目標デ關係方面ト話ヲ致シマシタ、關係方面ノ「アブルゾル」モアリマシタ、其ノ意味ニ於キマシテ、一月發表致シマシタ如ク、法人戰時利得稅、個人財産增加稅、又法人ノ財産稅ヲ含ミマス廣イ意味ノ財産稅、此ノ三法案ヲ計畫致シタノデゴザイマスルガ、是ハ飽クマデ軍需補償ト云フコトニ付キマシテ考ヘ方ガ、只今トハ違ツタ場合ノ財産稅法案等ノアリ方デゴ

ザイマス、軍需補償ニ付キマシテ今
同提案ニナツテ居リマスヤウナコト
ヲ致シマス、大體ニ於テ財産稅稅
ケデモ、戰爭利得ハ排除出來ルノデ
ハナイカ、斯ウ考ヘテ當初ノ目的ノ戰
時利得ハ、此ノ補償打切、或ハ財産稅
デ所期ノ目的ヲ達シ得ルト考ヘテ居リ
マス、而シテ又、尙ホソレデモ足りナイ
ヤウナ場合ガアルコトヲ慮リマシテ、
財産稅ノ稅率ニ於キマシテハ相當強ク
戰爭利得ノ排除ト云フコトヲ頭ニ入レ
マシテ稅率ヲ盛ツテ居リマス、又財産
增加稅等ヲ止メマシテ理由ハ、今ノヤ
ウナ經濟事情デハ中々始期財産稅終期
財産稅ノ比較ガ困難デアリマス、税金
ノ徵收ノ簡便化等ヲ考ヘマシテ、止メ
タノモノツノ理由デアリマス

○川島委員 戰時利得者ニ對スル課稅
ヲ止メテ、他ノ方法デ均衡ヲ圖ラレル
ノダト云フ御話デアリマスガ、例ヘバ
戰時利得者ガ此ノ財産稅施行前ニ、既
ニ其ノ財産ノ一部ヲ生活用具以外ノ、
所謂動産ノモノヲ買溜メテ換物致シ
タ場合、其ノ換物サレタモノノ把握ト
云フモノガ非常ニ困難ナ事情ガ起ルノ
デハナイカ、可ナリサウ云フ面ガ戰時
利得者ノ中ニハアルノデヤナイカ、サ
ウ云フ戰時利得者ガ換物ヲシテ其ノ物
ヲ持ツテ居ル場合、ソレニ對スル課稅ノ
方法ト云フモノハ、ドウ云フ形デヤラ
ト云フカ、其ノ點ヲ一ツ御伺ヒシマス

○池田(勇)政府委員 其ノ點ニ付キマ
シテハ、先ダツテ社會黨ノ奥村サンカ
ラノ御質問ニ答ヘテ置キマシタガ、個
個ノ場合色々ナ方法ガアルト思ヒマ
ス、銀行預金ノ出入リヲ調べマシテ探
求スルノモノツノ方法デゴザイマセ
ウ、又今回ノ法律ニハ通報制度ト云フ
モノヲ設ケマシテ、他カラ誠實ナ脱漏

ノ通報モ期待致シテ居リマス、又稅務
職員ノ素質ノ向上ト、人員ノ増加ヲ圖
リマシテ、個々ニ付キマシテ徹底的ニ調
ベルコトモ出來マス、前ノ時トハ違ヒ
マシテ、納稅者モ五十一萬人程度ニ減
テ參ツテ居リマス、サウシテ營業者ノ
方ハ臨時財産調査令デ調べテ居リマ
ス、アノ手此ノ手ヲ使ヘバ御期待ニ副
フヤウナ十分ナ調査ガ出來ルモノト信
ジテ居リマス

○川島委員 サウ云フ隱匿ノ財産
ニ對シテハ徵稅官ノ調査或ハ通報制ヲ
以テ各種ノ面カラ徹底的ニ把握スル
ト云フ御話デアリマスガ、此ノ機會ニ其
ノ通報制ノコトニ付テ一言御伺ヒテ
シタイノデアリマス、通報ニ關シテハ
大體記名式ヲ以テスル通報ノ原則トシ
テ採用シ、ソレニ依ツテ調査ヲ更メテ
開始スルコト云フコトニナラド思ヒ
マスガ、斯ウ云フ場合ガ起リ得ルノデ
ハナイカ、無記名式通報ヲシタ場合、
其ノ無記名ノ通報ノ如何ナル態度デ扱
ツテ行クカ、無記名ハ全然參考ニシ
イノ、記名式ノ通報ヲ採用シ
無記名ノモノハ全然採用シナイノカ、
或ハ又無記名式ノモノト雖モソレヲ參
考ニシテ調査ノ資料ニスルノカ、サウ
云ツタコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 無記名ノモノモ
參考ニ致シマシテ、其ノ場合ノニ於
テ調査ノ度ヲ粗密ニ致シマス
○川島委員 只今ノ話デハ、無記名式ノ
モノデモ相當ニ參考ニスルコト云フ御話
デアリマスガ、無記名式ヲ參考ニスル
ト云フ建前ヲ執リマス、相當私ハ混
亂ノ事態ガ起リ易イノデハナイカト思
フノデスガ、サウ云フ心配ハ當局ハ持
ツテ居リマセムカ

○池田(勇)政府委員 ドノ程度ニ參考
ニスルカト云フコトハ、其ノ場ニ當ツ
タ當該官吏ノ判斷ダト思ヒマス
○川島委員 然ラバ無記名ノ通報ニ對
シテ、其ノ無記名ノ通報ヲ基礎トシテ
調査シタ結果、稅收ガ非常ニ殖エル結
果トナツタ場合、而モ一方、初メ無記
名デ通報シタ本人ガ後デ判明シタ場
合、其ノ本人ニ對シテ例ノ處罰ヲ出ス
カ、サウ云フコトヲモ御尋ネシタイ
ト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 斯カル場合ニハ
報償金ハヤルコトヲ考ヘテ居リマセム
○川島委員 更ニ續イテ、此ノ財産稅
ヲ徵收致シマシタ後ニ於テ、一體今後
ノ政府ノ稅收ノ上ニ影響ガアルカナ
イカ、私ハ相當今後ノ稅收ノ上ニ影響
アルト想像スルモノデアリマス、是ハ
蛇足デアリマスガ、一九二五年デシ
カ、英國ノ例ノ「ドルトン」案ノ財産
稅ノ問題ノ時モ、財産稅ノ徵收ニ二十
五億「ポンド」ヲ徵收致シマシタ場合、
其ノ反面ニ於テ翌年ノ所得稅ノ稅收
約ソ二千五百萬「ポンド」ノ減收ガ立證
サレシマツタト云フコトデ、此ノ財
産稅法案ト云フモノガ一時保留トナ
タト云フヤウナ事柄モナイデハナイ
今度ノ我が國ノ財産稅ニ付キマシ
モ、サウ云フヤウナ、明年ニ於ケル所
ノ財産稅以外ノ一般稅收ノ上ニ相當
ノ影響ガアルノデハナイカ、斯様ニ考
ヘラレルモノデアリマスガ、當局ハソレ
ニ付テドノヤウナ御考ヘヲ持ツテ居
リマスカ

○池田(勇)政府委員 御説ノ如ク、
「イギリス」ニ於キマシテ財産稅法ヲ止
メマシタ一ツノ理由ニハ、御話ノ如キ
理由ガアツタト思フノデアリマス、今

同ノ財産稅法ヲ施行致シマシテ後ノ租
稅收入ガドウナルカ、斯ウ云フ問題ニ
付キマシテハ或ル程度ノ影響ハ豫想シ
ナケレバナリマセム、併シ此ノ財産稅
ガ昭和二十一年度ニ於テ使用セラレマ
スト云フト、其ノ國庫支出ノ増加ニ依
リマシテノ收入モ考ヘ得ルノデアリ
マス、唯問題ハ、非常ナ高率ノ累進稅
アリマスノデ、綜合所得稅ノ減少ハ相
當考ヘナケレバナラスト思フノデア
リマス、唯此ノ綜合所得稅ハ、今ノ租稅
收入百六十三億中、綜合所得稅ハ全部
デ十一億圓デゴザイマス、既ニ昭和二
十一年分ニ付キマシテモ、大所得者ハ
昔トハ非常ニ趣キ異ニ致シマシテ、
既ニ昭和二十一年度綜合所得稅中非常
ナ累進稅率ヲ付ケラレル人ハ少クナ
テ居リマスノデ、此ノ點ヲ考ヘマシ
モ、餘リ大シタ影響ハナイノデハナ
イカト考ヘテ居リマス

○川島委員 更ニ企業整備ノ問題ニ關
シテ諸國務相ニ御伺ヒ致シタイト思
ヒマス、今度ノ企業整備案ニ付キマシ
テハ、資本家側ノ方面ノミヲ重點トシ
立案ヲサレ、考ヘラレテ居ル、然ル
ニ一方政府ノ累次ノ聲明ニ依リマス
レバ、此ノ戰時補償ノ打切ト共ニ、企業
再建ニ伴ツテ必然的ニ、先程私モ申上
ゲマシタガ、失業者ガ出ル、其ノ失業
者ノ問題ニ對シテハ何等考慮ニ置カ
レテ居ナイ感ガ深イノデアリマス、政府
ニ於テハ、斯ウ云フ重大ナ問題ヲ取扱
フ場合ニ、當初カラ其ノ失業者ニ對シ
テ十分ナル對策ヲ持ツテ然ルベキデ
ハナカツタカト私ハ思フノデアリマ
スガ、其ノ點ハドノヤウニ御考ヘデア
リマスカ

○陸國務大臣 其ノ點ニ付テハ初メカ
ラ深イ考慮ヲ拂ツテ居リマス、一方ニ
擬制資本ガアリマシテ、相當實質ニ伴
ハナイ資本ガ水膨レニナツテ居リマ
ス、之ヲスツキリシタモノニ直シマ
ス、同時ニ實ハ今マデノ雇傭方面ヲ見
マサルト、終戦後モ實ハ雇傭事業ガ始
マルドラウト云フ豫測モアツタニハ違
ヒアリマセムケレドモ、其ノ豫測ガ中
中思フヤウニ運ビマセム、唯一方ニハ
相當ノ手持ノ資材ナドモアリマス、言
ハハ多クノ事業ハ本當ニ事業ヲヤラズ
ニ賣食ヒテヤツテ一時ヲ糊塗シテ、言
葉ハ餘リ適當ナ言葉ト思ヒマセムケレ
ドモ、ソコニ擬制ノ雇傭關係 相當
アリマス譯デ、此ノ整理ガ今度ノ企業
整備ノ中心デハ決シテアリマセム、併
シナガラ自然企業ノ不健全ナル經理
方面ヲ整理シタルト、ヤハリサウ云
フ實質以上ノ雇傭關係モアリマスノデ、
是ハヤハリ同時ニ其ノ面モ整備致シ
セムト、折角ノ整備ガ無駄ニナル、此
ノ整備ニ付キマシテハ國民各層ガ非常
ナ苦痛ト犧牲ヲ拂フノデアリマスガ、
ドウモサウ云フ點ニ於テ、整理セム
爲ニ人ノ整理ヲスルノデアリマセム
ケレドモ、結果ニ於テサウ云フモノガ
アルト云フ事實ハ否ミ得ナイノデア
リマス、併シナガラ政府ハ唯サウ云フ
人ヲ其ノ儘ニシテ置クコト云フコトハ、勿
論ハ非常ニ由々シイ社會ノ大事デモ
アリマス、根本ノ問題トシマシテハ、
果次此處デ申上ゲマスヤウニ、ドウ
セ日本ノ食糧ト人口ノ間ニ食糧違ハガ
アルノデアリマスカラ、是ハ調整シナ
ケレバナリマセム、差當リ應急ノ問題ト
シテハ企業整備ニ基キ離職シタ人達ガ一
時困窮スルコトノナイヤウニ、退職手
當等ニ付キマシテモ政府ハ最後ニハ數
億ノ補償ヲスルコトアルベキコトヲ豫

想シマシテ、今回發表致シマシタヤウ
ナ退職手當ノ保護、若シ其ノ退職手當
ヲ出ス途ノナイモノハ國家ガ之ノ補
給ヲスルト云フ途マデ考ヘマシテ、一
時ノ困ルコトノナイヤウニ、又是ガ爲
ニハ六十億ノ豫算ヲ費シマシテ公共事
業ヲバ營ミマシテ、此ノ公共事業ニ收
容出來ル人数ハ、多分此ノ席上デ申上
ゲタト思ヒマセガ、三百萬人ヲ收容ス
ル力ガアリマス、殊ニ工業労働關係方
面ニ吸收スル力モ約七十萬人ニ及ブ收
容力ガアルノデアリマシテ、一時斯ウ
云フ方面ニ斯ウ云フ人達ノ轉換ヲ御世
話スル、尙ホ其ノ中ニ企業ガ段々ト整
備再建サレマシテ、健全ナル雇傭
私ハ敢テ之ヲ健全雇傭ト申シタイノデ
アリマスケレドモ、健全ナル雇傭状態
ノ下ニ段々雇傭ガ進ンデ來ル、斯ウ云
ケヤウナ状態ヲ一時モ早ク齎ス爲ニ努
力シタイと思フノデアリマシテ、此ノ
收容スル難職者ノ問題ニ付キマシテハ
相當考慮ヲ拂ツタ積リデアリマス

ノ退職手當ノ規定ニ基イテ計算サレマ
シタル金額、若シサウ云フ退職手當ノ
規定ガアリマセヌ場合ニハ、最近ノ三
箇月ノ平均ノ賃金ノ一箇月分、更ニソレ
ニ就職年數ニ半箇月分ヲ乗ジマシタ金
額、若シ退職手當ノ規定ガアリマシテ
モ、其ノ計算シマシタモノガ、本人一
人當リ五百圓 家族百圓ニ及ビマセヌ
モノハ、其ノ程度マデ引上ゲタ金額、
是ハ總テノ債權ニ優先シテ先取特權ヲ
以テ支給サレルモノデアリマス、但シ
銀行等ニ對スル預金ノ第一封鎖預金ト
ノ關係モアリマス、其ノ最高限ハ一萬
五千圓マデト法律ノ保護ハ致シテ居リ
マス、併シソレデ打切ルト云フ意味デ
アリマセヌデ、其ノ以上ニ退職手當ノ
規定ニ依ツテ債權ノアリマス場合ニ
ハ、他ノ債權ト同ジニ、舊勸定ニ於テ
剩餘ガアリマス際ニハ、無論退職手當
ノ支給ハ受ケラレル譯デアリマス、尙
ホソレニ該當シマスモノハ新勸定ニ於
テハ立替分デアリマスガ、新勸定ニ於
テ立替ハマセヌ時ニ、資金ノナイ場合ニ
ハ一定ノ條件ノ下ニ復興金融庫等カ
ラ融通スルコトニ相成ツテ居リマス、
感ニ融通スルコトノ出來ナイ場
合ニハ、一人當リ離職者ニ對シ
テ國家ガ千圓マデ補償致シマシ
テ、若シ是ガ其ノ會社ガ支拂フ
コトノ出來マセヌ場合ニハ、國家ガ
之ニ補給スルコトニナルノデアリマシ
テ、一方ニハ企業整備其ノ他ニ於キマ
シテ、相當國家トシテ之ニ課税ノ方法
ヲ以テ、何ト申サシマスカ、或ル場合ニ
ハ隨分才氣ノ毒ナ方面モアル位ニ感ズ
ルノデアリマスケレドモ、雇傭ノ問題
ニ付キマシテハ一方カラハ税金デ取り
マスケレドモ、離職者ニ對シマシテ最
後ノ部面ニ於キマシテハ國庫ガ進ンデ

出資ヲシ補給金ヲ支給致シマシテ、離
職者ノ才氣ノ毒ナ状態ヲ出來ルダケ
和ヲスルヤウニ致シマセヌ次第デアリマ
ス
○本多委員長 此ノ際御諮リ致シマ
ス、ソレハ議事ニ付テデアリマスル
ガ、本日「帝國鐵道會計又は通信事業
特別會計」における昭和二十一年度の經
費支辨のため借入金等に關する法律
案、復興金融庫及產業復興團團出
資拂込金支辨のための公債發行に關す
る法律案及び自作農創設特別措置特別
會計法案」ノ三法案ガ新タニ本委員會
ニ付託セラレマシタノデ、之ヲ一括議
題ニ加ヘマス、此ノ際政府側ノ説明ヲ
求メタイ存ジマス
○北村委員 議事進行ニ付テ 質問
ノ通告ガ可ナリ多イト云フコトヲ聞イ
テ居リマスガ、法案ガ非常ニ重大ダ
シ、一方政府デハ成ベク時間ヲ短縮シ
タイト云フヤウナコトデ、兎ニ角無理
ナ注文ダと思フノデアリマスケレド
モ、色々討議セラレ、理事會ナド御
開キニナツテ、凡ソ時間ナドノ見當ガ
付イテ居ル管デアリマス、委員長ハ其
ノコトヲ守ツテ議事進行ニ當ツテ戴キ
タイ、ソレカラ今只サハ非常ニ重大ナ
案件ガ加ハツテ居ル所ヘ、又併託セラ
レタノデアリマスガ、是ハ後廻シニシ
タ方ガ宜イと思フノデアリマス、先ツ
現在上程セラレテ居ル事務ヲ急イデ審
議ヲ致シマシテ、後ニ廻シタ方ガ宜イ
デヤナイカト思ヒマス、ソレカラ此ノ
際時間ノ勵行ノコトデアリマスガ、昨
日希望シテ置イタコトガ殆ド實行サレ
テ居ラス、是デハ會期ヲドレダケ延長
シテモ此ノ委員會ダケモドレダケ時
間ガ掛ルカ分ラナイ、モウ少シテキキバ
キトヤツテ戴キタイ、又同ジ質問ニ付

テハ既ニ政府カラ答辯ガアツタコト
ハ、ソレハ答辯済ミデアルト答ヘテ足
ルト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ
モウ少シ進行ヲ鮮明ニヤツテ戴クコト
ガ非常ニ願ハシイト思フノデアリマ
ス、ソレカラ政府當局ノ御答辯モ、昨日
モ其ノ事ヲ感ジタノデアリマスガ、質
問以外ノコトニ觸レテ啓蒙的ナ言葉ヲ
御使ヒニナル、ソレハ時間ガ掛ツテ仕
樣ガナイノデアリマス、私共ハ此處デ
啓蒙サレヨウト思ツテ居ナイ、モット
簡潔ニ質問ノ要旨ダケヲ御答ヘ願フ
ト云フコトニサレタイノデアリマス
○本多委員長 折角私ハ御諮リシタ
ノデアリマスケレドモ、北村委員カラ
ノ御意見モアリマスノデ、質問ヲ繼續
スルコトガ適當ト思ヒマス、就キマシ
テハ私ガ不慣レノ爲ニテキキバト進行
ガ出來ナイデ洵ニ恐縮ニ存ジマスガ、
北村委員ノ只今ノ御話ノ通り質問者モ
政府側ノ御答辯モ、ドウカ成ベク進行
ガ出來マスルヤウニ御協力ヲ願ヒマ
ス、ソレデハ川島金次君
○西村委員 議事進行ニ付テ 一私ハ
サウ本案ノ審議ヲ急ク必要ハナイと思
ヒマス、十分ニ後世ニ惡例ヲ貽サナイ
ヤウニ、議員トシテノ良心ト誠意ニ從
ツテ十分ニ審議スベキダ、サウ簡潔簡
潔ト簡潔ノミニ行クベキデハナイと思
ヒマス
○本多委員長 川島君
○川島委員 先程私ノ質問ニ對シテ膳
國務相ト相次イデ上塚政府委員ノ御答
辯ガ得ラレルヤウナ様子デアリマシタ
ガ、御答辯ガアリマシタラ御示シ願ヒ
タイト思ヒマス
○上塚政府委員 私ハ川島君ノ御質問
ニ對スル答辯ヲスル積リデハナカッタ

ノデアリマス、唯政府ハ先程本會議ニ
於キマシテ帝國鐵道會計又ハ通信事業
特別會計ニ於ケル法律案外ニ件ヲ提案
致シマシテ、其ノ説明ヲ終ヘタノデア
リマス、此ノ法律案ハ既ニ提出サレテ
居リマスル所ノ豫算案ト同時ニ貴族院
ニ送ラレベキモノデアアル、然ルニ其ノ
豫算案ハ今日採決ヲ致シマシテ、明日
ノ本會議ニ於テ貴族院ニ送ラレルノデ
アリマスルガ、此ノ點ハ一時モ早ク御
審議ヲ願ハナクテハソレト同時ニ向フ
ニ進ムコトガ出來マセヌノデ、其ノコ
トヲ委員長ニ對シテ御願ヒスル積リデ
發言ヲ求メタノデアリマス
○奧村委員 議事進行ニ付テ 只今
政府委員カラ今日又新タニ併託サレタ
法案ノコトヲ御話ニナリマシタガ、御
話ヲ伺ヘバ、今日既ニ上程ニナツタ議
案ト共ニ貴族院ニ其ノ法案ヲ送ラレナ
ケレバナラスト云フコトデアリマス、ス
ルト是カラ本委員會ニ其ノ法案ヲ掛ケ
テ、今日中ニ仕上ゲナクテハナラスヤ
ウナ御言葉ノヤウニ承リマスガ、今日
我々ハ今十幾ツノ重大ナ案件ヲ審議シ
テ居ルノデアリマシテ、其ノ外ニ今法
案ヲ持込ンデ來テ、今日中ニ審議シテ
返事シナケレバナラス、サウ云フヤウ
ナコトデドウシテ審議ガ出來ルト思ヒ
マスカ、今日持込マレタ併託ノ案ハ今
日マデニ審議中ノモノヲ一旦終了後ニ
ヤルベキデアルト思ヒマス
○本多委員長 議案ヲ取扱ヒ方ニ付テ
ハ改メテ理事會等デ協議シタイト思ヒ
マス、川島君ノ質問ヲ御繼續願ヒマス
○川島委員 大分時間ガ経ツテ居リマ
スカラ、急イデヤリマス、續イテ膳國
務相ニ御尋ネテ申上ゲタイト思ヒマ
ス、日本ノ賠償施設ノ撤去ニ關シテ政

府ハ撤去ノ費用、或ハ梱包、輸送等ニ付テ相當高額ナル豫算ヲ必要トスルコトニナルト思ハレマス、何レカノ機會ニ政府ハ之ニ對スル總額ノ點ニ付テ御説明ガアツタト思フノデスガ、私失念ヲシテ居リマスノデ、此處デ一寸御聽カセテ願ヒタイト思フノデアリマス

○陸國務大臣 賠償施設ノ撤去ニ付キマシテハ今折角其ノ施設ノ指定其ノ他ノ問題ニ付テ聯合軍側ト折衝中デアリマシテ、マダ費用其ノ他ノ問題ニ付キマシテ的確ニ御報告申上ゲル時期ニ到達シテ居リマセス

○川島委員 マダ其ノ總額ニ付テハ發表スル時期ニ達シテ居ラナイト云フコトデアリマスガ、此ノ賠償施設ノ撤去ノ費用、梱包或ハ輸送、之ニ付テ承ル所ニ依リマス、政府ハ非常ニ有力ナ一財團方面ニ其ノ撤去方ヲ請負ハセルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルカニ承ツテ居ルノデアリマス、私共ノ見解ヲ以テ致シマスナラバ、此ノ賠償施設ノ撤去、梱包、輸送等ハ想像致シタダケデモ相當ノ豫算ニ達スルノデアリナカト思ハレノデアリマシテ、此ノ厖大ナル豫算ヲ伴フ事業ヲ有力ナル一財團ト申シマスガ、之ニ類スルヤウナ方面ニ專ラ請負ハセルト云フヤウナ事柄ハ、同時ニソレガ全國的ニ行ハレルトニモナリマシテ、其ノ請負ヒマシタ財團ガ中間ニ於テ相當ナ搾取ヲ行フト云フ經過ヲ辿ルノデアリナカト云フコトヲ懸念致シモノデアリマス、隨テ私共ノ見解カラ致シマス、其ノヤウナ事業ヲ遂行スル爲ニハ、出來ルナラバ地區別ニ當該地域ノ實際ニ事業ヲ行ツテ居ルモノニ請負ハセルト云フコトニナレバ搾取ノ問題モナクナリマスシ、其ノ賠償施設ノ撤去、梱包、輸送等ニ

モ非常ニ便利ナコトニナルノデアリナカト考ヘラレノデアリマスガ、ソレニ對シテ陸國務相ハドノヤウナ御考ヘデアリマスカ

○陸國務大臣 只今ノヤウナ賠償ノ撤去スベキモノノ梱包其ノ他ヲ一ツノ企業ニ請負ハセルト云フコトハ、私共會テ夢ニモ思フタコトモアリマセスシ、又噂ノアツタコトモ聞イタコトハアリマセス、全クソレハ過價デアリマシテ、サウ云フ過價ガ言觸ラサレト云フコトガアレバ、ソレハ非常ニ國家ヲ毒スルモノト私ハ考ヘマス

○川島委員 私ハサウ云フ場合ノ假説ヲ言ツタノデアリマスガ、サウデナクテ其ノ事業ニ實際ニ著手致シマス場合ニ、サウ云フ方法ヲ執ルコトハアルマイト思フノデアリマスガ、唯事業ニ著手スル場合ニハ、地區別ニ其ノ地區ノ當該業者ニサウ云フ仕事ヲサセル方針ハナイカト云フコトヲ附加ヘテ御伺ヒシタノデアリマス

○陸國務大臣 其ノ問題ニ付キマシテハ慎重ニ考慮シタイト存ジマス

○川島委員 更ニ續イテ御伺ヒヲ致シマス、日本ノ産業ノ再開ノ基礎ヲナスモノハ、何ト云ヒマシテモ私ハ米デアリ、石炭デアリ、鐵鋼ニ重點ガアルノダト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、然ル所日本現狀ノ石炭問題ハ必ズシモ政府ノ計畫通りニ増産ガ實現致シマセスデ、非常ニ樂觀ヲ許サナイ狀態ニ今日未ダニアルノデアリナカト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ一方ニ於テハ戰時中種々ノ事情ニ依リマシテ一時採炭ヲ禁止サレマシタ礦區ガ相當アルノデアリマス、而モ其ノ礦區ハ極メテ炭質モ優秀デアリ、政府ノ措置如何ニ依ツテハ直チニ採炭ノ再開ヲ實現スルヤウ

ナ實情ニアル礦區ガ各所ニアル謂デアリマス、ソコデ私ハ此ノ機會ニ戰時中ノ措置ヲ取止メマシテ、日本石炭ノ増産ノ爲ニ、延イテハ企業再建ノ活潑ナル再開ノ爲ニモ、是等ノ炭礦區ヲ再ビ開放シテ、其ノ採炭ノ事業ヲ遂行セシムルト云フ方針ヲ持ツベキデアリナカト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ當局ノ御意思ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○陸國務大臣 全ク御同感デアリマス、石炭ノ問題ニ付キマシテハ、非常ニ憂慮スベキ狀態ニアリマスノデ、政府トシテモ關心ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ今仰セノヤウナ未發掘ノ有望ナル炭礦ニ付キマシテハ、何トカ政府ノ手デ之ヲ開發シタイト云フコトデ、目下研究中デアリマス

○川島委員 ソレニ關聯シテモウ一言御伺ヒ致シタイト思ヒマス、其ノ炭礦ノ問題デアリマスガ、炭礦ノ新シイ振興開發ノ場合ニハ、體力是ハ當局ノ御方針ダト思ヒマスガ、三年間ハ其ノ開發炭礦ニ對シテハ所得稅ヲ免除スルノ云フ措置ガ講ゼラレテ居ツタト私ハ記憶致スノデアリマス、所ガ其ノ炭礦ノ事業ノ上ニ於テ、例ヘバ請負制トカ、或ハ金先掘トカ云フ言葉ガアルヤウデアリマスガ、サウ云ツタ方面ニ對シテハ其ノ所得稅免除ノ方針ヲ實際ニ於テハ執ツテ居ラナイ、私ノ見解ヲ以テ致シマスレバ、サウ云フ開發炭礦ニ對スル助成ガ主眼デアリマスノデ、經營ノ狀態ガ主眼デアリマスノデアリマス、ソコデ大藏當局ハサウ云ツタ所得稅免除ノ除外例ヲ以テ臨ンデ居ル方ニ付テモ、改メテ此ノ際所得稅免除ノ方針ヲ執ルベキデアリナカト思フノデアリマスガ、之ニ關スル御所見ヲ伺ヒ

マス

○池田(男)政府委員 石炭礦業等ノ重要ナル産業ニ付キマシテハ、從來臨時租稅措置法デ所謂増設免稅ノ規定ヲ置キマシテ、經營ノ免稅ヲ致シテ居リマシタ、今回臨時租稅措置法ヲ廢止致シマシタ機會ニ、其ノ増設免稅ノ所得稅法並ニ法人、稅法ニ押入致シマシテ、石炭礦業ノ場合ノ設備増設ニ依リ所得ノ增加ニ付キマシテハ適當ノ措置ヲ執ツテ居リマス、唯御話ノ所謂請負制、先掘稅法ニ言ツテ居ル石炭礦業ニ當該マルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ相當疑問ガアルノデアリマス、只今ノ取扱ニ付キマシテハ一寸失念致シテ居リマスカラ、モウ少シ調ベタイト思ツテ居リマス

○川島委員 私ハ只今申上ゲマシタヤウニ、請負制、先掘等ニ對シマシテモ、所謂開發助成ノ精神ニ於テハ何等對象トシテ變リガナイノダ、隨ヒマシテ他ノ助成ト同様ナ措置ヲ講スルコトガ極メテ適切デアリ、妥當ナル事柄デアルト考ヘテ居リマスノデ、若シ御調査ノ結果サウデナイ措置ヲ執ツテ居リマシタナラバ、サウアルヤウナ措置ヲ執ツテ欲シイト云フコトヲ希望シテ此ノ質問ヲ終リマス

續イテ更ニ最後ニモウ一言御伺ヒ致シマス、私ガ此ノ委員會ニ於キマシテ午前中最初ニ觸レタ問題デアリマスガ、ソレハ關聯シテハ質問デアリマスノデ、是ハ陸國務相カラ御答辯ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、大體政府ハ此ノ財産稅ト云フモノヲ、最初ハ所謂國債ノ補填ニ當テルト云フ計畫ガアツタ譯デアリマス、ソレガ色々ノ事情デ今日違ツタ方面ニ落著キヲ見セタコトニナルノデアリマスガ、一體私

ハ日本ノ現在ノ財界ノ健全化ヲ圖ルト云フコトハ、一切ノ民間企業ニ於ケル擬制資本ヲ切捨テルダケデハ斷ジテ政府自體ニ於ケル財政ノ確立モ出來ナイ、隨テ嚙テソレガ日本ノ經濟界ノ痛ヲナスモノデアリナカト、斯様ニ我々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ政府自身ノ擬制資本ト申シテ差支ヘナイ所ノ軍需公債ノ問題ニ付テモ、大藏大臣ハ其ノ利拂ヒヲ承認シテ貰ツテ、今後モ續ケル、而モ其ノ總額ニ於キマシテハ利拂ヒダケデモ數十億以上ニ上ツテ居ル、元金ハ凡ソ千四百億圓ト我々ハ承知致シテ居ルノデアリマス、民間ニ於ケル擬制資本ダケヲ切捨テマシテ、政府自體ニ於ケル所ノ財政ノ矯正アル擬制資本ト申上ゲベキ國債ノ處置ニ對シテ何等手ヲ打タナイデ、此ノ儻抱ヘ込ムコトハ私ハ所謂政府ノ財政ノ遂行ノ上ニ一大障礙ニナルノデアリナカト考ヘルノデアリマス、大藏大臣ハサウ云フコトハ少シモナイト云フヤウナコトヲ屢々言明サレテ居ルノデアリマスガ、我々ノ立場カラ申上ゲマスナラバ、此ノ軍需公債ニ對シテモ政府ハ勇敢ナル處置ニ出ルベキデアルト云フコトヲ確信ヲ申上ゲテ居ルノデアリマシタ、此ノ問題ニ付キマシテ陸國務相ハ如何様ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、ソレヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○陸國務大臣 其ノ問題ニ付キマシテハ大藏大臣ノ申上ゲマシタコトト全ク同感デアリマス

○川島委員 大藏大臣ト同感デアルト申サレマスガ、一體七十億圓ニモ上ラウトスル所ノ利拂ヒ今後續ケル、更ニ元金ハ千四百億圓ヲ抱ヘテ日本ノ財政ノ切盛リヲシテ行カケレバナラ

ハ日本ノ現在ノ財界ノ健全化ヲ圖ルト云フコトハ、一切ノ民間企業ニ於ケル擬制資本ヲ切捨テルダケデハ斷ジテ政府自體ニ於ケル財政ノ確立モ出來ナイ、隨テ嚙テソレガ日本ノ經濟界ノ痛ヲナスモノデアリナカト、斯様ニ我々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ政府自身ノ擬制資本ト申シテ差支ヘナイ所ノ軍需公債ノ問題ニ付テモ、大藏大臣ハ其ノ利拂ヒヲ承認シテ貰ツテ、今後モ續ケル、而モ其ノ總額ニ於キマシテハ利拂ヒダケデモ數十億以上ニ上ツテ居ル、元金ハ凡ソ千四百億圓ト我々ハ承知致シテ居ルノデアリマス、民間ニ於ケル擬制資本ダケヲ切捨テマシテ、政府自體ニ於ケル所ノ財政ノ矯正アル擬制資本ト申上ゲベキ國債ノ處置ニ對シテ何等手ヲ打タナイデ、此ノ儻抱ヘ込ムコトハ私ハ所謂政府ノ財政ノ遂行ノ上ニ一大障礙ニナルノデアリナカト考ヘルノデアリマス、大藏大臣ハサウ云フコトハ少シモナイト云フヤウナコトヲ屢々言明サレテ居ルノデアリマスガ、我々ノ立場カラ申上ゲマスナラバ、此ノ軍需公債ニ對シテモ政府ハ勇敢ナル處置ニ出ルベキデアルト云フコトヲ確信ヲ申上ゲテ居ルノデアリマシタ、此ノ問題ニ付キマシテ陸國務相ハ如何様ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、ソレヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○陸國務大臣 其ノ問題ニ付キマシテハ大藏大臣ノ申上ゲマシタコトト全ク同感デアリマス

○川島委員 大藏大臣ト同感デアルト申サレマスガ、一體七十億圓ニモ上ラウトスル所ノ利拂ヒ今後續ケル、更ニ元金ハ千四百億圓ヲ抱ヘテ日本ノ財政ノ切盛リヲシテ行カケレバナラ

ス、斯様ナ形ヲ考ヘテ見マスルシ、一方ニ於テハ財産稅徵收後ニ於ケル所ノ國ノ稅收ト云フモノガ非常ニ危フアレハ又非常ニ大キナ國民生活ノ不安ヲ來スコトデアリマシテ、サウ云フ途ニ依ラズシテ國家財政ノ建直シヲ考ヘルノガ宜シイ、私個人トシテハ斯ウ云フ意見ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

○川島委員 マダ私ノ質問ハ山積シテ居リマスガ、色々都合上之ヲ以テ打切りマス

○本多委員長 小坂君ニ申上ゲマス、次ニ御質問 願ヒタイノデアリマスガ、總理大臣ハ連絡中デアリマスケレドモ、直チニ御出席ハ出來ナイヤウデスカラ、先ニ國務大臣ニ對スル御質問ガアリマシタラ其ノ方カラ初メテ戴キタイト思ヒマス——小坂善太郎君

○小坂委員 實ハ此ノ法案ニハ只今川島委員モ非常ニ苦心シテ居ラレタヤウニ、内容ガ非常ニ廣汎ニ互リマスカラ、勢ヒ時間モ掛カルヤウニナリマスガ、私ト致シマシテハ出來ルダケ御約束ヲ守リマシテ所定ノ時間内ニ打切り方針デアリマス、ソレニ付キマシテ各論ノコトハ既ニ出タ問題モアリマスノデ、成テ根本的ノ問題即チ戰時補償ノ特別措置ト企業ノ再建整備ニ關スル問題ニ付テハ、總理大臣ニモ聽イテ戴イテ御考ヘ、伺ヒタイト思フデアリマスガ、隨御出席ガナイヤウデアリマスカラ、國務大臣ニ對シテ御質問ヲ申上ゲマス

今同ノ擬制資本ノ打切りニ依リマシテ、此ノ問題ニ關スル政府ノ措置ハ一段落ノヤウデアリマスガ、是ト同時ニ考ヘナケレバナラナイノハ生産再開ノ問題デアリマス、今終戦後一箇年ヲ經マシテ、豐作ノ見透シト云フヤウナコトニ依ツテ、食糧危機突破ニ、聯合國ノ好意ト相俟ツテ稍、明ルイ希望ヲ持タセラルニ至ツテ居リマス、又棉花其ノ他一部原料ノ輸入ノ出來ルコトニ依リマシテ、一應物價ガ再編成サレテ安定スルノデハナイカト云フヤウナ希望ノノ觀測モ行ハレテ居ルデアリマスガ、日本ノ經濟ノ前途ト云フモノハ、決シテ其ノヤウナ樂觀的ナ觀測ヲ許サナイノデハナイカト私ハ考ヘテ居ルデアリマス、何故カト申シマス、現在我々が見テ、例ヘバ銀座ノ街頭デ見マス、其處ニ出來テ行クノハ總テ飲食店デアリマス、又我々が店頭ニ見マス物ハ、銅釜等ノ生必物資、消費資材デアリマス、併シナガラ目ヲ轉ジテ經濟ノ全般ヲ見マスルト、基本的ナ物資ノ生産ト云フモノガ極メテ不振デアリマス、例ヘバ石炭、鐵鋼「セメント」等ハ、終戦後一時其ノ生産ガ上向イタヤウニ見エタノデアリマスガ、此ノ五、六月頃カラ再び停頓ノ狀態ニナツテ參リマシタ、現在ノ生産量ハ平時經濟ノ需要ニ比ベマス、大體鋼材ハ六%ニ過ギナイ、「セメント」ガ二〇%、石炭ガ三〇%強ニシカ連シテ居ラナイノデアリマス、斯ウ云フ狀況ト下ニ於テ丈夫ナ我々ノ手ニ入り、口ニ入ル物デ、一應樂觀ノ見透シヲ持ツト云フコトハ、是非非常ニ實ハ危險ナコトデアアルト考ヘルデアリマス、所謂斯ウ云フ生産資材ガ出來ナイコトニ依リマシテ、我々ガ豐作ノ喜ビニ浸ツテ居ル間ニ段々「ストック」ヲ食潰シテ行ク、我々ハ假ニ今肥料ノ増産ガ他ノ物資ノ生産ニ較ベテ稍、良イト云フヤウナコトヲ言ツテ喜ンデ居リマスガ、其ノ原料トシテ居リマス所ノ「コークス」ハ戰時中ニハ人造石油ヲヤツテ居ツタガ、今

ハ止メタ、或ハ鐵鋼ハ北海道ニ於ケル輪西トカ瀧川トカア、云ツタ所ニ於キマスル鐵工所ガ、終戦後ハ以前持ツテ居タ「ストック」ヲ原料トシテ生産シテ居ル狀態デアリマス、今後ノ生産ノ原料ト云フモノハ今ノ「コークス」ノ生産狀況ヲ見レバ分ル、是ハ結局石炭ノ生産狀況カラ歸納サレルコトデアリマスガ、非常ニ不足シテ居リマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアツテ居ツテハ、日本ノ經濟ノ破局ガ來ルコトガ考ヘラレルデハナイカ、一遍此ノ惡イ條件ガ出盡スノハ私ハ來春頃デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、一方今回ノ經理的ノ措置ニ依ツテ會社ガ相當ニ打撃ヲ受ケル、斯ウ云フ會社ガ打撃ヲ受ケル事態ガ現實ニ現ハレテ來ル時期ガヤハリ來春アタリデハナイカ、會社ガ一方ニ於テ經理面ニ於テ惡條件ガ現ハレ、一方生産方面ニ於テモ原料ノ瀕瀕ニ依ツテ惡條件ガ表面ニ出テ來ル、此ノ二ツノ時期ガ一緒ニナル時、日本ノ産業ヲドウスルカ、先般來完全雇傭ト云フコトニ付テ色々同僚カラ質問ガ出テ居ツタノデアリマスガ、斯ウ云フコトニ付テモツト根本的ニ此ノ問題ヲ考ヘナケレバ、其ノ時ニ一體完全雇傭ヲ口ニシテ見テモドウシテソレヲヤツテ行ケルノカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ疑問ニ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ國務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣 只今ノ問題ハ實際心配ナ問題デアリマス、此ノ經理面ニ於キマスル企業ノ一應ノ整理ガ出來マシテモ、御説ノヤウナ點ニ付キマシテハ國民各方面ノ御努力ヲ願ヒタイ、實ハ此ノ豐年ニ依リマシテ、又聯合軍ノ好意ニ依ツテ食生活ニ於テハ御説ノ通り稍、小康ヲ得タノデアリマスケレドモ、工業ノ食糧デアアル石炭事業ヲ考ヘテ見マス、今御説ノ中ニアリマスヤウー大イニ懸念スベキ狀態ガ既ニ感ジラレツ、アル譯デアリマス、此ノ點ハ政府モ商工省等ニ於キマシテ懸命ノ努力ヲ致シテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ資材ハ段々今マデノ手持品モ盡サレテ居リマスシ、新規ノ政策ハ今御説ノヤウニ思フヤウハ行ツテ居リマス、是カラ大イニ輸入ニ仰グ計畫ハ持ツテ居リマスケレドモ、要スルニ石炭増産ヲ初メテ致シマシテ、基礎原料資材ノ生産ノ増強ニ大イニ國民的ニ御協力ヲ願ツテ、努力シテ戴カナケレバナリマセヌ、ドウ云フ方面ニソレヲ持ツテ行カト云フコトハ、折角政府各部内ニ關聯性ノアル一ツノ指導的ノ立場ニ立ツテ持ツテ行キタイヤウニ考ヘテ居ル譯デ、漸次ソレ等ノ問題ハ實際ノ施策トシテ現ハレテ參ルト思フノデアリマスガ、併シ是ハ御説ノ通りニ全ク樂觀シテ居ラレナイ問題ダト云フコトハ私モ全ク御同感デアリマス

○小坂委員 非常ニ御心配ニナツテ居ラレタヤウ様子ガ見エテ心強ク思ヒマスガ、要スルニ基本資材ガ縮小再生産ノ傾向ヲ辿ツテ居ル、之ヲ少クトモ正當再生産ノ狀態ニマデドウシテモ持ツテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、私ハ先般來豫算總會等デ色々申上ゲテ居ツタノデマスガ、日本經濟再建ノ骨組ヲ確リト示サレルコトガ一番大事デハナイカ、石炭ノ増産ガ先ヅ先行スベキダト仰シヤイマシタガ、是ハ勿論其ノ通りデアリマス、併シ石炭ノ増産ニハヤハリ鐵鋼ヲ要シ、「セメント」ヲ要スルノデアリマス、斯ウ云フ狀態ニ持ツテ行クニハヤハリ立派ナ

トニ依ツテ、食糧危機突破ニ、聯合國ノ好意ト相俟ツテ稍、明ルイ希望ヲ持タセラルニ至ツテ居リマス、又棉花其ノ他一部原料ノ輸入ノ出來ルコトニ依リマシテ、一應物價ガ再編成サレテ安定スルノデハナイカト云フヤウナ希望ノノ觀測モ行ハレテ居ルデアリマスガ、日本ノ經濟ノ前途ト云フモノハ、決シテ其ノヤウナ樂觀的ナ觀測ヲ許サナイノデハナイカト私ハ考ヘテ居ルデアリマス、何故カト申シマス、現在我々が見テ、例ヘバ銀座ノ街頭デ見マス、其處ニ出來テ行クノハ總テ飲食店デアリマス、又我々が店頭ニ見マス物ハ、銅釜等ノ生必物資、消費資材デアリマス、併シナガラ目ヲ轉ジテ經濟ノ全般ヲ見マスルト、基本的ナ物資ノ生産ト云フモノガ極メテ不振デアリマス、例ヘバ石炭、鐵鋼「セメント」等ハ、終戦後一時其ノ生産ガ上向イタヤウニ見エタノデアリマスガ、此ノ五、六月頃カラ再び停頓ノ狀態ニナツテ參リマシタ、現在ノ生産量ハ平時經濟ノ需要ニ比ベマス、大體鋼材ハ六%ニ過ギナイ、「セメント」ガ二〇%、石炭ガ三〇%強ニシカ連シテ居ラナイノデアリマス、斯ウ云フ狀況ト下ニ於テ丈夫ナ我々ノ手ニ入り、口ニ入ル物デ、一應樂觀ノ見透シヲ持ツト云フコトハ、是非非常ニ實ハ危險ナコトデアアルト考ヘルデアリマス、所謂斯ウ云フ生産資材ガ出來ナイコトニ依リマシテ、我々ガ豐作ノ喜ビニ浸ツテ居ル間ニ段々「ストック」ヲ食潰シテ行ク、我々ハ假ニ今肥料ノ増産ガ他ノ物資ノ生産ニ較ベテ稍、良イト云フヤウナコトヲ言ツテ喜ンデ居リマスガ、其ノ原料トシテ居リマス所ノ「コークス」ハ戰時中ニハ人造石油ヲヤツテ居ツタガ、今

鳥瞰圖ヲ作ツテ——是ハ私ハ屢々申上
ガマシタガ此ノ鳥瞰圖ヲ作ルト云フコ
トニハ何モ具體的ナモノヲ提示サレナ
カッタノデアリマス、之ヲ早く作ラレ
ルコトガ一番大事デアアル、斯ウスルコ
トガ大事デアルト云フ意味ハ、斯ウ云
フコトヲ科學的ナ數字ノ上カラ立證ス
ルコトニ依ツテ、只今御話ノ中ニモア
ツタ聯合國ニ對シテ、基本物資ノ輸入
ト云フコトヲ懇請スル強力ナ手掛リニ
ナルト私ハ思フノデアリマス、私ハ今
騰國務大臣カラ輸入ト云フ御話ガアツ
タノデ非常ニ心強ク思ツタ譯デアリマ
スガ、此ノ問題以外ニ今日本經濟ノ行
ク途ハナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ
マスガ、此ノ點ニ付テ騰國務大臣ノ御
考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○騰國務大臣 只今御指摘ニナリマシ
タヤウナ線ニ沿ツテ今折角全體ノ計畫
ヲ立案中デアリマス、力強ク發足シタ
イト思ヒマシテ、科學的ニ今此ノ數字
ヲ集メ色々ノ調査ヲ始メ折角練ツテ居
ルヤウナ次第デアリマス

○小坂委員 今立案中デアルト云フ御
話デスガ、私ノ意見ヲ申上ゲレバ、兎
ニ角鐵鋼、重油、出來レバ木材、又北
支カラノ粘結炭、鹽、「ニツケル」ゴ
ム」斯ウ云ツタモノハ

〔委員長退席、菊池（長）委員長代
理著席〕

日本ノ經濟ノ最モ根幹ヲ成スモノデア
リマスカラ、斯ウ云フモノ、小サイモ
ノデ言ハバ尙ホ砒素鋼板ト云フヤウナ
モノモ必要デアリマセウ、是等ヲドウ
云フ程度ニ考ヘテ居ルカ、此ノ點ハ一
ツ御發表願ヘマセスカ、私ノ今言ツテ
居ルコトハ、要スルニ此ノ時期ガ早ケ
レバ早イ程輸入量ガ少クテ濟ムト云フ
コト、大都會デ以テ食料店ガドンノ

復興シテ喜ンデ居ルト云フコトハ丁度
日本ハ今肺病患者ノヤウナ經濟狀態ニ
アル、肺病患者ガ白粉ヲ紅ヲ買ツテ來
テ付ケテ、肝腎ノ榮養ヲ攝ルコトヲ忘
レテ居ルト云フ狀態ニアルヤウニ私ニ
ハ思ヘル、斯ウ云フコトハ成ベク早ク
ヤラレテ、早く發表シ、サウシテ國民
全體ノ輿論ヲ持ツテ行クト云フコトガ
非常ニ必要ニナツテ居ルト考ヘルカラ
申上ゲルノデアリマス、此ノ點ニ付テ
明確ナ御答辯ヲ戴キタイ

○騰國務大臣 只今御指摘ニナリマシ
タヤウナ物資ニ付テハ本年ノ下半期ノ
所要數量、是ガ今御話ノヤウナ呼ビ水
ニナル資材ノ分ニ付テ政府ハ精細ナ調
査ヲ遂ゲマシテ今其ノ輸入ニ付テ聯合
國側ニ懇請中デアリマス、是ハマダ色
色其ノ交渉ノ間ニアリマスノデ、數量
等内譯ヲ一々御報告申上ゲルノ差控
ヘタイト存ジマスガ、今御尋ネヤウ
ナ點ハ政府トシテハ既ニ其ノ手ヲ打ツ
テ居ルノダト云フコトヲ御諒願ヒ
タイ

○小坂委員 騰國務大臣ノ御話ニ依リ
マシテ全力ヲ擧ゲテヤツテ戴イテ居ル
ノダト云フコトニ了承シテ置キマス、
次ニ觀點ヲ變ヘテ申上ゲマスガ、是ハ
大藏大臣ニ對シテ御伺ヒシタイ、大藏
大臣ノ、此ノ間カラ屢々新圖ノ再封鎖
ヲ行ハナイト云フコトヲ申サレテ居リ
マス、非常ニ其ノコトハ大事ナコトデ
ハアリマスガ、一般ノ國民ガ其ノ言明
ニ依ツテ非常ニ通貨ニ對スル信用ヲ増
スト云フ風ニハ中々了解シナイノデ
アリマス、ト申シマスコトハ、通貨ガ
一千億ニモ上ツタ場合、又更ニ二千億
ニモ上ルドラウト思ハレル場合ニハ、
ドウシテモ一片ノ御言明ニ依ツテハ一
般ガ之ヲ納得シ得ナイノデアリマス、

寧ロ本能的ニハ之ヲ否定シ去ルノデハ
ナイカト云フコトヲ慎メルノデアリマ
ス、「インフレ」阻止ノ方法ニ特ニ奇手
妙手ガアルノデハナイト云フコトヲ大
藏大臣ハ先般ノ豫算總會ニ於テモ言ハ
レマシタガ、要スルニ眞面目ニ石炭増
産カラ始メテ生産ノ再開ヲヤツテ行ク
ノ以外ニナイト云フコトヲ申サレタノ
デアリマスガ、玆ニ大藏大臣ニ是非一ツ
探上ゲテ貰ヒタイ問題ガアル、ソレハ
金貨公債、金貨ト「リンク」シタ公債ヲ
出シテ見ル御考ヘハナイカト云フコト
ヲ伺ヒタイノデアリマス、勿論現在直
チニ金貨公債ヲ出スト云フコトハ中々
「インフレ」ヲ進行中デアアル現在ニ於テ
ハ困難デアリマスカラ、之ヲ十年後ニ
於テ支拂フト云フ約束ノ下ニ之ヲ出ス
ト云フコトヲ提唱シタイト思フノデア
リマス、此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御所
見ヲ伺ヒタイ

○石橋國務大臣 大變興味アル御意見
デアリマスガ、問題ハ左様ナモノヲ出
シ得ル時期モアラウカト思ヒマスガ、
左様ナコトガ實行出來ルノハ何時ノコ
トカ、要スルニ「ゴールド・クローズ」
ノ附イタ公債ヲ出スト云フコトデアリ
マスガ、今日大藏大臣ノ新圖ヲ封鎖シ
ナイト云フコトガ中々信ゼラレナイト
スルナラバ、十年後ニ金デ支拂フ公債
ヲ出スト云フコトモ、或ハ信ゼラレナ
イカモ知レス、併シ御考案ハ非常ニ結
構ト思ヒマスカラ、或ル時期ヲ見マシ
テ、左様ナコトモ實行ノ出來ルコトガ
アラウト考ヘテ居リマス

○小坂委員 十年後ノコトヲ約束シテ
モ信ジナイドラウト云フコトヲ仰シヤ
イマシタガ、ソレデハ大藏大臣ガ「イ
ンフレ」ヲ阻止シヨウト云フコトヲ仰
シヤツテ居ラレルノハ根本的ニ信ゼ

ラレナイト云フコトニナル、何處デモ
「インフレ」ト云フモノハ大體五、六
年シカ續カナイ、「インフレ」ハ必ズ破
局ニ至ツテ「ノルマル」ナ經濟狀態ニナ
ル、是ハ語弊ガアリマスガ、「ノルマ
ル」ト云フ意味ハ「應デフレ」ニナル、
サウシテ金ト「リンク」シタ健全ナ經濟
狀態ニナル、是ハ世ノ通説デアリマ
ス、十年間掛ツテモ尙ホ貨幣狀態ガ安
定シナイト云フコトヲ大藏大臣ハ考ヘ
テ居ラレルコトニナルノデアリマス
ガ、ソレハドウデアリマスカ

○石橋國務大臣 私ハ左様ナコトハ信
ジテ居ナイト云フコトヲ申スノデハゴ
ザイマセヌ、現在左様ナモノハ出シ得
ルトハ思ヒマスガ、併シ其ノ出ス時期
ハ相當選フ必要ガアル、御考案ハ大變
結構デアリマスカラ、十分參考ニ致シ
マシテ、今後ノ施策ニ寄與シタイト存
ジマス

○小坂委員 提案ヲ御推賞ニナリマシ
タコトハ有難イノデアリマスガ、尙ホ
私ノ注文ヲ申上ゲテ置キマス、私ハ兎
ニ角十年後ノコトハ分ラヌト云フヤウ
ナコトハ言ハヌデ戴キタイ、十年後ニ
ナレバ必ズ「ドル」ト「ツ」ノ「レーショ
ン」ガ出來ルコトハ明瞭デアリマス
カラ、其ノ時ニ幾ラ拂フト云フコトデ
ハナクテ、金何処ヲ拂フト云フコトヲ
明示サレルコトヲ希望スル、サウシテ
現在ソレデハ金ヲドノ位ノ「レーショ
ン」ニスルカト云フコトハ、専門家ガ
居ラレルデセウカラ、私ノ意見モアリ
マスガ、ユツクリ御相談出來ル機會ガ
アレバト考ヘルノデアリマス、尙ホ是
ハ成タケ少額ノモノニシテ、誰デモ買
ヒ得ルヤウナ所謂貨幣的ナ流通手段ニ
スルヤウニシテ戴イタラドウカト思フ

ノデアリマス、丁度「ドイツ」ノ「イン
フレ」ノ安定スル時期ニ「レンテン・マ
ルク」ガ出マシタヤウニ、私ハ此ノ金
デ支拂フト云フコトガ、現在ノ日本ノ
置カレテ居ル特殊ナ條件ノ下ニ非常ニ
意味ガアルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス、サウ云フ少額公
債ヲ出スト云フコトニ付テ、十年後ニ
金ニ「リンク」スルト云フコトヲ宜イト
御考ヘニナルカドウカ、其ノ點ヲ御尋
ネシタイノデアリマス

○石橋國務大臣 只今マダ其ノコトヲ
考ヘテ居リマセヌガ、是ハ考ヘ得ルコ
トダト云フコトダケ申上ゲテ置キマス
○小坂委員 餘リイキナリ言ヒ出シ
テ、之ニ付テドウ云フ構想ヲ持ツカト
云フコトヲ伺フノモ非常ニ失禮ダト思
ヒマスノデ、此ノ邊ニシマシテ、ユツ
クリ又構想ヲ練ツテ戴キタイト思フノ
デス、ト言フノハ、私ハ何カ一ツノ完
全ナト云ヒマスカ、人ヲ納得サセ得ル
基礎ガナレバ、生産再開モ覺束ナイ
シ、又殊ニ日本ノ政治狀態ガ此ノヤウ
ナ特殊ナ狀態ニアル際ニハ、政府ノ言
明トカ、或ハ特殊ナ技術的ナ操作ト云
フヤウナコトデハ駄目ダト思フノデ、
是非今ノ私ノ申上ゲマシタ金貨公債ト
云フモノヲ出サレマシテ、一ツノ安定
通貨ノ端緒ヲ作ツテ貰ヒタイ、斯様ニ
考ヘテ居ル譯デアリマス私ハ輸入基本
物資「ビユー・ア・ロウ・マテリアルズ」
ヲ急速ニ輸入スル一ツノ強力ナ運動ヲ
起スト云フコト、金貨公債ヲ發行ス
ル御用意ハナイカ、此ノ二ツノ根本的
ナ提案ヲシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○菊池（長）委員長代理 森三樹二君
○森（三）委員 私ハ大藏大臣ニ御尋ネ
シタイト思ヒマス、此ノ財産稅ノ目的

ノデアリマス、丁度「ドイツ」ノ「イン
フレ」ノ安定スル時期ニ「レンテン・マ
ルク」ガ出マシタヤウニ、私ハ此ノ金
デ支拂フト云フコトガ、現在ノ日本ノ
置カレテ居ル特殊ナ條件ノ下ニ非常ニ
意味ガアルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス、サウ云フ少額公
債ヲ出スト云フコトニ付テ、十年後ニ
金ニ「リンク」スルト云フコトヲ宜イト
御考ヘニナルカドウカ、其ノ點ヲ御尋
ネシタイノデアリマス

ガ國家財政ノ確立保持ノ爲ニアル、斯
様ニ言明サレタコトヲ度々聞クノデア
リマスガ、併シ富ノ再分配ト云フコト
モ多分ニ否定出来ナイ所ノ税法デア
ル、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレ
ニ付キマシテ、此ノ戰爭ニ因ツテ空襲
ヲ受ケタ人、ソレカラ外地ニ居ツテ外
地ノ財産ヲ何等持ツコトガ出来ナクテ
本國ニ歸ツテ來タ人、斯ウシタ人々
ト、此ノ戰爭ニ因ツテ相當ノ利潤ヲ
得、又相當ノ財産ヲ保有スルコトガ出
來タ人々トノ間ニハ、莫大ナ富ノ差ガ
付イテシマツタ、之ニ對スル所ノ地均
シト云ヒマスガ、平均化ヲスルト云ヒ
マスガ、ヤハリザウシタ政策のナモノ
モ多分ニ含ンデ考ヘナケレバナラスノ
デハナイカ、斯様ニ私ハドウシテモ思
ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付
テ大臣ノ御所見ヲ御伺ヒシタイと思
マス

○石橋國務大臣 外地事業ヲシテ居
ツタ方ナドニ對シテハドウスルカト云
フコトハ、屢々申上ゲマスヤウニ、外
地ノ資産ナルモノノ性質ガマダ決定ヲ
致サナイト云フコトモアリマシテ、政
府トシテハ確定シタモノノガゴザ
イマセヌ、併シ御話ノヤウナ點ハ、ヤ
ハリ十分考慮ヲ致サナケレバナラスト
云フコトダケハ考ヘテ、始終考案ハ致
シテ居ル次第デアリマス、富ノ再分配
ト云フヤウナ言葉ヲ使フノガ宜イカド
ウカト云フコトハ問題デアリマスガ、
兎ニ角外地ニ居ラレタ方々ダケニ特別
ノ負擔ヲ掛ツテ居ルヤウナ形ニナツテ
居リマスガ、是ハ何等カノ形ニ多少輕
減スル方法ヲ講ジナケレバナラス、是
ダケノコトヲ考ヘテ居リマス
○森(三)委員 私有スルニ財産稅ト

云フモノガ國家財政ノ確立ノミヲ目的
トシタモノデハナイ、即チ之ニ依ツテ
國民ノ富ノ均分化ヲ圖ルノダ、ソレヲ
大藏大臣ハ御認メニナツテ居ルノカド
ウカト云フコトモ併セテ御尋ネシテ居
ツタノデアリマス、ソレデ尙ホ外地ノ
人々ノ問題バカリデナク、内地ニ於キ
マシテモ要スルニ空襲ニ依ツテ燒ケ殘
ツタ者ト燒ケテシマツタ者トノ間ニ
ハ、實ニ大キナ差異ガ付イテ居ル、私
ハ此ノ意味ニ於テ此ノ財産稅ノ稅率等
ヲ考ヘテ見マス、一方ニハ相當ノ財
産ガ殘ツテ高率ノ財産稅ヲ取ラレルト
云ツテ、明ケテモ暮レテモ財産稅ヲ氣
ニシテ居ルモノガアリ、他方ニハ財產
稅ヲ取ラレル心配ドコロカ、自分ノ生
活ニモ困ル、詰リ財產ノ零ノ者モソコ
ニ存在シテ居ル、サウ云フ狀態ニアリ
マシテ、一方ノ者ハ財產稅ヲ取ラレル
心配ガ毛頭ナクテ、殆ド財產稅ニ對ス
ル關心サヘモ持ツ必要ガナイ者ト、一
方ニ於キマシテハ、此處ニモ書イテア
リマスヤウニ、千五百萬圓ヲ超エル金
額ハ稅率ガ百分ノ九十デアル、斯ウ云
フ大キナ差異ガ此ノ戰爭ニ因ツテ起キ
タノデアル、尤モ戰爭前カラ相
當ノ財產ヲ持ツテ居ツタ人モア
リマスケレドモ、此ノ戰爭ヲ契
機トシテナクナツタ者モ非常ニ
殖エテ居ルノデアリマス、私ハ

其ノ意味ニ於キマシテ此ノ財産稅ニ依
ツテ取上ゲラレタ所ノ財產ヲ、財產カ
ナクナツタ人々ニ對シテ、例ヘバ生活
保護法ノ如キハ豫算カ三十億デアリマ
スガ、連モ都市ニ於キマシテ一人當リ
三圓六十錢、五人家族デ約二百五、六
十圓ノ給付額デアリマスガ、ソレデハ
實際今日五百圓ノ棒ニモ達シナイ、生

活ガ出来ナイ、斯様ナ狀態ニアル、私ハ
サウシタ根本のナ富ノ非常ニ大キナ懸
隔ガアルバカリデナク、一方ニハ生活
モ出来ナイ者ガアルノダカラ、此ノ財
産稅ニ對スル所ノ稅率ニ付キマシテ
モ、大藏大臣ハモット異進課稅ヲ徹底
的ニスル御考ヘガナカツタノカドウ
カ、又之ヲ變更セラレル所ノ考ヘハナ
イノカドウカ、此ノ點ヲ御尋ネシタイ
○石橋國務大臣 御話御尤モノ點ガア
リマスガ、稅ヲ取ルト云フコトハ實際
ハ是ガ流動シタ金デモ皆持ツテ居ツ
テ下サルモノデアリマスレバ技術上取
ルコトモ容易デアリマスガ、何時モ是
モ議會ノ問題ニナリマスヤウニ、物納
デ戴カナケレバナラス、斯ウ云フヤウ
ナ譯デアリマスカラ、唯稅率ノ高ク盛
ツタカラト云ツテ稅ハ取レルモノデハ
ナイ、我々ノ考ヘル所デハ、今度ノ財
産稅ノ稅率ト云フモノハ主稅局長ガ能
ク知ツテ居ルノデスガ、恐ラク世界ニ
類ノナイ高率ノモノダラウト思フ

〔菊池委員長代理退席委員長著席〕
是レ以上ノ稅率ヲ盛ツテ果シテ實行可
能カドウカト云フ點カラ申シマス、
私ハコノラガ行止リデアリマシテ、
是レ以上ノ稅率ヲ盛ルコト云フコトハ、
紙ノ上デハ盛レマスケレドモ、實行ニ
於テハ困難ダラウ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

テ、其ノ反對給付トシテ特殊預金ヲ貰
ツテ居ルモノ、其ノ家屋ナラ家屋、工
場ナラ工場ガ燒ケナイデ存在シテ居ル
モノハ百分ノ八十ニシテモ或ハ百分ノ
七十ニシテモ幾ラ殘ルモノガアル、
然ルニ戰爭保險ノ特殊預金デ貰ツタモ
ノハ或ル一定以上ハ百分ノ百デ殆ド切
ラレシマツテ居ル、ソコニ大キナ矛
盾ガアリハシナイカト思フ、其ノ點大
藏大臣ハ如何ナル御所見ヲ持ツテ居
レマスカ

○石橋國務大臣 特別課稅ノ方ハ御話
ノヤウデアリマス、是ハ特殊預金ト云
フヤウナモノデアリマスノデ、詰リ技
術的ニ申シマシテモ、課稅ヲスレバ其
ノ儘消エテシマフト云フ譯デアリマス
カラ、技術上カラ申スト、幾ラデモ稅
率ガ盛レル譯デアリマスガ、先程カラ
申上ゲマスヤウニ、實際ノ財産稅ノ方
ニ於テハ中々左様ナ稅率ハ盛リ得ナ
イ、百「パーセント」ノ稅率ヲ盛ルト云
フコトヲ致シマシテモ徵集スルコトガ
不可能、斯様ナコトニナリマシテ、衡
平、不衡平ト云フコトヲ細カク申シマ
スト、色々ノ點ガ無論起リマスガ、一
方ニ於テハ實行可能ナリヤ否ヤト云フ
コトモ考ヘナケレバナラス、詰リ實行
可能ト云フ觀點カラ見テ最高限ノ稅率
ガ盛ラレテ居ルノデアリマシテ、實際
ノ資産ヲ持ツテ居ル人ニ取ツテハ隨分
キツイ稅ダト考ヘテ居リマス

ラレシマツテ居ル、第二封鎖ト云フ
モノモ或ル税金ノ對象トハナリ得ルケ
レドモ、所謂棚上トナツテ之ヲ自己ノ
財産トシテ繼續シテ行クト云フコトハ
出来ナイ、一方動産、不動産持ツテ
居ル所ノ財産ト、粒々辛苦シテ蓄積シ
タ所ノ現金持ツテ居ル所ノ財産、ソ
レ等ノ間ニ、非常ニ不均衡ナ結果ヲ生
ズルト思フノデアリマスガ、ソレ等ニ
對シテ大藏大臣ハ如何ナル御考ヘヲ御
持デスカ

○石橋國務大臣 御話ノ通りデアリマ
ス、大體ニ於テ今回ノ措置ハ、金錢ノ
形トナツテ居リマスモノニ色々ノ負擔
ガ強ク、物的財産ニナツテ居ルモノニ
比較的負擔ガ輕イ、斯ウ云フ弊ハ確カ
ニアリマス、是ハ先程申シマシタヤウ
ニ、實行上下ウシテモ已ムヲ得ナイ弊
害デアル、若シ總テノ動産、不動産ニ
對シテモ金錢ト同ジヤウナ稅率ヲ盛リ
得レバ宜イノデアリマスケレドモ、盛
ツテモ實行ハ出来ナイ、斯ウ云フコト
デアリマスト却テ不都合ヲ生ズル、斯
様ナ次第デ兩者ニ或ル程度ノ相違ガ起
ツテ居ル譯デス

テ居ルト云フコトデス、財産税トシテ取上ゲタモノガソレ等ノ人々ニ引當テテ生活ガ充實サレナイト云フヤウナコトデハ私ハ財産税ヲ取ル目的ニモ非常ニ副ハナイ點ガアルノデヤナイカト思フテ居ルノデスガ、此ノ點ニ付テ大蔵大臣ハ如何ナル見解ヲ持ツテ居ラレマセウカ、財産税ト引揚者ノ處遇ノ問題、之ニ付テ伺ヒタイ

○石橋國務大臣 引揚者ニ對シテハ屢々申シマシタヤウニ別途ニ之ヲ考慮シナケレバナリマセウ、只今庶民金庫ノ話ガアリマシタガ、アレニハ前內閣以來色々ナ食糧ヒモアツタヤウデアリマス、最近ニ於キマシテモ過渡的ノ處置トシテ極少額ノ金ガ萬世俱樂部デスカ、或ハ援護院デスカ、供給サレテ、ソレニ依ツテ庶民金庫ガ金融ヲシタ、是非非常ニ少額デアリマシタノデ却テ貸出ガ少イト云フコトデ苦情ガアツタヤウデスガ、最近政府ガ行ヒツ、アリマスモノハ、モウ既ニ相當地方ニ對シテモ活動ヲ始メテ居リ、是ハ相當強力ニ行ハレルモノト考ヘマス、引揚者ニ對シテノコトハ、屢々引揚者諸君カラノ陳情モ承ツテ、其ノ度ニ色々申シテ居ルノデアリマスガ、色々ノ關係デ十分ノコトガ出來兼テ居ルコトハ洵ニ遺憾ト存ジマス、併シナガラ政府トシテハ出來ルダケノコトハ致シタイト專ラ努力シテ居ル譯デス、財産税ト直接ノ關聯ヲ持タセルコトハ困難ダト存ジマスガ、ソレハソレ別途ニ出來ルダケノコトヲ致ス、斯様ナ考ヘデ居ル次第デアリマス

バナナス、ソレト同時ニ、財産税ヲ拂ヒタクテモ拂フコトノ出來ナイ者、即チ財産ノ何モナイ者、財産ガ實際ナクテ生活ニ困ツテ居ル者ニ對スル政府ノ方策ヲ緊急ニ一ツ立案セラレマシテ、只今大蔵大臣ガ言ハレタヤウナ庶民金庫ナシカモ僅カ三萬圓位デナク、少クトモ一萬圓位ノ金額ニ引上ゲテ、サウシテソレ等ノ財産ノ何ニモナイ者ニ對シテ政府ガ獻身的ナ處置ヲ御執リ下サランコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス

表面負債ガ澤山アル、戰爭ガ濟ンデシマツタ今日、相當莫大ナ負債ガアルト云フコトヲ理由ニシテ支拂ヲシナイト云フコトハ、我々ガ今日多々見聞シテ居ル所デス、ソコニ付テ來テ斯ウシタ特別和議法ガ出來テ、裁判所ニサヘ頼メバ、裁判所ハ積極的ニ、適當ト認メルモノニ相當ノ強制力ヲ以テ勸解サスルコトガ出來ルト云フヤウナ、破産法、和議法ノ特別法マデモ作ツテ保護スル必要ガアルカドウカト云フコトヲ私ハ非常ニ疑フテ居ルノデス、此ノ點ニ付テ御見解ヲ御尋ネシタイと思ヒマス

○奧野政府委員 御説ノヤウニ現在破産法、和議法ノ法律ガアリマシテ、之ニ依ツテ破産或ハ破産防止ノ爲ノ多クノ働キヲナシテ居リマスガ、今回ノヤウニ補償打切ニ依ルサウ云フ緊急ノ原因ニ依ツテ各方面ニ破綻者ヲ生ゼシムルト云フコトハ、寧ロ之ヲ避ケナケレバナラナイ、現在ノ和議法ニ於キマシテハ、其ノ債務者保護ノ點ニ付キマシテ十分デナイと思ハレル點ガ非常ニアリマスノデ、今回ノ特別和議法ヲ制定致シタノデアリマスガ、此ノ特別和議法ニ於キマシテモ、原則トシテハ現在ノ和議法ノ準用ガアルコトニ致シテ居リマシテ、現在ノ和議法ニ依リマシテ故意ニ破産回避ノ爲ニ之ヲ濫用シテ來テタヤウナ場合ニ於テハ却下ガ出來ルト云フ規定ガアリマスガ、ソレ等ノ規定ハヤハリ特別和議法ニ於キマシテモ準用サレテ居リマスノデ、御説ノヤウナ濫用ノ場合ハヤハリ十分防止出來ル積リデ居リマス

云フコトヲ債務者ガ理由ニシテ借金ヲ踏ミ倒サウト掛ツテ居ルコトヲ、我々ハ甚間非常ニ聞イテ居ル譯デス、併シナガラ實際ノ所ヲ見ルト、軍需補償ハ打切ラレマシタケレドモ、四、五年前、或ハ七、八年前ニ工場ヲ買入レマシタリ、或ハ又建設シタリシタ其ノ時ノ價格ト現在ノ家屋ノ價格トハ非常ニ價格ノ差異ガアル譯デス、隨テソレヲ處分スレバ、新圓デ家ガ十萬圓デアアル、或ハ二十萬圓デアアル云ツテ賣レテ居ル譯デス、借金ヲ拂ツテ尙且餘裕ガ出ルト云フ狀態デアアル譯デス、然ルニ一方軍需補償ヲ打切ツタ爲ニ、債務者ガ債權者ニ對スル支拂ヲ猶豫シテ呉レトカ、或ハ負ケテ呉レトカ云フ口實ヲ與ヘル結果トナリ、搦テ加ヘテ斯ウシタ特別和議法ガ出ルト云フコトガ新聞ニ發表サレマス、是ハ良イコトガ出タ、之ヲ一ツ利用シテ成ベク借金ヲ踏ミ倒サウト云フコトガ、我々ニ非常ニ鋭敏ニ響イテ來テ居ル譯デアリマス、ダカラ軍需補償ヲ一方ニ打切ツタカラト云ツテ、サウシタ債權者、債務者間ノ立場ガ公平ニ取扱ツテヤラウト云ツテ、斯ウシタ和議法ヲ御作リニナツタノガ、實際私等ニ言ハスト非常ニ皮相ナ、斯ウ申シテハ甚ダ失禮カモ知レマセウガ、本當ニ形式的ニ事務ヲ處理スルト云フヤウナ方面カラノ立案サレタヤウナ氣ガシテ仕方ガナイノデアリマス、斯ウ云フ特別和議法ト云フモノデモ作ラレルナラバ、私ガ先程申シマスヤウニ其ノ財産ノ例ヘバ家屋デアルトカ、工場ノ建物デアルトカ云フモノノ價格ニ付テモ、特別ノ調査ヲスルトカ云フヤウナ規定ヲ此ノ中ニデモ入レテ置カナイト、非常ニ私ハ不公平ナ結果ヲ生ズル

ノデハナイカト思フ、モツト分リ易ク言フナラバ、唯斯ウシタ所ノ形式的ナ特別和議法ダケデハ實際物ノ價格ノ決定デアルトカ、評價デアルトカ云フコトニ付テ非常ニ缺陷ガアルノデハナカラウカト、私ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、御所見ハ如何デアリマセウカ

○森(三)委員 我ハ此ノ財産税ニ付キマシテハ、自分ト致シマシテハ、徹底的ニ此ノ法律ノ性格ヲ發揮セシメテ、政府ハ萬遺憾ナキヲ期シテ行カナケレ

次ギマシテ私ハ和議法ニ付テ御尋ネシタイと思ヒマス、和議法ニ付キマシテ私ノ見解カラ申スナラバ、從來破産法、或ハ和議法ト云フモノガアリマシテ、債權債務ニ付テ特別法トシテ十分ノ規定ガシテアルノデアリマス、然ルニ今回屋上屋ヲ架スル、ト言ヒマス、語弊ガアルカモ知レマセウガ、特別和議法ト云ツテ、和議法ノ上ニ特別ノ字ヲ付ケタ法律ヲ出スト云フコトハ、債務者ニ名ヲ藉リテ財産ヲ隱匿セントスル所ノ、サウシタ惡辣ナ者、是等ノ者ニ對シテ非常ニ保護スルト云フヤウナ結果ヲ生ジナイカト云フヤウナコトモ實ハ悞レルノデス、ト云フノハ、戰爭ノ最中、非常ニ不徳義ナ一部ノ者ハ、儲ケルノハ此ノ際ダ、借金ハ出來ルダケシタ方ガ得ダト云ツテ、銀行カラ或ハ又個人カラ相當莫大ナ借金ヲシテ居ル者ガアル、サウシテ自分達ハ相當裕ナ生活ヲシテ工場ヲ經營シ、又ハ利潤ヲ收メテ居ル、然ルニ帳面ヅラハ借金ガ相當澤山ニナツテ居リマス、

○森(三)委員 軍需補償ノ打切ガアリマシタ時、自分達ハ軍需補償ヲ打切ラレテシマツタ、其ノ爲ニ支拂スベキモノモ支拂ヒ得ナクナツタノデアアルト

○森(三)委員 我ハ此ノ和議法ニ關シマシテ、財産評價ノコトニ付キマシテ只今發言シタ譯デアリマスガ、實際今日デハ借金ガアルト云フヒマシテモ、小サナ十坪、二十坪ノ家ヲ一ツ賣レバ四萬圓、五萬圓ト云フ金ガ新圓デ入ツテ來ルノデアリマス、昔借金ヲシテ家ヲ買ヒ、工場ヲ建テテ居ル者ハ、實際借金ハ澤山アルケレドモ、其ノ中ノ一ツヲ處分スレバ、借金ナシカハ何デモナイト云フヤウナ實情ガ出テ居ル譯デアリマス、今日此ノ家屋ノ騰貴ト云フコ

○森(三)委員 我ハ此ノ和議法ニ關シマシテ、財産評價ノコトニ付キマシテ只今發言シタ譯デアリマスガ、實際今日デハ借金ガアルト云フヒマシテモ、小サナ十坪、二十坪ノ家ヲ一ツ賣レバ四萬圓、五萬圓ト云フ金ガ新圓デ入ツテ來ルノデアリマス、昔借金ヲシテ家ヲ買ヒ、工場ヲ建テテ居ル者ハ、實際借金ハ澤山アルケレドモ、其ノ中ノ一ツヲ處分スレバ、借金ナシカハ何デモナイト云フヤウナ實情ガ出テ居ル譯デアリマス、今日此ノ家屋ノ騰貴ト云フコ

ト云フコトヲ理由ニシテ支拂ヲシナイト云フコトハ、我々ガ今日多々見聞シテ居ル所デス、ソコニ付テ來テ斯ウシタ特別和議法ガ出來テ、裁判所ニサヘ頼メバ、裁判所ハ積極的ニ、適當ト認メルモノニ相當ノ強制力ヲ以テ勸解サスルコトガ出來ルト云フヤウナ、破産法、和議法ノ特別法マデモ作ツテ保護スル必要ガアルカドウカト云フコトヲ私ハ非常ニ疑フテ居ルノデス、此ノ點ニ付テ御見解ヲ御尋ネシタイと思ヒマス

○森(三)委員 我ハ此ノ財産税ニ付キマシテハ、自分ト致シマシテハ、徹底的ニ此ノ法律ノ性格ヲ發揮セシメテ、政府ハ萬遺憾ナキヲ期シテ行カナケレ

次ギマシテ私ハ和議法ニ付テ御尋ネシタイと思ヒマス、和議法ニ付キマシテ私ノ見解カラ申スナラバ、從來破産法、或ハ和議法ト云フモノガアリマシテ、債權債務ニ付テ特別法トシテ十分ノ規定ガシテアルノデアリマス、然ルニ今回屋上屋ヲ架スル、ト言ヒマス、語弊ガアルカモ知レマセウガ、特別和議法ト云ツテ、和議法ノ上ニ特別ノ字ヲ付ケタ法律ヲ出スト云フコトハ、債務者ニ名ヲ藉リテ財産ヲ隱匿セントスル所ノ、サウシタ惡辣ナ者、是等ノ者ニ對シテ非常ニ保護スルト云フヤウナ結果ヲ生ジナイカト云フヤウナコトモ實ハ悞レルノデス、ト云フノハ、戰爭ノ最中、非常ニ不徳義ナ一部ノ者ハ、儲ケルノハ此ノ際ダ、借金ハ出來ルダケシタ方ガ得ダト云ツテ、銀行カラ或ハ又個人カラ相當莫大ナ借金ヲシテ居ル者ガアル、サウシテ自分達ハ相當裕ナ生活ヲシテ工場ヲ經營シ、又ハ利潤ヲ收メテ居ル、然ルニ帳面ヅラハ借金ガ相當澤山ニナツテ居リマス、

○森(三)委員 軍需補償ノ打切ガアリマシタ時、自分達ハ軍需補償ヲ打切ラレテシマツタ、其ノ爲ニ支拂スベキモノモ支拂ヒ得ナクナツタノデアアルト

○森(三)委員 我ハ此ノ和議法ニ關シマシテ、財産評價ノコトニ付キマシテ只今發言シタ譯デアリマスガ、實際今日デハ借金ガアルト云フヒマシテモ、小サナ十坪、二十坪ノ家ヲ一ツ賣レバ四萬圓、五萬圓ト云フ金ガ新圓デ入ツテ來ルノデアリマス、昔借金ヲシテ家ヲ買ヒ、工場ヲ建テテ居ル者ハ、實際借金ハ澤山アルケレドモ、其ノ中ノ一ツヲ處分スレバ、借金ナシカハ何デモナイト云フヤウナ實情ガ出テ居ル譯デアリマス、今日此ノ家屋ノ騰貴ト云フコ

○森(三)委員 我ハ此ノ和議法ニ關シマシテ、財産評價ノコトニ付キマシテ只今發言シタ譯デアリマスガ、實際今日デハ借金ガアルト云フヒマシテモ、小サナ十坪、二十坪ノ家ヲ一ツ賣レバ四萬圓、五萬圓ト云フ金ガ新圓デ入ツテ來ルノデアリマス、昔借金ヲシテ家ヲ買ヒ、工場ヲ建テテ居ル者ハ、實際借金ハ澤山アルケレドモ、其ノ中ノ一ツヲ處分スレバ、借金ナシカハ何デモナイト云フヤウナ實情ガ出テ居ル譯デアリマス、今日此ノ家屋ノ騰貴ト云フコ

ト云フコトヲ理由ニシテ支拂ヲシナイト云フコトハ、我々ガ今日多々見聞シテ居ル所デス、ソコニ付テ來テ斯ウシタ特別和議法ガ出來テ、裁判所ニサヘ頼メバ、裁判所ハ積極的ニ、適當ト認メルモノニ相當ノ強制力ヲ以テ勸解サスルコトガ出來ルト云フヤウナ、破産法、和議法ノ特別法マデモ作ツテ保護スル必要ガアルカドウカト云フコトヲ私ハ非常ニ疑フテ居ルノデス、此ノ點ニ付テ御見解ヲ御尋ネシタイと思ヒマス

トガ國民ノ住宅不足ノ折、實ニ酷イ影響ヲ與ヘテ居ル、我々モ家ヲ買ハウト思フテモ手不足モ出ナイヤウナ實情デアリマス、斯ウシタ家屋ノ騰貴、而モ家ヲ借りヨウト思フテモ、ソレニモ間ノ權利金ガ付クト云フヤウナコトモ巷間ニ能ク分ツテ居ルノデアリマス、是等ニ付テ大藏大臣ハ如何ナル御所見ヲ持ツテ居ラレルノデセウカ、實際家ガドクノ高クナツテ行ク、結局物價政策トシテハ、今年食糧ハ豐作デ良クナリ見透シガ付イテ居ルノデスガ、結局ナイ物高ト言ヒマスカ、品物ガ足ラヌ爲ニ、或ハ住宅ガ足りナイ爲ニ、ナイモノバ段々騰貴シテ行ク、結局物價ノ「バランス」ガ取レナイ、併シ住宅ノ如キ、實際人間ノ衣食住ニ重大ノ關係ヲ持ツ住宅ニ對シテ、政府ガ何等ノ手ヲ打タナイデ騰貴シテ行クノニ委セテ置クト云フヤウナ狀態デアツテハ、是ハ住宅問題カラ言ツテモ、更ニ物價問題カラ言ツテモ、私ハ實ニ惡影響ヲ起シテ居ルト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ大藏大臣ハ如何ナル御所見ヲ持ツテ居ラレマセウカ

○石橋國務大臣 住宅ハ御承知ノ通り非常ナ不足デアリマス、隨テ資材其ノ他ノ關係カラ新シイ住宅ヲ建設スル場合ニ、相當高價ニナルト云フコトモ事實デアリマス、是ハ戰災復興院ヲ中心トシテ、努メテ小住宅ヲ建設スルコトニ致シテ居リマスガ、今マデノ所ハ思フヤウニ進ンデ居リマセヌガ、是ハ大イニ今度公共事業費、其ノ他ノ支辨ニ依リマシテ住宅ヲ建設シテ、價格ノ調整ヲ致ス、斯様ニ考ヘテ居リマス、要スルニ供給ヲ出來ルダケ殖ヤスト云フコトガ根本デアリマシテ、サウ致サナケレバ價格ノ調整ハ困難ダト思ヒマス

○森(三)委員 サウシマス、住宅ヲ建設シナケレバナラヌト云フコトハ是ハ勿論分ツテ居ルノデスガ、價格ガ今日ノ如ク一坪五千圓ダ六千圓ダ、少シ良イ土地ハ一萬圓ダ云フヤウニ騰貴シテ居ル、物價體系カラ言ツテサウシタ騰貴シテ行クノヲ放任シテ置イテ宜イカドウカ、ソレニ對シテ何等カ價格ヲ抑制スルツカ、或ハ又法規デ以テ之ヲ適當ナ方法デ決メルトカ、サウシタ御處置ヲ執ルト云フ御見解ハナイノデアリマセウカ、其ノ點ヲ大藏大臣ニ御伺ヒ致シマス

○石橋國務大臣 家賃、地代、ソレカラ又家屋ノ價格ニ付テモ統制ハサレテ居ルノデス、統制ハサレテ居ルノデスガ、結局價格ト云フモノガ其ノ間ニ起ル譯デアリマス、ソレモ取締ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、併シナガラ價格ト云フモノハ、經濟的中シマスト、中々取締ダケデサウ云フモノガ悉ク撲滅ノ出來ルモノデハアリマセヌカラ、自然實際ニハ或ル程度ノ價格ガ行ハレル、結局ニハ經濟ノ原則ニ從ツテ或ル程度供給ヲ殖ヤスト云フ以外ニ、本當ニ之ヲ取締ル道ハナイト思ヒマス

○森(三)委員 シツコイヤウデアリマスガ、轉賣シテソコニ利潤ヲ得ル、例ヘバ十萬圓デ買ツテ十五萬圓デ賣レバ、ソレハ價格トシテ處罰ノ對象ニナルケレドモ、例ヘバ今カラ十年前前一萬圓デ建築シタ家ヲ、今日十萬圓デ賣ルコトハ刑罰ノ對象ニナラナイト私ハ考ヘテ居ル、ダカラサウ云フモノニ對シテ結局抑ヘナケレバナラヌノデヤナイカ、例ヘバ家屋ト云フモノハ一坪千圓以上、或ハ千五百圓以上ニ賣買シテハイカナイ、ト云フヤウナ法規ノ積極

的ニ作レバ、今度ハ家屋ハドンナコトヲシテモ千五百圓以上ニ賣買出來ナイト云フコトガビタツト當該ルノデアリマスガ、今ノ所デハ幾ラ家ガ高クテモ、十年前、二十年前ニ建テテモ、或ハ又最近買ツテ轉賣スル人モ同ジヤウニ、幾ラ高クテモ構ハナイノダト云フヤウナ觀念ヲ持ツテ居ル人ガ居ルノデス、此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイ

○石橋國務大臣 是ハ私今統制法規ヲ記憶シテ居リマセヌガ、家ノ賣買價格ニモ統制ガアル筈デアリマス、價格ニ付テ限定ガアル筈デアリマス、唯ソレヲ秘密ニ逃レテ賣買スル者ヲ取締ルツ云フコトハ、取締ツテ居ル筈デスガ、事實ニ於テハ中々困難ナ點ガアル、ソレカラ尙ホ、家ノ賣買ナドガアリマシタ場合ニハ課稅ハアル譯デアリマス、デアリマスカラ、サウ云フ方法デ取締ルダケ取締ルト申シマスカ、ト云フ以外ニハ實ハ道ハナイト思ヒマス

○森(三)委員 取締ル以外ニ方法ガナイト仰シヤイマスガ、甚ダ心細イ御話デ、幾ラ取締ツテモ、取締レバ取締ル程益、騰貴シテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、之ニ對シテハ根本的ナ御處置ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス
私ハ又特別和議法ノ問題ニ入りマスガ、其ノヤウニ家屋ナンカハ實際ドンシ騰ツテ居ル、ダカラ債務者ガ本當ニ誠意ヲ以テ債務ヲ清済シテ、尙且餘リガアルヤウナ場合デモ、特別和議法ト云フヤウナモノガ出來タ爲ニ、軍需補償ノ打切、或ハ此ノ特別和議法ガ出來タト云フコト理由ニシテ債權者ヲ踏倒スト云フヤウナコトデアリマス、一層今日ノ經濟界ヲ混亂サス原因

ニナリハセヌカト私ハ考ヘテ居ルノデス、隨テ此ノ特別和議法ノ適用ニ當リマシテモ、司法省ハ慎重ナル御處置ヲ以テ臨マレタイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、御所見ハ如何デアリマセウカ
○奧野政府委員 御説ノヤウニ、十分ニ支拂ノ能力ノアルニモ拘ラズ特別和議法ニ藉コシテ債務ヲ免脱ハ免レヤウト云フ場合ニハ、勿論先程申シマシタヤウニ、其ノ申立ハ棄却スベキモノデアルト云フ見解ヲ抱イテ居ルノデアリマシテ、實ハ關係方面ト此ノ問題ニ付テ折衝ノ際モ、サウ云ツタヤウナ話合ニナツテ、サウ云フ方針デ行クコトニ致シテ居リマス

○森(三)委員 餘リ諄ク御尋ネ致シマセヌガ、特別和議法ハ一定ノ期間ト云ヒマスガ、整理ガ済ミマシタラ廢止ナル積リデセウカ、或ハ又相當期間存續スベキモノデゴザイマセウカ、私ハ一定ノ處理ガ付イタナラバ、須ク、斯ウシタ屋上屋ヲ架スルヤウナ、特別法ノ特別法ト云フヤウナ氣ガ致シマス法律ハ、撤廢ナサルノガ宜イデヤナイカト思ヒマスガ如何ナモノデゴザイマスカ
○奧野政府委員 是ハ今同ノ戰時補償打切ニ關スル特別措置ニ關聯シタ特別和議法デアリマスカラ、サウ云フコトノ影響ガナクナツタ時ニ於テハ此ノ特別法ハ廢止シテ一般法ニ復歸スル積リデアリマス

○森(三)委員 最後ニセウツ御伺ヒ致シマス、時期ハサウシタ處理ガ濟ンダト認定サレル客觀的ナ情勢ガ出來ルマデ此ノ法律ヲ置イテオクト仰シヤル意味デセウカ、ソレトモ又今後三年ナ

ラ三年、或ハ二年ト云フヤウナ見透シヲ以テ適當ナ時期ガ來タラ之ヲ廢止スルト云フヤウナ意味デゴザイマセウカ、之ヲ御尋ネシタイト思ヒマス
○奧野政府委員 現在ノ所ハ何年ト云フ確定ノ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、唯補償打切ニ伴ヒマシテ、例ヘバ企業再建整備法等ニ依ツテ其ノ債權ヲ打切り、ソレニ又關聯シテ個人ノ資産關係ニ影響ヲ及ボスト云フヤウナ爲ニ此ノ特別和議法ガ制定セラレルニ至ツタノデアリマスカラ、サウ云フ各金融機關企業ノ整備ノ進行度合ヒト云フヤウナモノトモ非常ニ關係ガアリマスノデ、豫メ五年トカ三年トカ云フ見透シヲ付ケルコトハ稍、困難デハナカラウカ、要スルニ今回ノ特別措置ニ關シタ事務ガ總テ安定致シマシタ點ニ於テハ、成ベク早く此ノ特別法ヲ廢止シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○森(三)委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○本多委員長 喜多橋治郎君
○喜多委員 私ハ財産稅ニ付キマシテ主トシテ大藏大臣ニ御質問中上ゲタイト存ジマス、財産稅ニ依リ生産ヲ阻害シ産業ヲ萎縮セシメル虞レナキヤ、現下「インフレ」防止ト産業日本再建ノ第一策ハ生産ノ圓滑、振興ヲ急速ニ實現セシメルコトニアルノデアリマスガ、今回ノ財産稅徵收ニ依リマシテ生産ハ著シク阻害セラレ、産業全般ヲ萎縮セシメル結果ニナルノデアリマスルガ、之ニ對處スル政府ノ施策ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス、特ニ私ハ個人經營ノ中小商工業者ニ致シマシテ、營業諸設備又ハ營業必需物資ヲ賣ツテ納稅ヲシナクテハナラナイヤ

ウナ立場ニアル者モ相當アルノデハナ
カラウカト思ヒマス、起上ラントスル
中小商工業者ノ芽ヲ摘ミ取ルコトナ
リ、政府ガ議會ニ於テ屢々言明サレテ
居リマス中小商工業者救済方針ヲ根本
的ニ空手形トシ、引イテハ國民ノ政府
信頼ヲ喪失スル虞アリト思惟スル者デ
アリマス、經濟ノ強靱ナル再建ノ爲メ
財産稅ハ已ムヲ得又措置ナリトスレ
バ、之ニ依リ中小商工業及ビ産業全般
ニ互リ全體ヲ萎縮セシメズシテ、併セ
テ中小商工業者ト法人經營者トノ不均
衡ナル點ガ多アルト思フノデアリマ
シテ、之ニ十分ノ考慮ヲ入レタル政府
ノ確乎タル所信ヲ此ノ際特ニ國民ニ明
示スル要アリト思考スル者デアリマ
ス、此ノ點ニ對シマシテ太藏大臣ノ所
見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○石橋國務大臣 個人經營デ仕事ヲヤ
ツテ居ル人ハ其ノ個人ノ總テガ財産ニ
ナツテ居リマス、事實財産デアリマス
カラ財産稅ヲ課セラルルノデアリマ
ス、ソコデ問題ハ其ノ財産稅ヲ納メ
爲ニ折角ヤツテ居ル事業ヲ賣ツテ拂
ナケレバナラスト云フヤウナコトガ起
リマス、其ノ事業ノ經營ニ支障ヲ來
ス、隨テ生産ヲ阻害スルト云フ懸念ハ
確カニアリマス、ソコデ政府ト致シマ
シテハ左様ナコトガ起ラナイヤウニ此
ノ財産稅ノ納付ノ場合ニ付テハ特別ノ
何等カノ處置ヲ講ズル積リデアリマス
○喜多委員 特別ノ處置ト云フコトニ
付キマシテ具體的説明ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○石橋國務大臣 是ハ尙ホ具體的ニ色
色考案ガアラウカト思ヒマスガ、例ヘ
バ今私ガ此處デ考ヘテ居リマスコトハ
例ヘバ金融ヲスル、財産稅等ニ付テノ

金融ハシナイト云フコトハ前ノ方針
デ、ソレハ其ノ時ノ財産稅ノ性質上、
サウアツタノデアリマスガ、ドウモサ
ウ云フ點ニ於テ何等カノ途ヲ開ク必要
ガアリマス、是ハマダ色々考究シテ居
リマシテ、何ヲスルカト云フコトハ決
マツテ居リマセヌガ、マア一例ヲ申セ
バ左様ナコトヲ致シマス

○喜多委員 時間ノ關係モアリマスカ
ラ、簡單ニ御伺ヒ致シマス、一寸事務
的ニ……財産稅ノ納付ニ對シマシテ、
他人ノ第一封鎖ノ金ヲ借用スルコトガ
出來ルカドウカト云フコトヲ御聽キ致
シタイ

○池田(男)政府委員 他人ノ第一封鎖
ノ借用ガ出來ナイトハ申上ゲ兼ネマ
ス、ソレハ其ノ方ガ自分ノ生活資金ト
シテノ第一封鎖ヲ引出シテ、財産稅納
稅義務者ニ御貸シニナルノハ自由ト思
ヒマス、併シ他人ノ財産稅ヲ納メル爲
ニ貸スノコト云フ理由デハ、第一封鎖
ヲ解イテ與レナイト思ヒマス

○喜多委員 デハ三月三日以後ニ於テ
買入レタ公債社債等ニ依リ財産稅ヲ納
入スルコトガ出來マスカ、納入スルコ
トガ出來ルトスレバ、特別ノ評價ヲ以
テセラルルノデアリマスカ、御伺ヒ致
シマス

○池田(男)政府委員 凡ユル財産ハ課
稅ノ對象デゴザイマスカラ、營業權
モ、或ハ借地權、色々無體財産權モ
課稅ノ對象ニナルト思ヒマス、唯其ノ
時ノ評價ニ付キマシテハ、個々ノ無體
財産權ヲ調査シナケレバ、ドウ云フ標
準デ行クト云フコトハ只今ノ所申上ゲ
兼ネルノデゴザイマス

○喜多委員 第四ニ戰時補償打切ニ該
當セザル特殊預金ガアルヤウデアリマ
スガ、之ニ對シマシテハ企業資金措置
令ノ廢止ニ依リマシテ解除ニナル關係
上、第一封鎖或ハ第二封鎖ニ相成ルノ
デアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○渡邊(喜)政府委員 戰時補償特別課
稅ノ對象ニナリマセヌ特殊預金ハ戰時
補償特別課稅ノ課稅ノ仕事ガ一段落ト言
ヒマスカ、一應ノ日途ガ付キ次第、通
常ノ預金ト同ジヤウニ、第一封鎖、第
二封鎖ガナイ前ノ封鎖預金ト同ジヤウ
ニ扱フ、隨ヒマシテ其ノ方ノ御持チニ
ナツテ居ル預金ノ高ニ依リマシテ、例
ヘバ外ノ封鎖預金ト併セマシテ、一萬
五千圓以下デアレバ第一封鎖ニナル、
ソレ以上デアレバ第二封鎖ニナル、サ
ウ云フコトニナラウト思ヒマス

○喜多委員 次ニ、財産稅ノ申告納稅制
ハ不正申告ヲ助長スルモノト思惟スル
ノデアリマスガ、是ノ防止ニ關スル政府
ノ所見ヲ御伺ヒシマス、申告納稅制ハ
稅制ノ民主化トモ見ラレ、我々ノ理想ト
モスル所デアリマスガ、之ヲ施行スル上
ニ於テハ、國民ノ良心的態度ニ俟タネ
バナラヌコトハ勿論ダガ、此ノ惡用ヲ圖
ル惡質者モ相當アルモノト考ヘラレル
ノデアリマス、政府ハ之ヲ法規ヲ以テ
處斷スル方針ノヤウデアリマスガ、正

直者ガ何時モ馬鹿ヲ見ル結果トナラザ
ルヤウ嚴重ニ取締リ得ル確信ガアルノ
デアリマスルカ、又家庭動産等正確ナ
ル評價基準ヲ示サナクテハ不測ノ問題
ヲ惹起スル虞ガアルノデハナカラウカ
ト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテ政府
ノ用意ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○池田(男)政府委員 今回財産稅ニ新
タニ申告納稅制ヲ採用致シマシタ、是
ハ稅ノ民主主義化ノ第一歩ト私ハ考ヘ
テ居リマス、隨ヒマシテ從來ノ取扱ヒ
トハ餘程變ツテ居リマスノデ、初メテ
ノコトデ不安内ノ爲ニ色々問題ガ起
ルト思フノデアリマスガ、稅務當局ト
致シマシテハ飽クマデ誠實ナ申告ヲ期
待致シテ居ル次第デゴザイマス、若シ
其ノ間ニ不正ノ申告ガナサレルヤウナ
場合ニハ、之ニ對シマシテ相當罰則或
ハ稅額加算ノ規定ヲ置キマシテ、不正
申告ノ防止ニ努メテ居リマス、尙ホ非
課稅ニ致シマスル日常必要ナ家具什器
等ニ對シマシテハ、特別ノ考案ヲ設ケ
マシテ、所謂平均的ニ一定額ヲ課稅ノ
對象トスルト云フ風ナ規定ヲ置キマシ
テ、納稅者ノ申告ニ便利ナヤウナ方法
ヲ採用致シテ居ル次第デゴザイマス

○喜多委員 之ニ關聯ヲ致シマシテ第
三者ノ通報制ニ付テ御意見ヲ承リタイ
ト思ヒマス、他人ノ脫稅ヲ發見致シマ
シテ政府ニ報告シタ者ガ相當ノ報酬ヲ
受ケ得ルコトニナツテ居リマス、且ツ虛
偽ノ報告ニ對シテハ又相當ノ罰則ガ設
ケラレテ居ルヤウデアリマス、併シ之
ヲ口實ニ他人ノ住宅等ヲ搜索スル虞ハ
ナイカト思フノデアリマス、隱匿物資
ノ搜索ノ例ニ鑑ミマシテモ特ニ考慮ヲ
要スベキ問題デヤナイカト考ヘマシ
テ、此ノ點ニ關シマシテ政府當局ノ御

所見ヲ承リタイト思ヒマス

○池田(男)政府委員 申告書ヲ提出シ
ナカッタカ、或ハ課稅價格ニ脱漏ガ
アツタヤウな場合ニ付キマシテハ、御
話ノ通りニ第三者カラノ通報ヲ認メテ
居リマス、此ノ際ニ其ノ第三者ガ不法
ノ行爲ニ依リマシテ他人ノ納稅者ノ住
宅ヲ荒ラスト云フ風ナコトガアリマシ
タラ、一般刑法ノ處罰ヲ受ケル譯デゴ
ザイマス、又財産稅法ニ於キマシテ
モ、不法ノ行爲ニ依リマシテ知ツタ事
實ヲ通報シタ場合ニ於キマシテハ報償
金ハ與ヘナイコトニナツテ居リマス、
又誣告ニ對シマスル處罰モ一般刑法ヨ
リモ重ク致シ、不當ノ通報ヲナイヤウニ
努メテ居ル次第デゴザイマス

○喜多委員 財産調查委員會ノ形成方
法ハ、納稅者ノ選舉ニ依ラズシテ政府
ノ任命スル方法ニナツテ居ルヤウデア
リマスルガ、是ハ民主主義ニ反スル考
ヘデヤナイカト存ジマスノデ、此ノ理
由ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○池田(男)政府委員 從來租稅ノ決定
ニ付キマシテハ、納稅者ノ選舉セラレ
タ委員ニ依ツテ委員會ヲ構成シ、稅務
當局ガ之ニ諮問致シマシテ決定スルコ
トニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、
此ノ稅ヲ査定スル場合ニ、納稅者カラ
選ンダ人ガ其ノ自分等ノ稅ヲ査定スル
ト云フコトハドウモ理論的ニハビツタ
リ來ナイ氣持ガ致スノデアリマス、隨
ヒマシテ、納稅者カラ選出スルト云フ
方法ヲ探ラズニ、一般ノ方々カラ適當
ナ人ニ出デ戴キマシテ、サウシテサウ
云フ方々ニ依ツテ審議シテ戴ク方ガヨ
リ一層民主的ダト考ヘマシテ、今回ハ
納稅者カラ調查委員會ヲ選舉セズ、政府
ガ適當ナ方ヲ任命致シマシテ、サウ云

フ方々ニ御審議ヲ願フコトニ致シテ居
ルノデゴザイマス

○喜多委員 時間モアリマセヌカラ、
私ノ質問ハ是デ打切りマス

○本多委員 澁谷昇次君
○澁谷委員 私人質問ハ重複スルヤウ
デスガ、政府ノ方ノ御答辯ガ明確デナ
イノデモウ一應伺ヒタイと思ヒマスガ、

明確ニ言フテ戴キ質問ハ直グ簡單ニ
済ミマス、戦時利得税ヲ財産増加税ヲ
變更シテ理由ハドウ云フ譯デアリマス

カ、戦争中ニ随分儲カッタ人モアレ
バ、軍ト結託シテ財産ノ増加ガ相當
ツタモノモアリマス、ソレニ對シテハ

全然課税ヲシナイデ之ヲ一括シテ財産
税デ取ルト云フコトニ變更ナサツタ
ハ如何ナル理由デアリマスカ、先程御

答辯ガアリマスガ、此ノ點ガドウモ
明確デナイヤウデスカラ、改メテ大藏
大臣ニ伺ヒタイと思ヒマス

○池田(勇)政府委員 先程私ガ其ノ問
題ニ付キマシテ答辯致シマスノト、
又廢メマシタ理由ニ技術的ノ點ガアリ

マスノデ、私カラ御答辯申上ゲマス、
財産税ガ、財産増加税ハ法人戦時利
得税ヲ考ヘマシタ時ハ、軍需補償打切

ノ考ヘ方ヲ持ツテ居ラナカッタノデア
リマス、今回ハ軍需補償打切ト此ノ財
産税ノ二ツデ大體戦時利得ハ排除セラ

レルモノト考ヘマスノト、モウ一ツ
ハ、今ノ經濟社會狀態トシマシテ、ア
レダケノ税法ヲ早急ニ施行致シマシテ

效果ヲ現ハスコトハ非常ニ至難ダ、殆
ド困難ダ、此ノ二點カラ、財産増加税
或ハ法人戦時利得税等ヲ廢メテ次第

デゴザイマス
○澁谷委員 ソレデハ、戦争中ニ軍ト
結託シテ随分儲カッタ財産等ニ付テハ

何等手ヲ加ヘナイ、斯ウ云フ譯デアリ
マスカ、技術上出来ナイカラ手ヲ加ヘ
ナイト云フ譯デアリマスカ

○池田(勇)政府委員 今回政府カラ提
案致シテ居リマス戦時補償特別税並ニ
此ノ財産税ニ依リマシテ、戦時中特ニ

儲ケラレタ方ノ戦時利得ハ殆ド徴收出
來ルト考ヘテ居リマス
○澁谷委員 ドウ云フ譯デソレガ包括

サレテ取レルカト云フコトヲ御説明願
ヒタイノデアリマス
○池田(勇)政府委員 戦時中非常ナ儲

ケラセラレタ人ハ此ノ戦時補償特別税
ノ課税ノ對象ニナル場合ガ多ウゴザイ
マス、又此ノ財産税ノ税率ハ、先般政

府ガ考ヘテ居リマシタノ個人財産税
ノ税率ヨリモ餘程強クナツテ居リマ
ス、ソレハ個人財産増加税ノ税率ヲモ

考ヘニ入レマシテ今回ノ財産税法ノ税
率ヲ盛ツタ次第デゴザイマスカラ、此
ノ財産税法ノ税率ヲモチ、又一方ニ

戦時補償特別税ヲ施行サレバ、先程
申上ゲマシタヤウニ戦時利得者ハ徹底
的ニ排除セラレルト考ヘテ居リマス

〔委員長退席、石原委員長代理著
席〕
○澁谷委員 ドウモ少シ説明ガ附ニ落

チナイ點ガアリマス、或ハ私ノ不勉強
デサウ云フコトニナルノカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角、軍需補償打切ニ伴ツテ

其ノ税金取ルト仰シヤイマスケレド
モ、ソレ以外ニ相當マダ殘ツテ居ルト
思ヒマス、キウ云フ人ガ殆ド今日ノ新

圓銀ギヤ閣屋ノ大體中心ニナツテ居
ル、問題ハソレ等ニ對スル課税ガドウ
云フヤウニナルカト云フコトノ方針ガ

決マレバ、斯ウ云フ問題ガ割合ニ公平
ニ行クノデヤナイカ、斯ウ思ヒマス、
其ノ點ハドウモ明確ナル御答辯ガ得ラ

レマセヌカラ、モウ答ヘテ貰ハナクテ
モ宜シウゴザイマス、ソレカラ財産税
ノ目的ヲドウ云フ譯デ此ノ法文ノ中ニ

明記シナカッタカト云フコトニ付テ御
伺ヒマス
○池田(勇)政府委員 財産税法提案

理由書ニハツキリ謳ツテ居リマス
○澁谷委員 私人質問シタコトハ、此
ノ理由書ニ書イテアルト云フコトヲ答

辯ヲ求メタ譯デヤナイノデアリマシ
テ、私ガ質問シテ居ルコトヲ能クアナ
タ聽イテカラ御答ヘ願ヒタイ、法文ノ

中ニナゼ明記シナイカト云フコトヲ質
問シタノデス
○池田(勇)政府委員 從來ノ法文ハ概

ネ其ノ理由ヲ書イテ居ナイノヲ通常
ト致シテ居リマス、財産税法、特ニ
今回ノ戦時補償特別措置法ニ付キマシ

テモ、其ノ他一聯ノ法律ニハ此ノ法
律ヲ施行スル目的ヲ書イタ條文ハナ
イノヲ通例ト致シテ居リマス、戦時中

御話ノ通りニ國家總動員法等ニ依リマ
シテ目的ヲ書イタ場合モナキニシモア
ラズデゴザイマスガ、ズツト過去カラ

通ジテ見マシテ、提案理由書ニ其ノ法
案ノ目的ヲ書キマシテ、條文ニハ入レ
ナイノヲ通常ニ致シテ居ルノデゴザイ

マス
○澁谷委員 私人重要ヲ法律ダカラ明
文ヲ書イタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ思
ツタ譯デアリマス、私ハ更ニ無形財産

ニ對スル評價ハ如何ナル調査委員會デ
決定スルカト云フコトヲ御尋ネシタイ
ト思ヒマス
○池田(勇)政府委員 無形財産權ニ付

キマシテハ個々ノ財産ニ付キマシテ評
價ヲ考ヘテ行キタイと思ヒマス、飽マ
デ其ノ權利ノ客觀的財産價值ヲ見出シ

タイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○澁谷委員 先程政府カラ御説明ガア

リマシタ四百三十五億ノ財産税ヲ御取
リニナラウト云フ基礎ノ中ニ、計算ノ
概要ノ中ニ、無形ノ財産權ニ對スル徴

收ハドノ位御見積リニナツテ居ルノデ
スカ
○池田(勇)政府委員 個人ノ無形財産

權ヲ一億三千萬圓ニ見積ツテ居リマ
ス、是ハ從來相續税ニ於キマシテ大體
相續財産ニ入ツテ居リマシタ無形財産

權ヲ全體ノ相續財産ニ對シマシテノ割
合ヲ求メマシテ、サラシテ今回モサウ
云フ方法デ一億三千萬圓ト見積ツテ居

ル次第デゴザイマス
○澁谷委員 本法律案デハ漁業權等ニ

モ課税スルコトニナツテ居ルヤウデア
リマスガ、個人ノ持ツテ居ル漁業權ガ
約一萬六千位アルデヤナイカト思ヒマ

スガ、ソレ等ニ付テドウ云フ方法デ課
税ヲナサラウト云フ御考ヘデアリマ
スカ
○池田(勇)政府委員 先般農村委員會カ

ラノ御質問ニ對シマシテ一應答ヘテ置
キマシタ、是其ノ漁業權ガ貸付ケサ
レテ居ル場合ニハ、貸付料カラ其ノ價

値ヲ判斷シマス、又貸付ケテ居ラズ
ニ、自分ガ其ノ漁業權ヲ行使致シテ居
リマス場合ニハ、其ノ所得ヲ見マシテ、

通常ノ生ズベキ所得以上デアツタ場合
ニ、其ノ超過部分カラ其ノ漁業權ヲ
評定致シタイト考ヘテ居リマス

○澁谷委員 財産税法ノ第二十五條ニ
於テ、一定ノ倍數ヲ乘ジテ行クト云フ
コトガアリマスガ、私ハ大體此ノ一定

ノ倍數ト云フモノハ、若シ出来テ居タ
ラ御發表シテ戴キタイト考ヘルノデア
リマス、更ニナゼ倍數ヲ發表シタラ宜

イカ、斯ウ言ヒマス、大體貸付價格
トカ其ノ他取引價格ヲ參照シテ其ノ基
礎ハ決定スル譯デアリマス、其ノ決定

隨テ評價委員會等デ御決メニナルモノ
ハ、其ノ基礎トナルベキ價格ヲ決定ナ
サレバ宜イノデアツテ、寧ロ法律ニ於

テハ、其ノ倍數ト云フモノハ一定ニ明
記スルノガ至當デアル、ソレヲ國民ノ
前ニ示シテ戴キタイ、隨テ一定ノ倍

數ト云フモノガアツテ、其ノ掛ケル所
ノ基礎ヲ評價委員會デ決定スル、斯
ウ云フコトニシタ方ガハツキリシテ

宜シイノデハナイカ、サウ云フコトニ
依ツテ概算的ニモ徴收サルベキ所ノ見
透シガ付キ得ルノデハナイカ、斯ウ考

ヘルノデアリマス、ソレニ對シテモウ
一度政府ノ御考ヘヲ御説明願ヒタイト
思ヒマス
○池田(勇)政府委員 此ノ點ニ付キマ

シテハ、午前午後十分御説明申上ゲタ
ト思フノデゴザイマスルガ、タツテノ
御質問デゴザイマスルカ簡單ニ申上

ゲマス、是ハ土地建物ノ一般取引價格
ト云フモノハ全國非常ニ區々デゴザイ
マス、而シテ家屋ナリ土地ナリノ貸賃

價格ハ法定デ決マツテ居リマス、隨テ
取引價格ガ各土地、各種目毎ニ違ツテ
居リマスノデ、此ノ倍數ヲ法律デ書ク

譯ニハ技術的ニ不可能デゴザイマス、
隨テ一般標準トナル土地ノ取引ノ價格

サレタ基礎ノ上ニ一定ノ倍數ヲ掛ケル
ノデスガ、此ノ倍數ト云フモノダケハ
決メテ發表サレテ置カナイト、其ノ倍

數ヲ増減スルコトニ依ツテ、政府ガ仰シ
ヤル通り成程四百三十五億ト云フモノ
ハ確實ニ取リ得ルト云フコトハ當然デ

アルト思ヒマス、要スルニ此ノ法案ノ
一番ノ「インチキ」性ト云フノカ、幾ラ
デモ取レルカラクリト云フモノハ、此ノ

一定ノ倍數ト云フ所ニアルト私ハ思フ
〔石原委員長代理退席、委員長著
席〕
隨テ評價委員會等デ御決メニナルモノ

ハ、其ノ基礎トナルベキ價格ヲ決定ナ
サレバ宜イノデアツテ、寧ロ法律ニ於
テハ、其ノ倍數ト云フモノハ一定ニ明

記スルノガ至當デアル、ソレヲ國民ノ
前ニ示シテ戴キタイ、隨テ一定ノ倍
數ト云フモノガアツテ、其ノ掛ケル所

ノ基礎ヲ評價委員會デ決定スル、斯
ウ云フコトニシタ方ガハツキリシテ

宜シイノデハナイカ、サウ云フコトニ
依ツテ概算的ニモ徴收サルベキ所ノ見

透シガ付キ得ルノデハナイカ、斯ウ考
ヘルノデアリマス、ソレニ對シテモウ
一度政府ノ御考ヘヲ御説明願ヒタイト

思ヒマス
○池田(勇)政府委員 此ノ點ニ付キマ

シテハ、午前午後十分御説明申上ゲタ
ト思フノデゴザイマスルガ、タツテノ
御質問デゴザイマスルカ簡單ニ申上

ゲマス、是ハ土地建物ノ一般取引價格
ト云フモノハ全國非常ニ區々デゴザイ
マス、而シテ家屋ナリ土地ナリノ貸賃

價格ハ法定デ決マツテ居リマス、隨テ
取引價格ガ各土地、各種目毎ニ違ツテ
居リマスノデ、此ノ倍數ヲ法律デ書ク

譯ニハ技術的ニ不可能デゴザイマス、
隨テ一般標準トナル土地ノ取引ノ價格

サレタ基礎ノ上ニ一定ノ倍數ヲ掛ケル
ノデスガ、此ノ倍數ト云フモノダケハ
決メテ發表サレテ置カナイト、其ノ倍

數ヲ増減スルコトニ依ツテ、政府ガ仰シ
ヤル通り成程四百三十五億ト云フモノ
ハ確實ニ取リ得ルト云フコトハ當然デ

アルト思ヒマス、要スルニ此ノ法案ノ
一番ノ「インチキ」性ト云フノカ、幾ラ
デモ取レルカラクリト云フモノハ、此ノ

一定ノ倍數ト云フ所ニアルト私ハ思フ
〔石原委員長代理退席、委員長著
席〕
隨テ評價委員會等デ御決メニナルモノ

ハ、其ノ基礎トナルベキ價格ヲ決定ナ
サレバ宜イノデアツテ、寧ロ法律ニ於
テハ、其ノ倍數ト云フモノハ一定ニ明

記スルノガ至當デアル、ソレヲ國民ノ
前ニ示シテ戴キタイ、隨テ一定ノ倍
數ト云フモノガアツテ、其ノ掛ケル所

ノ基礎ヲ評價委員會デ決定スル、斯
ウ云フコトニシタ方ガハツキリシテ

宜シイノデハナイカ、サウ云フコトニ
依ツテ概算的ニモ徴收サルベキ所ノ見

透シガ付キ得ルノデハナイカ、斯ウ考
ヘルノデアリマス、ソレニ對シテモウ
一度政府ノ御考ヘヲ御説明願ヒタイト

思ヒマス
○池田(勇)政府委員 此ノ點ニ付キマ

シテハ、午前午後十分御説明申上ゲタ
ト思フノデゴザイマスルガ、タツテノ
御質問デゴザイマスルカ簡單ニ申上

ゲマス、是ハ土地建物ノ一般取引價格
ト云フモノハ全國非常ニ區々デゴザイ
マス、而シテ家屋ナリ土地ナリノ貸賃

價格ハ法定デ決マツテ居リマス、隨テ
取引價格ガ各土地、各種目毎ニ違ツテ
居リマスノデ、此ノ倍數ヲ法律デ書ク

譯ニハ技術的ニ不可能デゴザイマス、
隨テ一般標準トナル土地ノ取引ノ價格

七五

ヲ見、ソレト賃貸價格ト比較シテ、サウシテ標準トナルベキ土地賃貸價格ニ對シテ何倍ダ、斯ウ云フ倍數ヲ求メマシテ、其ノ倍數ハ政府ト致シマシテハ、東京都ナラ區、市、區、郡別ニ最高、最低、中庸ノ倍數ヲ決メマシテ、サウシテソレヲ官報デ公示致シマス、個々ノ納税者ニ付キマシテハ各市町村役場ニ、何村大字何番地ノ田ハ何倍デスト云フコトヲ公表致シマス、斯ク致シマスコトガ評價ニ適正ヲ期シ、又申告ニ便利ダ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○澁谷委員 私ノ御伺ヒシヨウト思ヒマスコトハ、サウ云フ説明ハ先程伺ツタノデ能ク分ツテ居ル譯デアリマス、其ノ評價ノ基礎トナルベキモノハ、アナタガ今仰セノヤウニ御決メニナツテ其ノ倍數ト云フモノハ一定ノ標準ヲ決メラレ得ルモノト考ヘルノデゴザイマス、隨テ其ノ掛ケル方ニナルモノハ、ソレハ個々ニ決定スレバ宜イノデアツテ、倍數ト云フモノハ一定ノ基準ヲ持ツテ居ツテモ宜イノデハナイカト思フノデスガ、此ノ點ハ如何デスカ

○池田(男)政府委員 取引價格ガ決マツテ倍數ガ出ルノデゴザイマス、倍數ガ出テ取引價格ガ決マルノデハゴザイマセス、隨テ取引價格ヲ決メ、既ニ決マツテ居ル賃貸價格トノ倍數ヲ見テ他ノ財産ノ評價ノ基準ニスル、斯ウ云フ建前デゴザイマス

○澁谷委員 財産稅ヲ四百三十五億圓徵收スルト申シマスガ、其ノ時期ニ付テハ大體此ノ年度内ニ御取リニナル豫定デアリマスセウカ

○池田(男)政府委員 財産稅ハ昭和二十一年度中ニ徵收致シタイト考ヘテ居

リマス

○澁谷委員 今マデ稅率ニ付テ政府カラ御答辯ガアリマシタガ、例ヘバ一億ノ財産ヲ持ツテ居ル者ト、十億ノ財産ヲ持ツテ居ル者トガ、同一ニ千五百萬以上ハ百分ノ九十ト云フコトデアリマスガ、財産稅ヲ取ラレタ後ニ殘餘財産ト云フモノヲ比較致シマス、例ヘバ十億アル人ハ一億圓殘リ、更ニ千五百萬圓ノ者ハ約一割マデ殘リ譯デ、ソレノ比較ハ尙ホ大キナ所有ノ差ニナル譯デアリマス、果シテソレ等ガ富ノ均衡ト云フ此ノ法案ノ目的ニ合致スルカドウカ、隨テ私ハモットソレ等ニ對シテ數字ヲ分ケテヤラナケレバイケナイト考ヘマス、更ニ此ノ稅率ヲ十萬圓ヲ超エル金額ヲ百分ノ二十五、十一萬圓ヲ超エル金額ハ百分ノ三十ト何故ニ此ノ「パーセンテージ」ヲ決メタカト云フコトノ基礎ガアツタラ御伺ヒシタイ

○池田(男)政府委員 最高稅率ヲ千五百萬圓ヲ超エル金額ニ對シマシテ百分ノ九十二ニ致シマシタノハ、千五百萬圓ヲ超エル財産家ノ數其ノ他財産金額ヲ見マシテ、此ノ程度デ適當ナリト考ヘタ次第デゴザイマス、次ニ十萬圓ヲ超エル金額ヲ百分ノ二十五トシ、其ノ間ノ差ヲ一萬圓ニシテ、十三萬圓マデ行ツテ居ル、從來ノ所得稅等ノ財産稅率トハ盛リ方ガ可ナリ違フデハナイカ、斯ウ云フ御質問ト思ヒマス、實際今マデノ稅率ノ盛リ方トハ違ヒマス、是ハ十萬圓ト云フモノヲ免稅點ニ抑ヘマシテ、而モ二十萬圓、三十萬圓、五十萬圓ノ方ニ相當ノ納稅率シテ戴ク爲ニハ、斯ウ云フ恰好ノ方ガ稅收ヲ期待シ得ルノデゴザイマス

○澁谷委員 財産ノ評價ト免稅點ト云フモノハ、常ニ並行シテ行カナケレバナラスト思ヒマス、隨テ評價委員會ニ於テ財産ノ評價ヲ時價デ可ナリ上ゲタ場合ニハ、更ニ免稅點ヲ十萬圓カラソレ以上ニ上ゲルト云フ御考ヘハゴザイマセスカ

○池田(男)政府委員 此ノ法案ガ通リマシタラ財産稅法デ最モ重大ナル免稅點ヲ政府ガ曳ヤスルコトハ出來マセス、又御話ノ如ク評價ト云フモノハ中々評價委員會ガ勝手ニ出來ルモノデハナイト思ヒマス、ヤハリ公正妥當ナ評價ト云フモノハ一ツデナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○澁谷委員 ソレナラバ何故ニ十萬圓ト云フ免稅點ヲ大體原案デ決メテ、更ニ徵收不可能ナラバ五萬圓ニスルノダト云フコトヲ御説明ニナツタカ

○池田(男)政府委員 此ノ點ハ大藏大臣ガ先程御述ベニナリマシタ通りデゴザイマス、我々ト致シマシタ通り四百三十五億圓ノ收入ハ確實ト考ヘテ居リマスガ、併シ萬が一ニモ著シク不足スルヤウナ場合ニハサウ云フコトヲ考ヘルコトアルベシト云フノデゴザイマシマシテ、此ノ法案ガ通リマシレバ、之ニ依ツテヤリマシテ、五萬圓以上十萬圓以下ノ方カラ徵稅スルヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス

○澁谷委員 其ノ場合ニハ政府ハ修正案ヲ御出シニナル用意ガゴザイマスカ

○池田(男)政府委員 新ナナル法律ヲ提案致シマシテ、皆樣方ノ御審議ヲ願フコトニナルノデゴザイマス

○澁谷委員 私ハ大藏大臣ガ「チャート」案ニ對シマシテ勇取ニ闘ツタコトヲ聽イテ居リマスガ、大藏大臣ハ何故ニ戰爭ノ爲ニ裸ニナツタ國民、更ニ外

地ニ居リマシタ數百萬ノ人達ハ丸裸デ歸ツテ來テ居ルノニ對シテ、國內ニ財產ヲ所有シテ居ル者ヲ擁護セシガ爲ニ、内閣ノ生命ヲ賭シテ闘ハレタト云フコトガ、如何ニモ持テル者ニ對シテハ非常ニ篤イ政治ヲヤツテ居リナガラ、斯様ニ戰爭ノ爲ニ犧牲ニナツタ者、或ハ戰爭デ裸ニナツタ者ニ對シテハ左程篤イ政治ヲオヤリニナツテ居ラヌト云フコトニ對シテ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 アナタノ仰シヤルコトハ全然誤リデスカラ、之ニ對シテ何等ノ所見ハアリマセス

○澁谷委員 如何ニ誤リデアルカ分リマセスガ、兎ニ角持テル者ト持タザル者ノ均衡ハ今日ノ日本ノ狀態ニ於テ爲政者ノ方々ガ見ラレル通りデアリマシテ、而モ此ノ稅率ニ於テモ、非常ニ苛酷ダト云フコトガ言ハレテ居リマスガ、敗戰ニナリマシタ諸國ノ現狀ヲ見マスルナラバ、恐ラク公債其ノ他ヲ破棄同様に處理シテ居ル國ガアルノニ對シテ、少クトモ所有權ガ一千五百萬圓トカ或ハ一億トカ、サウ云フ人達ニ對シマシテ更ニ徹底シタ負擔ガ課サレテ居ナイト云フ工合ニ私ハ考ヘル譯デアリマス、隨テ私ノ考ヘルコトハ決シテ誤リデナイト私ハ考ヘテ居リマス、アナタハソレニ對シテ國民ニ濟マナイト云フコトヲ仰シヤツタノデアリマスガ、ソレナラバ私ノ考ヘテ居ルノガ見當違ヒナラバ濟マナイト云フヤウナ言ハ、私ハ出ナイ筈ダト思フ、私ノ念願シテ居リマスノハ、モウ少シ是等ノ戰爭ノ犧牲ニナツタ人達ノコトヲ主體ニシテ考ヘテ貰ヒタイト云フコトナンデアリマス、財産家ヲ擁護セシガ爲ニトハ私ハ敢テ申シマセヌガ、日本ノ國ノ財政

ヲ確立シテ、新シイ再建ノ途ヲ開ク爲ニオヤリニナツタデアリマセウケレドモ、我々ノ受ケル印象ト云フモノハ、必ズシモサウデナイヤウニ感ゼラレルノデアリマス、其ノ點ニ付テ政府ハ戰爭デ犧牲ニナツタ者ノ政策ニ對シテ、モット眞劍デナケレバナラスト考ヘル譯デアリマス、寧ろ戰爭デ犧牲ニナツタ人ニ對シテ、政府ハ生命ヲ投出シテモ闢フベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大藏大臣ハ御答辯ヲ避ケテ居ラレルヤウデアリマス

ハ思ヒマセス、裸デ外地カラ歸ツタ人ニ對シテ、國內ノ多クノ人ハ軍ト結託シテ仕事ヲシテ居ツタト云フ印象ヲ我々ハ深ク感ゼラレルノデアリマス、之ヲ此ノ軍需補償打切ノ諸法案ニ依ツテ是正シテ行カウト云フ點ニ付テ、我々ハ是デハ尙ホ未満足ダト云フコトヲ委員會ニ於テ表明シテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○農林委員 議事進行ニ付テ一 只今ノ澁谷君ノ質問ノ中ニ漁業權ニ關スル質問ガアリマシタ、是ハ一昨日私モ質問シタノデアリマスガ、其ノ際農林省政府委員ノ答辯ニ於テ未確定ナ部分ガアリマシタノデ、此ノ委員會開催中ニ於テハツキリ御答辯ヲ願フヤウニ希望シテハアルノデアリマスガ、早ク其ノ點ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、特ニ委員長ニ御願ヒ致シタイトハ、此ノ漁業權ニ付キマシテハ、個人ノ漁業權ニ對シテハ地先ノ漁業會ノ諒解ヲ得ルト云フコトニ原則ハナツテ居ルノデアリマス、最近ノ傾向ハ、地先ノ漁業會ハ個人ノ漁業權ニ對シテ諒解ヲ與ヘナイト云フ傾向ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ現在ノ免許即チハ五年毎ニ

ヲ確立シテ、新シイ再建ノ途ヲ開ク爲ニオヤリニナツタデアリマセウケレドモ、我々ノ受ケル印象ト云フモノハ、必ズシモサウデナイヤウニ感ゼラレルノデアリマス、其ノ點ニ付テ政府ハ戰爭デ犧牲ニナツタ者ノ政策ニ對シテ、モット眞劍デナケレバナラスト考ヘル譯デアリマス、寧ろ戰爭デ犧牲ニナツタ人ニ對シテ、政府ハ生命ヲ投出シテモ闢フベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大藏大臣ハ御答辯ヲ避ケテ居ラレルヤウデアリマス

更新スルノデアリマスガ、現在與ヘラ
レタ免許ノ範圍内ニ於テ財産稅ヲ評價
スルノデアリカ、今後又免許更新ニ於
テ新シク個人ニ對シテ免許ヲ下附スル
ノデアリカ、是ハ今後ニ於ケル水産業
團體ノ改革ニ付テ重要ナ根本ノ問題ニ
ナツテ居ルノデ農林大臣ノ方針ヲ伺ハ
ナケレバ、此ノ問題ハ解決セヌト思ヒ
マス、御願ヒシマス

○本多委員長 審議中ニ答辯ガアルヤ
ウニ私カラ能ク申傳ヘマス

○鈴木明委員 本日ハ是ニテ打切
リ、殘餘ノ質疑ハ明日ニサレソコトヲ
望ミマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○本多委員長 委員長ト致シマシテ
ハ、最初ニ申上ゲテ置キマシタ通り、
本日努メテ質疑ヲ繼續シテ貫ツテ終ル
豫定デ始メテ居リマスノデ、折角ノ動
議デスカ、是非モウ少シ御勉強ヲ御願
ヒ致シマス

〔動議ニ賛成ト呼ブ者アリ〕

○本多委員長 暫時休憩致シマス
午後四時五十九分休憩

午後五時二十分開議

○本多委員長 休憩前ニ引續イテ會議
ヲ開キマス、議事ニ付テ申上ゲマス、
「帝國鐵道會計又は通信事業特別會計
における昭和二十一年度の經費支辨の
ための借入金等に關する法律案、復興
金融庫及び産業復興營團出資拂込金
支辨のための公債發行に關する法律
案、及び自作農創設特別措置特別會計
法案」、此ノ三法案ガ本日新タニ本委
員會ニ併託セラレマシタノデ、之ヲ一
括シテ議題ニ加ヘマス、此ノ際以上ノ
三法案ニ付テ政府側ノ説明ヲ願ヒマ
ス——上塚政府委員

○上塚政府委員 本委員會ニ併託サレ
マシタ「帝國鐵道會計又は通信事業特
別會計における昭和二十一年度の經費
支辨のための借入金等に關する法律
案」外二件ニ付キ、其ノ提案ノ理由ヲ
申上ゲマス

先ヅ「帝國鐵道會計又は通信事業特
別會計における昭和二十一年度の經費
支辨のための借入金に關する法律案」
提出ノ理由ハ、本會議ニ於テ申上ゲマ
シタ通りデアリマシテ、政府ハ兩會計
ニ於ケル收支ノ狀況ニ顧ミマシテ、鐵
道運賃ノ値上げ、通信料金ノ値上げヲ
行ヒ、事業收入ノ増加ヲ圖ル等、兩事
業ノ經營ノ合理化ニ努メテ居ルノデア
リマシテ、改定豫算ニ於キマシテハ、
兩會計トモ若干ノ益金ヲ生ズル豫定ト
相成ツテ居タノデアリマスガ、其ノ後
事業經營ニ必要ナ諸經費ハ尙ホ増嵩ノ
傾向ニ在リマシテ、今回官廳職員ノ給
與制度ノ改正ニ伴フ追加經費ヲ爲メ、
帝國鐵道會計收益勘定ニ於テ十億八千
三百餘萬圓、通信事業特別會計業務勘
定ニ於テ八億二百餘萬圓ヲ追加豫算ト
シテ提出スルニ至ツタノデアリマス、
而シテ是等追加經費ノ財源ハ、本來事
業收入ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ建前
トスベキモノト存ズルノデアリマス
ガ、兩會計ノ現狀ニ於キマシテハ、目
下ノ所是レ以上ノ増收ハ望ミ得ナイ實
狀ニアリマス等ノ關係上、前述ノ追加
經費ノ一部ハ借入金財源ヲ以テ支辨ス
ルノ外途ナキモノト存ズルノデアリマ
シテ、其ノ借入金ノ額ハ帝國鐵道會計
ニ於テハ五千八百萬圓、通信事業特別
會計ニ於テハ四億四千萬圓ト相成ルノ
デアリマス、而シテ是等ノ借入金ハ帝
國鐵道會計ニ於テハ收益勘定ノ歲入、

通信事業特別會計ニ於テハ業務勘定ノ
歲入、當該借入金ノ償還金及び利子ハソ
レゾレ當該勘定ノ歲出トスルコトヲ致
シ、又右ノ各勘定ニ於テ決算上剩餘金
ヲ生ジマシタ場合、其ノ剩餘金額ヲ當
該勘定ノ翌年度ノ歲入ニ繰リ入レルコ
トト致スノヲ適當ト存セラレマスノ
デ、此ノ法律案ニ於テ其ノ旨ノ規定ヲ
設ケルコトヲ致シタノデアリマス、尙
ホ兩會計ニ於キマシテハ、前述ノ如ク
昭和二十一年度ハ益金皆無ノ狀況ト相
成リマス關係上、兩會計ノ負擔ニ屬ス
ル國債ノ元金償還資金ノ國債整理基金
特別會計ヘノ繰入レハ、本年度ニ限り
之ヲ停止スルノヲ適當ト認メマシテ、
其ノ旨ノ規定ヲ此ノ法律案ニ設ケルコ
トト致シタノデアリマス

次ニ「復興金融庫及び産業復興營
團出資拂込支辨のための公債發行に關
する法律案」ニ付キ説明申上ゲマス、
本法案ニ付キマシテハ、過日帝國議會
ノ協贊ヲ經テ成立致シマシタ復興金融
庫法ニ依ツテ、政府ハ、復興金融庫
ニ對シテ、其ノ資本金總額百億圓ヲ
出資シナケレバナナイコトニナツテ
居リ、其ノ内四十億圓ハ、同金庫設立
ノ當初ニ於テ拂込ムコトニ相成ツテ居
ルノデアリマス、又目下本院ニ於テ御
審議中ノ産業復興營團法案ニ依リマシ
テ、政府ハ、産業復興營團ニ對シテ二
億圓ヲ出資拂込ムコトト相成ルノデア
リマシテ、此ノ際政府ハ、出資拂込ノ
爲メ四十二億圓ノ財源ヲ調達スル必要
ガ生ジタノデアリマスガ、其ノ財源
ハ、一般會計收支ノ現狀ニ顧ミマシ
テ、之ヲ公債財源ニ求メルノ外途ナキ
モノト存セラレマスノデ、公債發行ニ
關スル權能ヲ得ル爲メ、此ノ法律案ヲ

提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ「自作農創設特別措置特別會計
法案」ニ付キ説明申上ゲマス、本法案
ハ目下本院ニ於テ御審議中ノ自作農創
設特別措置法案ニ基キマシテ、自作農
ヲ急速且ツ廣汎ニ創設スル措置ヲ講ジ
マス爲メ、政府ニ於テ行ヒマスル土
地、權利又ハ立木、工作物其ノ他ノ物
件ノ買收、使用、賣渡、賃貸、交換ニ
關スル歲入歲出ヲ一般會計ト區分シテ
經理致シマシテ、自作農創設ニ關スル
事業ノ經理ヲ一括明瞭ニスルコトガ必
要ト存セラレルノデアリマスガ、此ノ
措置ヲ講ジマスニ付キマシテハ、會計
法第三十九條ノ規定ニ依リ、之ニ關ス
ル法律ノ制定ガ必要デアリマスノデ、
此ノ法律案ヲ提出致シマシタ次第デア
リマス

以上三件ニ付キ、何卒御審議ノ上、
速ニ御贊成アラソコトヲ御願ヒ致シマ
ス(拍手)

○本多委員長 本日ハ是ニテ散會致シ
マス、次會ハ明日午前十時ヨリ開會
致シマス

午後五時二十八分散會

昭和二十一年十一月十二日印刷

昭和二十一年十一月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局